

令和3年度
優良PTA文部科学大臣表彰
優良事例集

●
総合教育政策局
地域学習推進課



※本事例集は、令和3年度の受賞団体のうち、各都道府県教育委員会の推薦を得た団体の活動をまとめたものです。

目次

【地域協働・連携】

	ページ		ページ		
北海道	北海道今金高等養護学校父母と先生の会	5	岐阜県	可児市立東明小学校P T A	28
青森県	弘前市立裾野小学校父母と教師の会	6	愛知県	尾張旭市立旭丘小学校P T A	29
岩手県	大野小学校P T A	7	愛知県	名古屋市立植田南小学校P T A	30
宮城県	亘理町立亘理小学校P T A	8	滋賀県	栗東市立栗東中学校P T A	31
宮城県	宮城県泉館山高等学校父母教師会	9	大阪府	堺市立御池台小学校P T A	32
秋田県	男鹿市立払戸小学校P T A	10	兵庫県	新温泉町立浜坂南小学校P T A	33
山形県	村山市立富本小学校P T A	11	兵庫県	西脇市立しばざくら幼稚園P T A	34
山形県	山形県立楯岡特別支援学校P T A	12	和歌山県	和歌山県立田辺中学校・高等学校P T A	35
福島県	いわき市立久之浜中学校P T A	13	和歌山県	田辺市立新庄中学校育友会	36
茨城県	大子町立生瀬小学校父母と先生の会	14	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校P T A	37
茨城県	五霞町立五霞中学校P T A	15	鳥取県	三朝町立三朝中学校P T A	38
茨城県	茨城県立小瀬高等学校P T A	16	広島県	東広島市立木谷小学校P T A	39
群馬県	伊勢崎市立あずま中学校P T A	17	広島県	広島県立呉商業高等学校P T A	40
群馬県	桐生市立西幼稚園P T A	18	徳島県	石井町浦庄幼稚園P T A	41
埼玉県	上尾市立東町小学校P T A	19	愛媛県	新居浜小学校P T A	42
千葉県	市川市立大野小学校父母と教師の会	20	高知県	越知町立越知中学校P T A	43
神奈川県	川崎市立東菅小学校P T A	21	佐賀県	吉野ヶ里町立東脊振幼稚園P T A	44
新潟県	阿賀野市立京ヶ瀬中学校P T A	22	長崎県	諫早市立喜々津小学校P T A	45
富山県	高岡市立戸出中学校P T A	23	熊本県	球磨村立渡小学校P T A	46
石川県	能美市立辰口中央小学校父母と先生の会	24	宮崎県	五ヶ瀬町立三ヶ所小学校P T A	47
石川県	石川県立盲学校育友会	25	沖縄県	那覇市立松島中学校P T A	48
福井県	福井市東郷小学校P T A	26	沖縄県	名護市立瀬喜田小学校P T A	49
福井県	福井県立嶺南西特別支援学校P T A	27			

目次

【組織・運営の工夫】		ページ			ページ
北海道	札幌市立新発寒小学校父母と先生の会	51	福岡県	福岡県立香住丘高等学校P T A	72
埼玉県	埼玉県立杉戸高等学校P T A	52	長崎県	長崎大学教育学部附属幼稚園育友会	73
千葉県	千葉市立花見川中学校P T A	53	宮崎県	宮崎県立宮崎東高等学校定時制昼間部P T A	74
神奈川県	川崎市立久末小学校父母と先生の会	54	鹿児島県	鹿児島県立串木野養護学校P T A	75
奈良県	大和高田市立浮孔西小学校P T A	55			
岡山県	岡山県立倉敷南高等学校P T A	56	【生活指導活動】		
鹿児島県	霧島市立青葉小学校P T A	57	岐阜県	高山市立久々野中学校P T A	77
			静岡県	掛川市立和田岡小学校P T A	78
【学びに関する活動】			岡山県	津山市立津山西中学校P T A	79
岩手県	岩手県立遠野高等学校P T A	59			
福島県	只見町立明和小学校父母と教師の会	60	【その他】		
東京都	世田谷区立東深沢小学校P T A	61	青森県	青森県立盲学校父母と教師の会	81
東京都	東京都立大塚ろう学校P T A	62	神奈川県	横浜市立若葉台特別支援学校P T A	82
新潟県	新潟県立長岡大手高等学校P T A	63	富山県	富山県立小矢部園芸高等学校P T A	83
静岡県	静岡大学教育学部附属幼稚園P T A	64	山梨県	富士河口湖町立大嵐小学校P T A	84
三重県	伊賀市立阿山中学校P T A	65	山梨県	山梨県立かえで支援学校P T A	85
京都府	京都府立宮津高等学校・ 京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎P T A	66	大阪府	大阪市立靱幼稚園P T A	86
京都府	京丹後市立峰山小学校P T A	67	山口県	山口県立熊毛南高等学校P T A	87
奈良県	奈良県立畝傍高等学校育友会	68	香川県	三豊市立山本小学校P T A	88
山口県	岩国市立川下中学校育友会	69	高知県	高知市立かがみ幼稚園P T A	89
香川県	高松市立栗山幼稚園P T A	70	佐賀県	唐津市立鬼塚小学校P T A	90
愛媛県	川上幼稚園P T A	71	大分県	大分県立日田三隈高等学校P T A	91

テーマカテゴリー

地域協働・連携

北海道

北海道今金高等養護学校父母と先生のか

地域に根ざした特色ある学校教育の創造



模擬株式会社ロゴマーク

キーワード 共学（共に学び）／ 共創（共に創造し）／ 共生（共に生きる）

取組概要

「模擬株式会社 IMAKANE FACTORY」を設立し、地域との連携を図りながら、学校のキャリア教育を支援している。

取り組みの詳細

○ 模擬株式会社の設立

本会では、これまで生徒の卒業後の進路や就労について、長年に渡り研修を深めてきました。共生社会の実現に向け、これまで学校だけで取り組んできた作業学習を新たに共に創造し、生徒の円滑な就労移行につながるよう、地域との連携のあり方について共に学びを深めました。

その結果、平成29年に本会が主体となり、生徒全員が株主及び社員となる「模擬株式会社 IMAKANE FACTORY」を設立し、会社組織の仕組みを学習活動に取り入れることとしました。

○ 模擬株式会社の主な取組

- 1 各学科による高品位な商品開発と生産の工夫及び販売の拡充
- 2 株主総会や成果報告会における活動の振り返り
- 3 地域との連携による職業体験を兼ねた地域学校協働活動の実施



ふるさと納税返礼品



株主総会

町広報の仕分け作業
(地域学校協働活動)

成果

- ・生徒が仕事の意識をもつことで、消費者のニーズを考えてアイデアを出し合うなど、質の高い作業学習を行うことができるようになりました。
- ・地域との関わりが増えたことで、共生への理解が進んでおり、町内に多くの生徒が就職しています。

課題や今後の取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、例年どおりの研修や交流の場が失われています。「できない」からこそ「できる」ことを共創して、今後も「つながり」のある活動をしていきたいと考えています。

その他の取り組み紹介

- ・学校通信とのタイアップによるPTAだよりの発行
- ・生徒の進路やライフプラン全般に関するPTA進路研修の実施
- ・今金町山村活性化地域協議会への参画

基礎情報

所在地

北海道瀬棚郡今金町

全校生徒数

73名

地域の特徴

今金町は、北海道の南西部にある檜山振興局管内北部に位置し、明治30年の村制施行以降、農業を基幹産業として発展しています。令和元年には、特産品の「今金男しゃく」が品質の高さなどを評価され、農林水産省による「地理的表示（GI）保護制度」に登録されました。また、国土交通省による「水質がもっとも良好な河川」に通算20回選出されている後志利別川の流域には、先住民族であるアイヌ民族もかつて居住しており、現在も「美利河（ピリカ）」や「カニカン」などアイヌ語に由来する地名が数多く残されています。

学校の特徴

平成9年に開校し、今年度25年目を迎えました。管内唯一の特別支援学校として、「地域に根ざす」を合い言葉に地域と連携した教育活動を展開しています。また、毎年、全国障害者スポーツ大会に生徒が出場するなど、スポーツにも力を入れています。

組織構成

本会には全ての保護者及び教職員が加入しています。また、専門部として、研修部・広報部・厚生部を設置し、担当の教職員と共に組織的に活動しています。

担当課：北海道教育庁
生涯学習推進局
社会教育課

「裾野ファミリーで協力し合い、共に子どもを育て、共に育つ“共育・協育”！」

キーワード 裾野ファミリー / 伝統文化の継承 / 資源回収 / 小中連携

取組概要

「裾野の子どもたちに関わる全ての大人たちが、一つの大きなファミリーとなって子どもたちを育て・見守る力を結集する」という学校の方針に歩調を合わせ、地域・学校と協力して、様々な活動に取り組んでいる。

取り組みの詳細

○地域の団体との連携・伝統文化の継承

伝統文化の継承① 「お山参詣に触れよう」

地域の方々やPTA会員から構成されている「お山の会」の方を講師に、毎年、お山参詣の直前に、児童に様々な体験活動を実施してきた。令和2年度は、コロナ禍のためお山参詣が中止になってしまったが、のぼり旗と同じ生地に岩木山の絵を描き、児童全員の手形を押して、一日も早いコロナの終息を願う旗を作成した。



伝統文化の継承② 「津軽凧づくり」

令和2年度は、地域の方を講師に迎え、PTA会員が学習支援ボランティアとなり、4・5年生を対象に「津軽凧づくり」を行った。児童たちは、活動を通じ、地域の願いや郷土の伝統文化を知るとともに、地域の方々との交流を深めた。



○資源回収の実施

総務委員会を中心に年2回、資源回収を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から児童が参加できなかったため、地域住民の協力を得ながらPTA会員が中心となって実施した。

各回とも約30人のPTA会員が地域を巡回し、新聞紙・雑誌・段ボール・空き瓶・空き缶・古布等の回収を行った。集められた資源は専門の業者に買取ってもらい、得た収益はPTA活動や教育活動に使われた。

この資源回収には、毎回多くのPTA会員が参加するため、保護者間の交流も深まっている。



成果

- 学校便り、PTA広報紙を町会を通して地域に配布し、活動の様子をお知らせする中で学校教育やPTA活動への理解が深まってきた。
- 地域住民や保護者は、学校の教育活動の取組に直接触れる機会が増加し、裾野ファミリーとしての連帯感がより強まっている。

課題や今後の取り組み

- 今後、会員数の減少が見込まれるため、令和2年度に、各学年から前年度に執行委員の候補を挙げてもらうなど、執行部員（総務委員）の選出方法を改定した。この改定がしっかり機能するよう適宜確認し、PTA役員に過重な負担がかからないよう取り組んでいく。
- 地域に小学校と中学校が1つずつあり、「小中一貫 裾野学園」の愛称で小中が連携して教育活動を進めてきた。今後は、PTA活動においても連携を強化し、小中一貫で様々な活動に取り組んでいく。

その他の取り組み紹介

- 年3回裾野中学校区児童生徒健全育成協議会主催のあいさつ運動を実施。スクールバスでの通学者が多いため、PTA会員は各バス停で見送りを兼ねたあいさつ運動を行っている。地域住民も参加し、地域ぐるみで児童の健全育成に努めている。
- 令和2年度は、運動会の代替行事である小中合同の「スポーツフェスティバル」で、前日に会員が校庭整備を実施し、児童生徒の安全確保に努めた。

基礎情報

所在地

青森県弘前市

全校児童数

73名

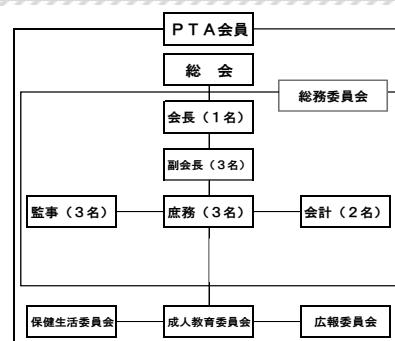
地域の特徴

本地域は岩木山麓の北側に位置し、岩木山から直接水が注ぐ大石川などがある自然が豊かな地域である。学区内には、世界遺産に登録された縄文時代の大森勝山遺跡があり、古い時代から人々が生活してきた地域である。

学校の特徴

本校は、修斉小学校、草薙小学校が統合し、平成28年度、新たに裾野小学校としてスタートを切った新設校である。地域住民は、地域で子どもを育てていこうという意識が高く、学校教育への支援に対してとても協力的である。

組織構成



開校以来、毎年、全世帯がPTA会員としていずれかの委員会に所属している。

岩手県

大野小学校PTA

基礎情報

所在地

岩手県九戸郡洋野町大野

全校児童数

91名

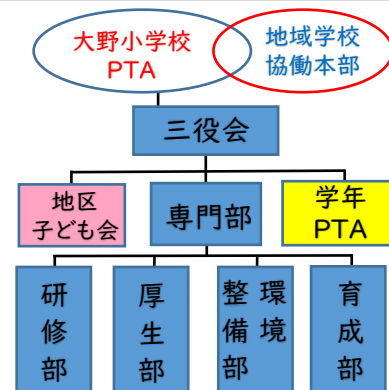
地域の特徴

土地の特徴を生かした産業が魅力。「大野木工」は地域が誇る工芸品。畜産業も盛んで、牛乳やヨーグルトは絶品。さらに炭(黒炭)の生産量は日本一。自分たちの技術に誇りを持ち、地域の人たちが互いに愛情を持って接する町。

学校の特徴

明治8年創立、4年後には創立150周年を迎える。各学年1クラスの小さな学校であるが、キャリア教育の実践により、一人ひとりの胸には「なりたい自分」への大きな思いがある。学年の隔たりなく温かな学校風土が育まれている。

組織構成



担当課：岩手県教育委員会
生涯学習文化財課

子どもを育む地域の力 学校・地域・PTAの融合

キーワード 地域学校協働活動 / 地域資源・人材活用

取組概要

学校と家庭、地域との連携・協働により、地域学校協働活動が充実している。PTAもその一役を担い、子どもたちの健やかな成長を支援している。学習支援、見守り活動、行事等への取り組みを積極的に行っている。

取り組みの詳細

行事への積極的な協力

総力を結集して 子どもたちを全力バックアップ

【運動会】

PTA会長を中心に仕事を見つけ、分担し、準備も片付けも自ら進めるところがよき伝統である。

- ・テントの運搬(軽トラ)
- ・テント設営
- ・校庭整地
- ・後片付け(テント・万国旗)
- ・競技参加(PTAレース)

【マラソン大会】

公道に立って走る子どもたちの安全見守りを行っている。地域のボランティアと共に活動している。

地域と共に
行う活動

【総合的な学習・生活科の学習支援】

1年生から6年生まで、学習に関わって体験活動や見学等に地域の施設や人材を活用している。主体は、地域学校協働本部であるが、PTAである保護者がある地域人材(野菜農家・木工職人等)として、学習ボランティアで子どもたちの学習を支えている。

【地域の伝統の継承】

地域の住民と学校が連携し、岩手県北、青森県南地方の郷土芸能「ナニヤドヤラ」の最大級の大会である北奥羽ナニヤドヤラ大会「街頭流し踊り」に毎年参加している。地域の方々からたくさんの励ましや称賛の言葉をいただき、地域に支えられながら、地域の伝統を継承している。令和2年・3年は中止。



成果

・PTA活動を通して、学校と家庭、地域との連携・協働体制が強まり、子どもたちへの支援が充実している。

・子どもたちとともに、地域の良さを再認識できる。

課題や今後の取り組み

・現PTAが今後の地域人材として、子どもたちに関わることができるように体制をつくっていきたい。世代交代を円滑に行う体制づくりが必要である。

その他の取り組み紹介

☆上手な情報メディアとの付き合い方講座(親子)

☆地区懇談会・環境整備作業

☆安全マップ・子ども110番を毎年更新

☆親子読書・親子絵日記(長期休業)

☆登下校見守り(地域学校協働本部と共に)

☆あいさつ運動(4月)

☆オオノミライハナビリレー

コロナ禍により子どもたちの活動が制限される中、何かできることはないかとPTAで検討を重ね、大野地区に花火を打ち上げることを計画し、大野中学校区の小学校でリレー形式で花火を打ち上げ、子どもたちに元気と希望を与えた。

地域と連携・協力し、姉妹校交流を進めて30年

キーワード PTAと地域の連携・協力／他地域PTAとの交流

取組概要

北海道伊達市立東小学校との交流を推進する「姉妹校交流後援会」など、PTAと地域が連携・協力する活動を長年行ってきた。

取り組みの詳細

○姉妹校交流後援会

- 伊達市は、江戸時代から亶理の領主であった伊達邦成公が明治3年に藩を挙げて移住し開拓した土地であり、亶理町とは深い縁がある。
- 昭和50年代に伊達市立東小学校からの申し入れにより史実を縁とした緩やかな学校間交流が始まった。昭和52年の有珠山噴火、昭和53年の宮城県沖地震の際、お互いにお見舞いを送り合う中で関係を深めた。昭和54年に姉妹校の契りを交わし、昭和58年度より1年おきに児童・教職員・PTA等の代表が相互訪問を行うようになった。
- PTA会長が姉妹校交流後援会会長を兼ね、現PTA役員と元PTA役員などの地域住民代表が後援会役員として支えている。地域での募金活動等を行い、地域に支えていただきながらの相互訪問は30回以上を重ねている。



【オンライン交流の様子】

- コロナ禍のため、今年度よりオンラインで交流を行っている。また、直接訪問ができなくても伊達市を感じるように伊達市の特産品であるビート（砂糖大根）の苗を東小学校を通じて伊達市の砂糖工場より送っていただき、亶理小学校の農園で、4年生が育てている。

成果

姉妹校交流への募金活動や広報活動等を通して、地域の方々が「おらほの学校」との意識で支えていただいている。

「おらほ」：「私の町」を意味する東北地方の方言

課題や今後の取り組み

両校とも交流の継続を望んでいるため、試行錯誤しながらコロナ禍の中の交流を行っているが、今後の交流の在り方について検討する段階に来ている。

その他の取り組み紹介

- 以前より保護者の自主的な活動が多い。
- コロナ禍で入学式等が中止や縮小になる中、役員が新入学児童の歓迎アーチを設置し、喜ばれた。
- コロナ禍でもPTA広報を継続的に作成し、県PTA広報誌コンクールで佳作に選ばれた。

基礎情報

所在地

宮城県亶理郡亶理町

全校生徒数

670名

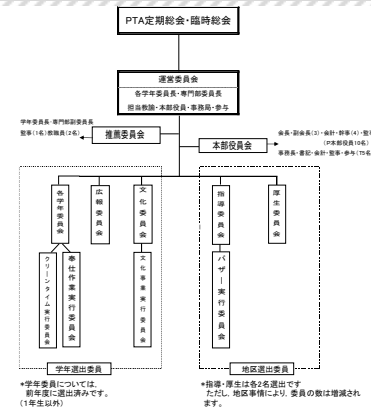
地域の特徴

亶理町は宮城県の南東部に位置し、東北の湘南といわれるほど気候が温暖で、海や川に恵まれた地域である。東北一のいちごの産地としても有名。当学区は、町の中心に位置し、地域住民も商業や仙台市等への会社勤めの方が多い。

学校の特徴

本校は町内で一番歴史が古い学校である。明治維新後の伊達藩の北海道移住を縁に、北海道伊達市立東小学校と姉妹校の契りを交わしている。また、緑化運動や歯と口の健康づくりなどの取組で特色ある活動を展開してきた。

組織構成



所在地

宮城県仙台市

全校生徒数

747名

地域の特徴

学校が位置する長命ヶ丘は、閑静な住宅地で、地域活動も盛んである。町内会主催の行事も多く、「学校に泊まるう」では本校生もリーダーとして参加する等、学校との連携が図られている。

学校の特徴

本校は1983年に創立され、今年で39年目を迎える普通高校である。生徒はほぼ全員が大学への進学を希望している。校訓は「自立・敬愛・貢献」、教育方針として「豊かな情操と道徳性ならびに国際的視野を備えた、心身ともに健康で実践力に富む人間を育成する」を掲げている。

組織構成

PTA総会
父母教師会

- ①本部役員
- ②学年委員
- ③各種委員

翠縦祭委員会（文化祭企画）
全体行事委員会
広報委員会
健全育成委員会
進路対策委員会
研修委員会（研修旅行企画）

教育振興会
部活動後援会

担当課：宮城県教育庁生涯学習課

「地域とともに歩む」～PTA全体行事の地域開放～

キーワード PTA活動／地域学校協働活動／地域連携

取組概要

本校PTAでは、主催する全体行事を地域住民にも開放し、地域とともに歩む学校づくりをPTAとしても取り組んでいる。

取り組みの詳細

- 6つの委員会を中心に独自に企画運営する意欲的な取組が行われている。「全体行事委員会」では講演会、コンサート、演芸会等を企画して実施している。ポスターやチラシを町内会で掲示・回覧すると共に町内会の方を招待し、毎年多くの地域住民が来場し、保護者等とともに参加する姿が見られる。
【令和3年度：講演「あなたは誰かを励ます時、どんな言葉をかけますか？ペップトーカーになりませんか？」】



▶人材育成コンサルタントの杉浦永子氏が講師に迎えて講演会を開催した。ポジティブな言葉で相手の状況を受け止め、短く分かりやすく、相手をその気にさせる勇気づけトークを学ぶとともに、相手（我が子）を想う気持ちが何より大切！と、参加者全員が勇気づけられた。



【令和2年度：秋の朗読ライブ】



▶プロギタリストの調べとプロアナウンサーの朗読に癒やされた。

【令和元年度：講演「親子の絆」】



▶家族とは何か、親子と人生の関係について石川氏から学んだ。



成果

- ・地域における学校理解の促進
- ・地域コミュニティの形成
- ・本校PTA活動の活性化

課題や今後の取り組み

- ・全体行事実施内容の検討工夫
- ・コロナ感染症に対応した実施形態
- ・地域への周知、参加方法の検討

その他の取り組み紹介

- ・地域活動への参加
- ・健全育成委員会の地域連携
- ・文化祭での出店（カフェド館山）
- ・PTA会報誌の発行
- ・PTA進路座談会の開催
- ・PTA研修旅行の開催

秋田県

男鹿市立払戸小学校PTA

基礎情報

所在地

秋田県男鹿市

全校生徒数

64名

地域の特徴

西に寒風山を臨む、八郎湯干拓地からつながる田園風景に囲まれた地域である。渡部斧松翁が開拓した地でもある。稲作を主な基幹産業としており、祖母世代以上が主となって従事している。

学校の特徴

今年度創立144年を迎えた。「心豊かにたくましく未来を拓く子どもの育成」を目指して、家庭・地域と連携して教育活動の充実を図っている。渡部斧松翁と中田五平氏の教えの下、「開拓精神」「勤労の精神」「思いやりの心」を大切に活動している。平成28年度からは、コミュニティ・スクールとして地域との連携を大切に活動している。

組織構成

PTA会長	1名
PTA副会長	4名(P3T1)
会計監査	3名
顧問	1名(校長)
理事会	18名
(三役と各部の正副部長と学級委員長からなる)	
三部会	
文化部	10名
保体部	10名
校外生活部	10名(主に地区委員)
事務局	1名(教頭)

担当課：秋田県教育庁生涯学習課

未来につなぎ 未来を拓く コミュニティ・スクール

キーワード コミュニティ・スクール

取組概要

男鹿市立払戸小学校の児童の健やかな成長を願い、学校運営協議会委員が様々な教育活動に協力している。特に、菜園活動は学校運営協議会委員でもある町内会の有志の協力とPTAとの連携があってこそできる活動である。

取り組みの詳細



寒風山を望む広い土地を地域の方からお借りし、開墾して学校の畑が生まれた。畑を管理するには、耕起、土壌改良、畝立て、除草等多くの労力が必要である。積雪期を除き1年中、学校運営協議会委員である地域の「畑の先生」たちが、農機具を持ち寄り、率先して管理に当たっている。PTAも畑管理のノウハウを引き継ぎ、共に活動している。そのため、児童は過度の負担なく菜園活動に親しむことができる。

5月の枝豆の種まきとサツマイモの苗植えから9～10月の収穫まで、縦割り班活動を生かして異学年交流をしながら活動している。例年、山積みのだだちゃ豆や良質のベニアズマを収穫している。班対抗で収穫量を競うのも楽しい。高学年児童は、根付くまでの水やりや夏休み中の除草も行っているため、収穫の喜びは格別である。このような児童を見守る「地域の先生」のまなざしはとても温かい。本校の教育にとって不可欠な「児童の心も耕す菜園活動」はコミュニティ・スクールによって支えられている。だだちゃ豆は一畝そのままにして、次年度用の「種」として晩秋に6年生が収穫する。まさに未来に命をつなぐ活動となっている。

成果

- ・地域の先生方と接して学習することにより、地域のよさに気付く児童が増えた。
- ・縦割り班活動等の異学年交流により、リーダーシップや思いやりの心・帰属意識が育っている。

課題や今後の取り組み

- ・PTA会員数の減少と親世代の働き方の多様化により、地域と共に以前のような大規模な活動を行うことが難しくなっている。

その他の取り組み紹介

- ・文化部を中心に親子人権標語への取組を続けている。人権に関する諸問題(いじめ・SNSの間違った使い方・新型コロナウイルスに関する誹謗中傷等)を家族で考えるよい機会となっている。

伝統芸能継承と環境整備を核に、地域と密に連携したPTA活動

キーワード 地域学校協働活動

取組概要

40年以上続く郷土芸能伝承指導【大黒舞】
PTA主体のスキー場等環境整備【全長200mの校地内アルペンスキー場】

取り組みの詳細

◎40年以上続く郷土芸能伝承指導

5学年の学年PTA活動として、毎週1回、地域の指導者から指導をいただき、練習を続けている。市内や県内のイベントに多数出演している他にも、地元の広報誌で特集が組まれるなど、その取り組みが広く知られるようになってきた。子どもたちの親の世代から続いている、伝統ある活動であり、これからも長く続けたいと考えている。



◎PTA主体のスキー場等環境整備

富本小学校の裏山には、全長200mのスキー場があり、蔵王スキー場から譲り受けたロープトウも設置されている。富本小の全校生が毎年スキーを体験できるように、PTAと地元のスキー愛好会が年間を通して整備にあたっている。1月中は、地域住民にもスキー場を開放している。



成果

- ・PTA活動に前向きな会員が多い。
- ・大黒舞やスキーは、子ども、学校、保護者、地域にとっての誇りとなっている。継続していきたい。

課題や今後の取り組み

- ・大黒舞やスキーの指導に携わる方の後継問題がある。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き検討課題である。

その他の取り組み紹介

- ・地域と一体となった多様な自然教育を展開している。
【わんぱく富本塾、森林学習】
- ・持続可能なPTA活動をめざして令和元年度に組織・事業の見直しを行った。【規約改正】

基礎情報

所在地

山形県村山市

全校生徒数

55名

地域の特徴

村山市西部 霊峰「葉山」（1462m）の麓に広がる地域であり、湯野尺・岩野の2つの地区からなる。人口約1700人、641世帯、三世帯同居の世帯が多い。少子高齢化の影響もあり、人口は減少傾向にある。

学校の特徴

広大な校地には、松林・杉林・全長200mのスキー場等があり、豊かな自然に囲まれた学校である。今年度は創立146周年にあたる。1学級の児童数は平均9人、2、3年生は複式。学校教育目標「自ら学び、共に高め合う子」

組織構成

- ・事務局
会長・副会長・幹事・・・7名
- ・常任委員会
事務局・学年委員長・専門部長・母親委員会・・・15名
- ・専門部会
全会員が文化部・体育部のいずれかに所属
- ・母親委員会
- ・学年委員会
- ・監事

障がいのある子どもたちの社会参加と、共生社会の実現に向けた活動

キーワード

地域とともに行う活動／会員相互の学びの活動／生涯学習に関する活動／主体的な発信

取組概要

地域行事への参加に向けた、保護者と教職員による活動
近隣学校との交流による演舞の練習と披露での協力

取り組みの詳細



地域行事への参加

本校の設置されている村山市の地域行事「むらやま徳内まつり」に参加している。村山市の実行委員会に P T A 役員が参加し、連携のもと「たてとくばやし」の演舞を披露している。



保護者の協力

保護者と教職員の協力で準備や衣装の着替え等を支援したり、保護者もステージに出て大漁旗の旗振り役として参加したりしている。



近隣の学校との交流

練習には近隣の高等学校の生徒や教職員の全面的な協力を得、本校に来てご指導をいただいている。練習、本番共に、演舞を行う際に和太鼓や横笛等による演奏も一緒にいただいている。

成果

- ・地域や近隣の学校との繋がりができてきた。
- ・社会参加により、将来の進路に向けて必要な力を育成できた。

課題や今後の取り組み

- ・地域とさらなる連携と人材活用
- ・将来の進路に向けた活動
- ・本校と2つの分校との交流

その他の取り組み紹介

- ・ P T A 新聞の発行
- ・ 児童生徒への読み聞かせ会
- ・ 将来の進路のための研修
- ・ P T A 図書の設定
- ・ 親子で行う体験活動

所在地

山形県村山市・寒河江市・大江町

全校児童生徒数

160名

地域の特徴

山形県の「母なる川最上川」の中流に位置し、美しい山々に囲まれた自然豊かな盆地である。米やさくらんぼ、りんご、そばなどの生産が盛んである。学区は、本校と2つの分校で、10市町にまたがっている。

学校の特徴

知的障がいのある児童生徒が学ぶ学校で、小学部、中学部、高等部がある。自宅から通える特別支援学校として、平成20年度に分校として開校。児童生徒の増加により、楯岡特別支援学校として本校化し、更に2つの分校が開校した。

組織構成

本校（小学部・中学部・高等部）

- ・ 文化部
- ・ 保体部
- ・ 広報部
- ・ 学部 P T A
- ・ 学年 P T A

寒河江校（小学部）

- ・ 寒河江校 P T A

大江校（中学部・高等部）

- ・ 大江校 P T A

福島県

福島県いわき市立久之浜中学校PTA

小中、地域と連携したPTA活動

キーワード

地域学校協働活動 / 小中連携

取組概要

久之浜中学校区小中連携推進協議会に参加し小中を通じた共通実践と、キャリア教育の一環である地域と連携した体験活動

取り組みの詳細

- 本会と久之浜中学校区小中連携推進協議会が連携し、保護者と学校の意見・要望を踏まえた共通実践に取り組んでいる。義務教育を9年間のスパンで捉え、継続的・系統的な指導を支えている。
その取り組みの1つとして毎週水曜日をノーメディアデーとし、それぞれの取り組みについて結果を検証、共有することで、改善を図っている。



- キャリア教育の一環として行っている総合学習にPTAが積極的に関わっている。今年度のテーマは、「ふるさつを見つめ直し、私たちの未来を展望しよう」を掲げ、公民館と連携し、地域住民や団体の協力も得ながら、久之浜地区の特色を生かした体験活動（郷土料理、大漁旗製作、震災学習）に取り組み、見学や郷土料理の加工販売を行っている方からの調理指導など、当地域ならではのキャリア教育に資する活動を実施した。
また、「未来のための就活体験」として、地元企業の方の話を聞き、職業に対する理解を深め、中学校卒業後の進路や将来の生き方について考える機会としている。



- 1968年に学区内でフタバズキリュウの化石が発見されたことを踏まえ、PTAと学校、市アンテナセンターの連携により、地域を学ぶ取り組みとして、毎年「化石講座」を開催している。
これは小中連携推進事業の一環であり、PTA・保護者に加え、小学5・6年生も参加し、併せて一般市民にも公開している。



成果

- ・ 地域を知ることによって、生徒が未来について考える機会ができ、キャリア教育の一環となった。
- ・ 地域人材の有効活用と人材発掘の機会となった。

課題や今後の取り組み

- ・ コロナ禍での各行事の持ち方や協力体制について、見直していく必要がある。

その他の取り組み紹介

- ・ 通学路の危険箇所の確認など生徒の安全を見守る体制作り
- ・ 親子奉仕作業
- ・ 「子どもの未来を考える会」として小中連携し、教育講演会や授業公開の実施

基礎情報

所在地

福島県いわき市

全校生徒数

77名

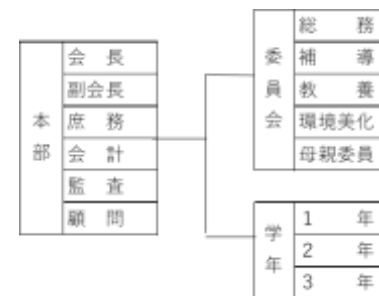
地域の特徴

いわき市の最北部に位置し、東に太平洋、西に緑の豊かな自然に恵まれた地域である。フタバズキリュウが発掘された土地でもあり、教育資源も豊かである。

学校の特徴

昭和22年設置。東日本大震災で避難した時期もあったが「協力・勤勉・飛躍」を校訓に生徒は明るく前向きに、学習や部活動、各行事に励んでいる。

組織構成



担当課：福島県教育庁社会教育課

茨城県

大子町立生瀬小学校父母と先生の会

学校・家庭・地域社会の連携を深めるPTA活動

－児童の豊かな人間性を培うために－

キーワード

地域学校協働活動 / 全会員参加型PTA

取組概要

地域学校協働活動～「やまびこ水田（学校田）」での田植えや稲刈りの際に保護者や地域の老人会の方々に教えていただきながら、交流を深めている。毎年10月には「やまびこ祭（収穫祭）」を開催し、地域の方を招待し、収穫した餅米を餅にして味わったり、一緒に昔遊びを行ったりすることを通して、児童の豊かな人間性を育てている。

全会員参加型PTA活動～全保護者が必ず専門委員会に参加し、協力して諸活動を実施している。毎年、メディア講演会やAED講習会を実施する他、昨年度からICT環境の整備にも取り組み、広報紙をオンライン上で編集している。

取り組みの詳細

OPTA・地域と連携した学校行事

- ・入学児童を祝う「こいのぼり集会」への支援
- ・稲作体験（代掻き・田植え・稲刈り・脱穀等）への支援
- ・やまびこ祭（収穫祭～収穫した餅米で餅つき）等への支援

○児童の豊かな人間性を培うための全PTA会員参加型専門委員会

- ・PTA諸活動への全家庭の協力と連携



こいのぼり集会への支援



やまびこ水田での田植え



やまびこ水田での稲刈り



やまびこ祭での餅つき

成果

- ・総会や専門委員会、行事への出席率は100%。
- ・活動を通して、地域で子どもたちを育てていくという雰囲気を広げることができた。
- ・地域の方に児童が認められる機会が増えることにより、児童が自分への自信、学校への誇りを高めることができた。

課題や今後の取り組み

- ・少子化による会員数の減少や地域の方の高齢化による支援者の減少が挙げられる。
- ・本校で推進しているICTをPTA活動の中でも積極的に活用し、学校と保護者の連携強化や効率的な活動の推進に活かしていきたい。

その他の取り組み紹介

- ・生活指導に関する活動として、毎月始めの登校指導や年2回、町の青少年相談員や町生涯学習課と連携したあいさつ運動に取り組んでいる。
- ・学校に隣接した「ふれあいの森林（学校林）」を活用した、森での給食や音楽会などの体験活動の協力を行うとともに、下草刈りやベンチの塗装などの環境整備に取り組んでいる。
- ・自然体験活動とICTを連携して「令和型ハイブリッド教育」を推進し、各賞や助成を受けている。

全国緑の少年団コンクールみどりの奨励賞
第21回ちゅうでん教育振興財団助成校
2021年度ニッセイ財団助成校
Google for Education事例校
パナソニック教育財団助成校

基礎情報

所在地

茨城県久慈郡大子町高柴1974

全校生徒数

39名

地域の特徴

児童の豊かな人間性を培うために、地域の人材や各種団体と積極的に連携している。小学校・中学校合同のあいさつ運動や地域の方による登下校の安全指導の協力、田植えや稲刈りへ協力、老人クラブの方を招待してのやまびこ祭の実施等、保護者や祖父母、地域の方々たちとの様々な活動を通して、すべての児童が地域から愛されていることを実感できる学校・地域である。

学校の特徴

昭和62年に創設された、美しい山々に囲まれた小規模校である。その環境を活かした体験型の学習の他、ICT教育も推進し、令和2年の4月から「Google for Education」を活用し、双方向のオンライン学習も実施している。また、全PTA会員が各専門委員会に所属し、学校行事等の際にも率先して学校と協働し、スムーズな運営に努めている。さらに、地域の方も学校と関わり、地域の学校としても愛されている。

組織構成

児童の豊かな人間性を培うための全PTA会員参加型専門委員会として、本部役員会、学年委員会、広報委員会、女性ネットワーク委員会の4つが設置されている。

茨城県

五霞町立五霞中学校PTA

学校・家庭・地域が連携したPTA活動 －生徒の幸福な成長を図るために－

キーワード

地域学校協働活動／防災教育

取組概要

全会員が参加して環境美化委員会による環境美化活動を行っている。また、地域での資源回収活動、朝の交通安全指導、あいさつ運動なども会員の協力のもと実施している。

特に令和2年度は、地域と学校が連携した防災教育にも関わり、学校と民生委員が連携した町防災マイタイムラインづくりに参加した。今後も民生委員の方とともに地域防災の普及に貢献していく。

取り組みの詳細



○年1回のPTA主催による資源回収活動は、親子で行う環境問題に対する具体的な活動となっている。



○防災教育マイタイムラインづくりを、中学校区内小学校2校及び民生委員との連携で進め、また、PTA本部役員が地域での普及に貢献している。

成果

- ・PTAと行政、地域との連携の必要性に関する意識の向上を図ることができた。
- ・PTAと地域との連携による地域防災力の向上及び交通安全指導等の円滑化を推進することができた。

課題や今後の取り組み

- ・防災教育や交通安全などへの協力を通じて、特に「生徒の幸福な成長のために」をモットーとした命を守る活動に力を入れ、PTAとしての在り方を追求していく。
- ・一人一人のよりよいPTA活動の在り方について、町P・県P、他校PTAと情報交換をし、改善していく。

その他の取り組み紹介

- ・感染症対策への支援として、生徒が学校でいつでも検温できるよう体温計を全生徒に購入した。
- ・令和3年度からPTA広報をデジタル配信にし、広報活動の迅速化と業務の見直しを図っている。

基礎情報

所在地

茨城県猿島郡五霞町元栗橋953

全校生徒数

165名

地域の特徴

生徒の幸福な成長を願い、地域・各種団体と積極的に連携してPTA活動に取り組んでいる。利根川に近く、令和元年度の水害被害の体験から地域防災に対する関心は高いものがある。

学校の特徴

昭和22年開校、町内全域が利根川の右岸に位置し、埼玉県に隣接する学校である。全ての保護者がPTA会員となり、PTA本部役員や専門委員会を中心に活動に参加し、学校行事にも協力的である。五霞町主催の行事等に対してもPTAが協力し、地域活動の活性化にも貢献している。

組織構成

大きく5つの組織に分かれ、本部役員会、運営委員会、広報委員会、環境美化委員会、教養文化委員会が設置されている。

別に、各委員会の委員長を中心とした専門委員会を組織している。

学校と地域が共に支え合えるPTA活動

キーワード

支部活動 / 地域協働本部 / 体育後援会 / 学校行事への全面的協力 / 地域企業との連携

取組概要

学校の教育活動の中でも、文化祭や部活動、インターンシップ等をPTAが中心となって地域と連携し共に支える活動を行っている。体育祭と隔年で行う文化祭(高望祭)では、PTAとして飲食物の模擬店を出店し文化祭の活性化に貢献できるよう工夫を重ねている。

広報誌「たかだて」では、家庭・地域への情報発信を行い、学校の教育活動を地域一体となって支え合おうとする活動が定着している。

取り組みの詳細



○4つの支部が模擬店を出店。PTAと生徒、地域のお年寄りなどの情報交換の場になっている。(写真上左)



○今ではなかなか見られない上棟式での撒き餅の再現。地元の風習を伝えるのも地域の役割。(写真上右)



○創立120周年の假屋崎省吾氏の講演会
PTAは学校や地域の方々と連携し、生徒の「花いけバトル」参加を応援している。花器は、生徒たちが地元の陶芸家からの指導で制作し、地元枝物部会からいただいたものをいけている。(写真左)

成果

- 各支部の活動が活発であり、生徒の見守りができた。
- 体育後援会が物心両面で部活動の支援をすることができた。
- 地域協働本部の放課後学習指導で、生徒たちの苦手教科の克服に貢献することができた。

課題や今後の取り組み

- 少子化による支部数の再編。
- 役割を簡素化し、小規模なPTA活動の模索。

その他の取り組み紹介

- 小瀬高校はその立地と歴史から、PTAの多くが卒業生で、OBも地元企業や有志の方が多い。地域全体で生徒たちを育てる雰囲気があり、それをまとめるのは、歴代PTA担当の方たちが行っている。

所在地

茨城県常陸大宮市上小瀬1881

全校生徒数

81名

地域の特徴

山間あり、少子高齢化が著しい地域である。路線バスの本数も少ないため、バイクで通学する生徒が多い。連携していた3つ中学校も閉校が相次ぎ、令和2年度から1高校1中学校の連携となった。

学校の特徴

令和3年度に創立123年を数える県内唯一の連携型中高一貫校である。少子化の影響を多大こうけているが、就職内定率は17年連続で100%を達成し、国公立大学に合格者を出している。

組織構成

本部の下に地区別に4支部を置いている。それに卒業生と連携した体育後援会で構成されている。

本部は会長、副会長、会計、評議員、幹事からなる。支部は支部長、副支部長、監事、評議員で構成している。支部からはさらに生徒指導委員、広報委員、研修委員を選出し、専門委員会を設置し、支部担当教員と連携を図り活動している。

体育後援会は、PTAと同窓会が部併行為地域に依頼し、部活動の充実のための活動を行っている。

創立120年を超える長きにわたり、地域の諸団体との連携が強固にできている。

生徒の健全育成を願う、地域と一体となったPTA活動

キーワード 情報発信 / 電子化 / 交通安全 / 地域協働・連携活動

取組概要

コロナ禍の中で、生徒が安心して安全な学校生活を送れるように地域と学校が協力して活動し、それをICTを活用して発信している。

取り組みの詳細

地域とともに・生徒の安心・安全のため・

- ・危険箇所を再点検し危険箇所マップを作成。
- ・交通安全動画の作成、配信。
- ・地域の協力を得て、危険箇所にカーブミラーや自転車止まれ標識を設置。
- ・あずま地区PTA連絡協議会の設立。



〈あずま中校区危険箇所〉

PTA広報紙「順風」

- ・紙面構成を工夫し、読みやすさを追求。
- ・学校行事の動画配信。本部役員が撮影し、保護者限定で配信。(体育祭、3年生を送る会など)
- ・交通安全の取組を広報紙でも発信。
- ・「全国小・中PTA広報紙コンクール」全国佳作受賞。



「順風」第160号 ～交通安全特集～

体育祭の動画配信

成果

- ・生徒の交通安全意識の向上に加え、地域の意識の向上が図られている。
- ・コロナ禍でも生徒の活動を動画配信することで、学校と保護者がつながり、家庭との連携が維持できている。

課題や今後の取り組み

- ・あずま地区PTA連絡協議会として、学校単位だけでなく、地域としての課題に取り組む。
- ・情報発信には、連絡・調整を図り、より多くの人に関われるようにする。

その他の取り組み紹介

- ・有志による花火大会の実施に、あずま地区PTA連絡協議会として参加。卒業を迎える3年生を力づけた。



基礎情報

所在地

群馬県伊勢崎市

全校生徒数

812名

地域の特徴

農村地域であったが、国道や高速道路の開通により、住宅が増え、人口が急増した。地域として、祭りや行事が盛んで、「地域の子供は地域で育てる」という精神が根付いている。

学校の特徴

生徒数812名で、群馬県で一番生徒数の多い中学校である。『「あきらめず・ず」と続ける・「まえむきに」をスローガンに地域学校が「丸」となってチームAZUMAの教育活動を行っている。

組織構成

- 総会
- 本部役員（会長・副会長・書記・会計・顧問・会計監査）
- 体育文化後援会役員（会長・副会長・書記・会計・顧問・会計監査）
- 支部長（18支部）
- 学年委員（1学年・2学年・3学年）
- 専門部（教養部・広報部・体育部・健全育成部）

群馬県

桐生市立西幼稚園 P T A

家庭・地域と連携しながら、楽しく取り組む P T A 活動

キーワード 地域との連携 / 生涯学習 / 直接体験 / 食育

取組概要

・地域の方や小学校との連携を通して、園だけではなかなかできない田植えや稲刈りを体験をしている。また、収穫した米で餅をついて食べることで食育につなげている。

取り組みの詳細

毎年、地区内の「ふれあい農園」で、地域の方々の協力で田植えや稲刈り体験をしている。地域の方や小学生とあいさつを交わしたり同じ場で活動したりすることで交流を深めることができている。

幼稚園の P T A 役員の保護者が手伝いとして参加し、田植えでは一緒に田んぼに入り、植える場所を幼児に知らせたり、稲刈りではカマを安全に使えるように援助したりしている。

例年、幼稚園の親子もちつき会では、「ふれあい農園」で自分たちで収穫したもち米をいただいて試食させてもらっている。もちつき会では、本部役員が中心となり、餅つきの準備、当日の作業、片付けまでを職員と一緒に進め、スムーズにもちつきを実施することができている。



成果

・地域の方や保護者の協力で田植えや稲刈りなどの直接体験をすることができた。

・地域のいろいろな方と触れ合い、親しみをもつことができた。

課題や今後の取り組み

・園児数が減少傾向にあり、仕事をもつ保護者も増えていることから、従来通りの活動が難しくなっている。活動形態や会議の効率化などをさらに進めていく必要がある。

その他の取り組み紹介

・園の夏祭りで輪投げなどの遊びのコーナーを、幼児が楽しめるように工夫している。

基礎情報

所在地

群馬県桐生市小曾根町

全校生徒数

21名

地域の特徴

桐生市の市街地に位置し、園から徒歩で行けるところに、水道山や吾妻公園などの自然環境桐生が岡動物園・遊園地、JR桐生駅・西桐生駅があるなど、地域豊かに恵まれている。地域の方が親しみをもって幼稚園を見守ってくださっていると感じる人が多い。

学校の特徴

桐生市で最も歴史が古く、令和3年度で創立135年目となる歴史と伝統の幼稚園である。園児は複数の小学校区から通っていて広範囲である。教育目標を「心身ともに健康で豊かな幼児の育成」として、自分で考え行動する子・元気な子・思いやりのある子の育成を目指している。

組織構成

<西幼稚園 P T A 組織>

本部役員 会長 (1名)
副会長 (1~2名)
書記 (1~2名)
会計 (1~2名)
会計監査 (1名)

専門部 行事部 部長・副部長
生活部 部長・副部長

※その他の会員は、行事部と生活部のどちらかに入って、活動する。

担当課：群馬県教育委員会事務局 生涯学習課
(桐生市教育委員会 生涯学習課)

埼玉県

上尾市立東町小学校PTA



東っ子の笑顔と元気を全力サポート



キーワード

地域学校協働活動 / 資源回収 / 児童図書 / ボランティア / マスコットキャラクター / おやじの会

取組概要

- 「一家庭一活動」を推進し、PTA組織全体として子供たちの成長をサポート
- 年9回の資源回収を行い、収益金の全てを児童図書の購入に充て教育環境向上に貢献
- (福)上尾あゆみ会と連携し、なかよし学級の子供たちを中心とした校内花植えを実施

取り組みの詳細

【一家庭一活動】

役員にならなかった年でも教育ボランティアの一員として、年に1回は学校行事にかかわり、PTA全体として子供たちをサポートする体制を構築している。

(資源回収、あいさつ運動、ベルマーク等)

【資源回収】

年9回第1日曜日に、PTAとおやじの会で主体的に活動を行っている。学校配信メールや地区の回覧板で案内を流し、地域の方にも資源の提供をお願いしている。令和2年度は145冊の本を購入して学校へ寄贈。図書室や学級文庫として活用されている。



【地域との連携】

上尾あゆみ会は、知的障がい者の自立と社会経済活動への参加促進を支援しており、その一環として花の栽培を行っている。同会から購入した苗と一緒に協力しながら植えることで、新たな地域交流が生まれ、双方にとって有益な活動となっている。



成果

- 学校にかかわる機会が得られて、子供たちの学校生活をより近くで見ることができ、成長を実感することができた。
- 図書の増加により本の種類も増え、多様な子供たちのニーズに対応できた。

課題や今後の取り組み

- 共働き世帯の増加により、会員の負担軽減を考慮した新しい組織運営の検討。
- コロナ禍での安全安心な行事開催や運営方法の検討。
- 登下校時の安全に配慮した、地域連携の見守り強化を検討。

その他の取り組み紹介

東町小学校には、40周年記念で製作したマスコットキャラクターの**あずまっぴん**がいます。校舎内の掲示物や学校からのお手紙に登場し、みんなの人気者です。学校行事にも積極的に参加して大活躍!!



ゆるキャラ@グランプリ2019
ご当地ランキング埼玉県内2位

基礎情報

所在地

埼玉県上尾市

全校生徒数

721名

地域の特徴

埼玉県の中東部に位置する人口約22万人の市。学校周辺には、上尾運動公園、さいたま水上公園、埼玉県立武道館、埼玉アイスパリーナなど様々な公共施設があり、緑豊かでスポーツを行う環境に恵まれた地域です。

学校の特徴

昭和52年4月に開校し、今年で45年目を迎える小学校です。地域との絆を大切にし、子供たちの笑顔と元気が溢れています。「自ら学ぶ意欲をもち、心豊かなたくましい東っ子」を目指して活動しています。

組織構成

【東町小学校PTA組織図】



担当課：埼玉県教育局
市町村支援部
生涯学習推進課

千葉県

市川市立大野小学校父母と教師の会

児童・保護者・教職員・地域が一体となって 子どもの安全活動に取り組む「かけこみ110番ウォークラリー」

キーワード

地域とのつながり / 子どもをPTCA組織で見守る契機 / 子どもの安全・安心

取組概要

「かけこみ110番」に登録しているお店やお宅を回り、地域の方々に協力のお礼を伝えながらお花を届けるウォークラリー活動

取組みの詳細

子どもたちを事故や犯罪から守るため、地域の方々の協力を得て掲げられている「かけこみ110番」の看板。市川市立大野小学校では、学区内でこの看板を掲げている約100か所のお店やお宅を確認して回る「かけこみ110番ウォークラリー」を開催している。PTA主催のこのイベントは、令和2年度で17回目を迎えた。



参加者（児童、保護者、教職員）は、「かけこみ110番」に登録している地域の方々に、協力のお礼を伝えながらお花を届ける。参加した児童からは「楽しかったし、人にあいさつするとこんなに気持ちがいいんだと感じました」という感想も。笑顔溢れる活動である。



児童は、当日配られた地図を手に、実際に掲げられている看板を目で見て確認。「いざという時にかげこめる」ことを認識できるよい機会となっている。



看板を掲げたお店やお宅にとっても、児童の訪問により「児童が助けを求めに来ることがあるかもしれない」ことを再認識でき、看板の形骸化防止にも繋がっている。またこのイベントに先立ち、看板設置の新規募集・設置継続の意思確認・老朽化した看板の取り換え等、一年に一度、総点検する機会ともなっている。

成果

「子どもの安全・安心」について、児童だけではなく、保護者や地域の方々全体の意識を高める活動となっている。

課題や今後の取組み

お店の入れ替えや転居等に伴い、かけこみ110番のポイントが無くなることも。設置場所のリスト管理が課題の一つ。

その他の取組み紹介

- ・保護者主体の「学級PTA」を開催
- ・会員一人ひとりの自主性を尊重し、役員決めのあるり方を改革
- ・家庭教育学級では、コロナ禍に対応したテーマで学習会を開催
- ・標語コンクールの主催および会員の協力を得て行った看板作成

基礎情報

所在地

千葉県市川市

全校生徒数

641名

地域の特徴

大野小学校は、田畑と湿地帯を造成した区画整理地内に建てられている。保護者の教育に対する関心度は高く、PTA活動やコミュニティ活動等も盛んで、地域ぐるみで健全育成をめざしている。

学校の特徴

昭和55年に開校し、令和元年度には創立40周年記念行事を行った。学校教育目標は「自学・自律・共育」。目指す子どもの姿として「自ら進んで学ぶ子・自分を高める子・仲間を大切にする子」を挙げ、日々の教育活動を行っている。

組織構成



担当課：千葉県教育庁 生涯学習課
(市川市 学校地域連携推進課)

神奈川県

川崎市立東菅小学校PTA

児童がふるさと「菅（すげ）」に愛着を持てるように地域協働を重視

キーワード

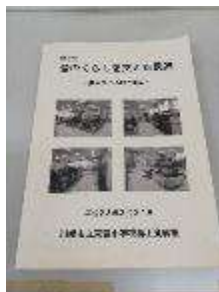
地域学校協働活動 / 郷土資料室 / 入会意思確認 / クラス委員選出の工夫

取組概要

郷土資料室の収蔵品管理や拡充、郷土史の出版物など、地域と学校が連携して行う行事の橋渡しをPTAが積極的に行っている。

取り組みの詳細

PTAが主体となって整備している郷土資料室があり、子どもたちの地域への関心や理解を高めることに寄与している。また、さらなる理解を深めるため、地域のボランティアが郷土に関する歴史や風習を紹介する印刷物「ふるさと」を月1回発行している。展示資料については、近隣の旧家や寺院の協力を得て地域の産業や伝統を伝える資料を寄贈いただき、展示している。展示のためのショーケース等の設備も、歴代役員や地域の方の協力をいただき向上、刷新に努めている。以上の管理・収蔵品寄贈においては、現役PTA役員が地域と学校の橋渡しを積極的に行っている。



成果

- ・児童が地元の産業や歴史、風習を知ることができる。
- ・保護者と地域とのつながりが広がる。
- ・収蔵品目録を作成した。

課題や今後の取り組み

- ・地域の協力の継続。
- ・収蔵品の継続的な拡充、刷新。
- ・収蔵品の修繕、散逸防止の管理。

その他の取り組み紹介

- ・新入生保護者には入会意思確認を行っている。これにより各会員には自覚をもって積極的に活動に参加していただけるようになった。
- ・クラス委員の選出は年度末に翌年度の選出を行っている。このため、新年度にはスムーズなスタートが可能となった。

基礎情報

所在地

神奈川県川崎市

全校児童数

538名

地域の特徴

多摩川の中流域にある閑静な住宅街だが、神社仏閣が多く、古くからの地域の営みが残る街でもあります。梨の栽培や農業も盛んで、地元住民による各種の行事やイベントが多く、活気のある地域です。

学校の特徴

昭和45年創立。昨年度、創立50周年を迎えました。創立当初から地域とのつながりが強く、現在に至るまで校地整備や諸行事には地元有志の多大なご協力をいただいております。保護者と学校のみならず地域とともに児童のすこやかな成長を見守っています。

組織構成

会長 (1名)
副会長 (3名以上 令和3年度は5名)
書記 (2名)
会計 (2名)
会計監査 (3名)

クラス委員 (成人教育委員会・広報委員会・校外指導委員会・学年委員会) 各学年のクラス数x1名を年度末に選出

選考委員会 (各学年2名ずつ年度末に選出)
卒業対策委員会 (6年生保護者若干名)

部活動 (バレーボール部・ソフトボール部)

担当課：神奈川県教育委員会教育局
生涯学習部生涯学習課

地域と連携・協働し、豊かな心を育む P T A 活動

キーワード 地域学校協働活動/郷土愛/地域の教育力/地域の活性化/人材育成

取組概要

K C A（京ヶ瀬地区・コミュニティ・アソシエーション）に参画し、多様な主体と連携のうえ、学校内外における活動の支援を実施している。様々な支援活動を通して、郷土への愛着と誇りを胸に、未来を切り拓く人材の育成を目指している。

取り組みの詳細

平成27年度に立ち上がったK C Aの活動を通して「京ヶ瀬が大好きな子ども」を育てるを合言葉に、学校・保護者・地域が連携、協働して子どもたちの郷土愛、愛校心を育むことを目指している。

活動紹介① 「コスモスロード整備」

地域、小学校と連携し、登校時の安らぎと癒しをつくる市の花であるコスモスロードづくりを行っている。春には、整備作業、種まき、夏には水やりを行い、秋には見事なコスモスが咲きほこり、児童・生徒だけでなく、地域の憩いの場・癒しの場となっている。



活動紹介② 「ようこそ先輩講演会」

学社融合し、地域を愛する心を育み、地域人材の育成づくりに繋げるために、地域で活躍する先輩方から「京ヶ瀬地域について考えていること」「生徒に伝えたいこと」などをテーマに講演会を実施している。



活動紹介③ 「協議会・コスモスキょうがせまつり」他

中学校区の児童・生徒たちと、社会福祉協議会、京ヶ瀬支所、商工会、婦人会、老人会等とともに「地区の課題」について協議してできたまつりに生徒も参画している。企画・運営したアトラクションやフリーマーケットなどを通して地域の活性化推進に努めている。

その他に「門松づくりと贈呈」、「特別養護老人ホーム訪問」など子どもと地域を繋げる活動を行っている。



成果

- 保護者・地域と一体となった継続的な活動を通して、生徒・保護者・地域住民全体の地域に対する愛着が深まり、未来の地域人材を育成する気運が高まった。
- 地域や保護者と連携・協働した活動を通して、生徒の郷土愛や愛校心を育むことができた。

課題や今後の取り組み

- 昨今のような困難な状況に直面しても地域とのコミュニケーションやつながりを維持し、K C A活動とP T A活動を連動し、地域の人材である子どもたちの豊かな学びと健全育成を支える。

その他の取り組み紹介

- 地域と連携した見守り活動
 - 年2回のP T A校外生活委員会登下校見守り活動
 - P T Aと地域の中部防犯の会が行動連携した夏休みの夜間パトロールを毎年実施
- セーフティー教室
 - 毎年、夏休み前の7月に県警少年サポートセンターから講師を招き、SNSの使い方・薬物乱用等の未然防止について、地域・保護者・生徒が一堂に会する教室の開催

所在地

新潟県阿賀野市

全校生徒数

152名

地域の特徴

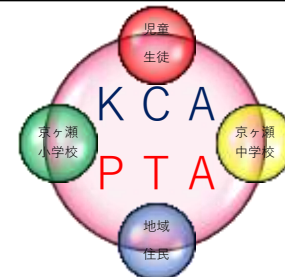
越後平野を流れる阿賀野川東側の田園地帯に学校が位置する。学校は国道49号線沿いの京ヶ瀬支所、小学校、こども園、市立図書館がある文京地区に位置する。学校教育に対する地域住民の期待、意識、教育力は高く、協力的である。

学校の特徴

昭和22年に創立し、「豊かな心をもち、たくましく生きる生徒」「正しく判断し、自主的に行動する生徒」を教育目標にし、学校運営に取り組んでいる。家庭、地域、学校の三位一体となった学校づくりを目指して、地域をあげて児童・生徒の健全育成に取り組んでいる。

組織構成

P T AとK C Aの連携・協働



京ヶ瀬地区を愛し、地域の未来を切り拓く人材の育成

学校・家庭・地域社会の連携強化



キーワード

地域・学校・家庭の相互理解／教育環境の整備・充実／地域の社会教育振興

取組概要

学校・家庭・地域が一体となって取り組む「キャリア教育」「共同清掃活動」「資源回収」等の活動を積極的に展開している。

取り組みの詳細

○「キャリア教育」事業への協力

1学年「13歳の学び」の学習活動で講演会等を行っているが、講師選考・依頼をPTAで担う。2学年「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」ではPTA中心に推進委員会を立ち上げ、事業所選定・依頼を行っている。事業所はほとんどが校区内にあり、期間中は学校担当者とは別にPTA担当委員が受け入れ先事業所を訪問する。訪問後は報告書をまとめ、学校祭PTA展示室で展示している。



○資源回収の実施

PTAが校区全域に呼びかけて、自治会の協力を得て実施。収益は教育環境の整備に充てる。



○共同清掃活動の開催

学校行事の円滑な運営と施設・設備の保全、美化意識の高揚を目的として、保護者、生徒、教職員で学校内外の清掃作業を行っている。



○花壇整備

校門から生徒玄関に続く通称「100m花壇」に、地域の方の指導を受けて、全校生徒で地域特産のチュウリップを植え、育てている。花壇の除草は生徒が行うが、節目の除草はPTAも協力している。

○地域諸団体との協力

PTA生活委員会で行う街頭補導のほか、地区青少年健全育成協議会と連携し、月2回の子ども安全パトロールや戸出七夕まつりでの街頭巡回指導に協力している。地区の「菜の花フェスティバル」では、生徒も多く参加するイベント「菜の花マラソン」で、コース誘導係のボランティアを行っている。

成果

- ・地域との共同事業、地域行事への参加、広報紙の全戸配布等によって情報共有と相互理解が容易になり、学校教育やPTA活動に対する協力につながっている。
- ・学校、PTA、地域が一体となった一連のキャリア教育を進めることで、地域で子供を育てていこうとする意識がより高まっている。

課題や今後の取り組み

- ・少子化に伴って保護者数も減少しており、多様なPTA活動を維持継続していくための工夫が必要になってきている。
- ・生徒たちの自立心の育成と、活発なPTA活動の両立を考えていきたい。

その他の取り組み紹介

○校区2小学校との中小連携

- ・毎年春に3校PTA情報交換会、秋に3校合同研修会を実施している。
- ・PTA主導で「ノーテレビ・ノーゲーム週間」を設定し、校区（2小1中）全体で保護者に呼びかけている。

○広報紙の発行・配布

- ・年2回発行の広報紙「といで」をPTA広報委員会が作成し、自治会の協力を得て、校外生徒会が校区全戸に配布している。

基礎情報

所在地

富山県高岡市

全校生徒数

311名

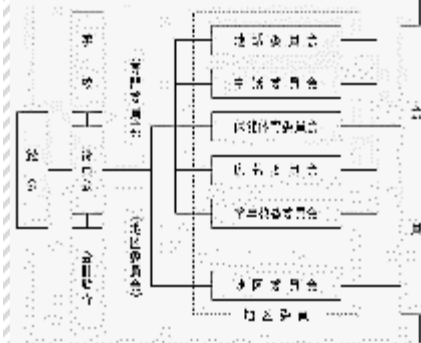
地域の特徴

高岡市南部の農村と戸出駅西側に広がる商店街・新興住宅地からなる。近年はオフィスパーク起業の進出等、市の振興地域として発展している。幼保・小・中・高・大が同一校区に存在し、教育活動に協力的な地域である。

学校の特徴

昭和22年組合立中学校として開校。数回の改称を経て昭和41年に高岡市立戸出中学校と改称。昭和53年新校舎移転。現在に至る。校訓「中よく 美しく 強く」の下、広大な敷地に建つ学舎で、生徒はのびのびと学習活動に取り組んでいる。

組織構成



担当課：富山県教育委員会
生涯学習・文化財室

石川県

能美市立辰口中央小学校父母と先生の手

基礎情報

所在地

石川県能美市辰口町

全校生徒数

604名

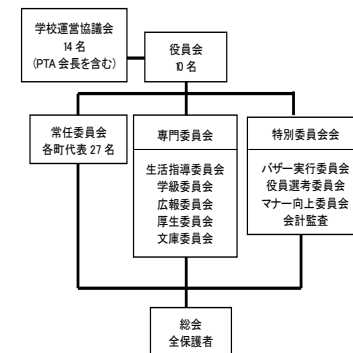
地域の特徴

能美市は、霊峰白山を望み日本海と能美丘陵、手取川に囲まれ、海・山・川の豊かな自然環境に恵まれた市である。また、伝統工芸の九谷焼や開湯40年の歴史ある辰口温泉、国指定史跡の能美古墳群など魅力ある多様な歴史・文化を有する。

学校の特徴

昭和31年に辰口小学校と常小小学校を統合し「辰口中央小学校」となる。ましじが丘の上に建っており、「ましじ」をまわりと心を通わせる「ましじ」に学ぼう、「ましじ」自分からうごきだすを合言葉に教育活動を行っている。

組織構成



担当課：石川県教育委員会
生涯学習課

学校・家庭・地域が一体となって「安全・安心・充実」の学校づくり

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / PTA / 学習支援 / 安全安心

取組概要

PTAとコミュニティスクールが連携して、児童の安全確保として「登下校の見守り」「児童の朝の検温チェック」、授業の充実とし「学習支援」「計算チェック」等、学校・家庭・地域の連携を密にした取り組みを展開している。

取り組みの詳細

安全安心の確保



毎朝の検温チェック

○新型コロナウイルス拡大防止のため毎朝玄関で全児童の体温チェックを行っています。健康観察も含めて行うことで感染症を水際で防ぎ、児童の健康が守られています。

○本校は山間にあり熊が出没することがあります。そこで日常の見守り隊の中から、熊出没時や自然災害・不審者等緊急の事案が起きた場合、すぐ対応し児童の付き添い等をして安全を図る緊急支援隊を設立しました。

○毎年、PTA役員を中心に地区内の危険箇所を点検し安全マップを作成しています。マップをもとに集団下校の際に、危険箇所を教員と児童とで確認しています。また、今年度からHPIにアップすることで地域の方々とも共有することができました。



緊急支援隊発足式



危険箇所マップ

その他の取り組み紹介



コロナ禍で全校で集まることができない中、家庭学習やネットルールの重要性について、リモートで「非行被害防止講座」を行いました。ネットとの良い付き合い方を親子で一緒に考える良い機会となりました。

成果

・保護者や地域の方と一つの授業を作ったり体験したりする中で、学校に対する愛着が深まり、さらにより良い学校づくりを進めることができた。

・学校の様子やPTA活動は随時HPIにアップしたり、学校だよりで保護者や見守り隊の方に定期的に知らせたりしている。情報を共有することで、保護者や地域の方の協力を得ることができた。

・GTの話聞くことで児童が故郷に愛着を持つことができています。

課題や今後の取り組み

・コロナ禍で学級懇談会や地区懇談会で集まることができない。今後、それぞれの思いや願いを出し合う場を工夫し、さらに連携できるよう努めたい。

学習の充実



○「学習ボランティア」を募り、5年生の裁縫や、4年生ののぎり指導、1年生のリースづくり等様々な場面で町の先生による授業支援を行っています。支援があることで児童も充実した学習を行うことができます。

○朝の帯タイムを利用して読み聞かせを行っています。事前に教員と打合せを行い並行読書の本を紹介するなど国語科とタイアップしているクラスもあります。

○地域に伝わる昔話や、お祭りの由来などについて地域の方をゲストティチャーとして詳しくお話をいただいています。児童も自分たちの地域の新たな面を発見し、興味をもって学習に取り組んでいます。

子どもたちが豊かに暮らせるように ～一緒に学び 一緒に活動～

キーワード 障害理解・啓発／地域学校協働活動／保護者職員連携

取組概要

保護者会員数が少なく、できることは限られているが、子どもたちが安心して学べる学校、豊かに暮らせる社会を目指して活動している。関係諸団体との協働による「誘導点字ブロックの日」啓発活動、親子で一緒に奉仕活動、地域にある機関の機能を利用した情報学習会、また会員相互の親睦を図る活動などを企画・実施している。

取り組みの詳細

○「点字ブロックの日」啓発活動

点字ブロックについて広く社会に周知する目的で10年以上活動を行っている。

近年は3月に県及び市の視覚障害者協会や企業、社会奉仕団体、社会福祉協議会等の協力を得て、金沢駅構内等での啓発アナウンスと啓発標語入りティッシュの配布をしている。また地域の公民館の協力を得て、地域住民に児童生徒自らがポスター掲示依頼やチラシ・ティッシュの配布も行っている。ポスター等の標語やデザイン図は児童生徒から募集・選定している。駅での活動を行う際には、埼玉県立特別支援学校埼玉保一学園より着ぐるみ「白杖の妖精『つえぼん』」を借用し、通行人の目を集める工夫をしている。



○ 奉仕活動

新型コロナウイルス感染症予防対策として、有志による校内の消毒を行った(令和2年度)。また校内美化を目的として花苗植え活動も秋に行っている。植えた花が寒さを乗り越え、春には花が咲き揃い、玄関を美しく飾っている。



○「ホッとネット大作戦」情報学習会

県教育委員会の事業「ホッとネット大作戦」の一環としてインターネット利用に潜む危険性から子どもを守るために学習会を実施している。本校の隣地にある金沢少年鑑別所の地域援助機能を利用して、法務官を講師として派遣していただき、SNSの危険性や携帯電話の利用について親子で学ぶ機会を設けている。

成果

- ・地域及び諸団体の方々の視覚障害への理解につながり、交流が生まれた。
- ・活動の機会が親子や会員相互など人のつながりを生み、安心につながっている。

課題や今後の取り組み

- ・保護者会員数の減少や遠方在住により、役員の選出及び活動の人員確保が課題になっている。日程や方法の工夫が一層求められる。オンラインを有効な手段として活用したい。

その他の取り組み紹介

- ・育友会研修会・・・卒業生及びその保護者の講話等、ニーズに応じて年1回開催。
- ・バーベキュー大会・ボウリング大会等・・・会員の親睦を図る目的で夏休み等実施(R2は新型コロナウイルス感染症拡大で中止)。
- ・文化祭企画・・・例年は「ママの店」としてカレーなど提供。R2はビンゴ大会実施。

基礎情報

所在地

石川県金沢市

全校生徒数

19名

地域の特徴

県庁所在地金沢市の中心部、観光名所兼六園に近い台地で古くから住んでいる人が多い閑静な住宅地の中に学校は位置している。近隣には地域の小中学校や金沢商業高校、金沢美術工芸大学があり、交流を深めることができる。

学校の特徴

明治41年創立で、県内唯一の視覚障害教育の学校として、小学部からあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家資格取得を目指す高等部専攻科まで幅広い年齢層の児童生徒が自立と社会参加を目指し学んでいる。自宅が遠方の児童生徒は寄宿舎に入舎し、仲間と生活を共にしながら学んでいる。

組織構成

○名称「石川県立盲学校教育友会」

○会員

- 1 児童生徒の父母、またはこれに代わる者
- 2 教職員

○役員

会長	1名
副会長	1名
理事	若干名
会計監査	2名
会計(事務長)	1名
事務局(部主事)	1名

担当課：石川県教育委員会
生涯学習課

福井県

福井市東郷小学校PTA

親子で協力！ペットボトルキャップアート

キーワード 地域学校協働活動 / 運営の工夫

取組概要

コロナでも工夫を凝らし開催した「親子研修会」
～『ペットボトルキャップアート』製作を通して～

取り組みの詳細

親子研修会『ペットボトルキャップアート』

毎年、PTA教養広報委員会を中心に「親子研修会」と称して様々な企画を催している。これまで、『音楽鑑賞会』『外国人との交流会』『芸術鑑賞会』などを行ってきた。

今回はコロナ禍で開催が危ぶまれたが、PTAの運営委員や教養広報委員の方の、綿密なコロナ対策を含めた企画・準備のおかげで、無事開催することができた。

今回の『ペットボトルキャップアート』では、事前に周知して各家庭からペットボトルのキャップを集めることからスタートし、各学級で違ったデザインのイラストを準備して、当日の製作を実施した。作業は、各教室で距離を取って感染防止に努めながらも、親子で協力してキャラクターを製作した。できあがった作品は体育館に掲示し、それぞれの作品の鑑賞が行われた。

この取り組みにおいても、本校PTAはこの状況下で何か子どもたちのために、親子の親睦のためにできることはないかと模索し、実施にこぎつけた。いろいろな活動が制約されている中、親子で楽しく作業し作品を仕上げることができ、PTAの方の想いがつまった活動だったように思う。



成果

- ・学校と保護者が一体となった活動を展開することで、保護者の教育活動への理解が深まっている。
- ・学校とPTAがこのような行事を協働して進めていくことで、子どもたちの教育を共に進めていこうとする意識が広がっている。

課題や今後の取り組み

- ・全保護者、教職員が、負担感なく気軽に様々な活動に参加できるような工夫を模索していく必要がある。
- ・子どもたちが、これまで以上に学校に魅力を感じ、地元が好きになるような活動を展開していく。

その他の取り組み紹介

- ・資源回収（年2回）
- ・親子奉仕作業
- ・登校時立ち当番
- ・アルミ缶、インカートリッジ回収
- ・制服、体操服バザー

基礎情報

所在地

福井県福井市

全校生徒数

212名

地域の特徴

福井市の東部に位置し、児童数200名程の中規模校である。校区には田園が広がり、「東郷米」が有名な福井有数の米所である。夏には「おつくね（おにぎり）まつり」が催され、地域をあげて盛り上がっている。

学校の特徴

明治4年に東郷郷学校として創立、明治6年1月に学制により東郷小学校となる。「すこやかにこやかに（はたらく子）の校訓のもと、「創造性豊かで心身共に健全な子の育成」を学校教育目標に掲げ、日々教育活動に励んでいる。

組織構成

【運営委員会】

- ・会長（1名）
- ・副会長（4名）
- ・各正副委員長（8名）
<教養広報、厚生、環境安全、母親委員会>
- ・教職員（2名）<庶務、会計>

【各委員会】

- ・教養広報委員会
- ・厚生委員会
- ・環境安全委員会
- ・母親委員会

担当課：福井県教育委員会
義務教育課

地域社会と連携した活力あるPTA活動を目指して

キーワード 会員相互の交流を深め、地域を巻き込んで盛り上がるPTA活動

取組概要

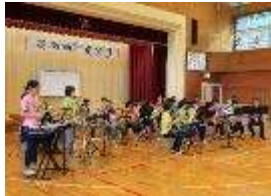
- ①夏祭り ～地域の音楽サークルを招待～
- ②物品バザー ～地域の企業に出品依頼～

取り組みの詳細

①毎年夏季休業中に開催される「嶺南西夏祭り」では、保護者および教員が事前準備、当日の運営を協力して行っている。模擬店販売、中学部・高等部生徒による部活動（ダンス部・音楽部）発表に加え、地元の吹奏楽サークル「若狭ウインドアンサンブル」、よさこいチーム「若狭鳴子連希来里（きらり）」を招待して演奏・演舞していただき、盛り上がりを見せている。



〈保護者による模擬店〉



〈吹奏楽演奏〉



〈よさこい演舞〉

②本校学校祭「やまもも祭」において、PTA物品バザーを開催している。バザーの時期が近付くと、小浜市、若狭町、おおい町、高浜町の多くの企業・店舗から出品準備を整え商品を提供していただける。保護者会員が協力して事前の値付け作業、当日のレジ作業を行っている。例年、開店前から行列ができるほど大盛況となっている。



〈値付け作業〉



〈開店前の行列〉



〈開店後の様子〉

成果

- ・PTA活動を通して、地域社会からの理解と協力を得て、関わりを深めることができた。
- ・保護者からは「行事の成功以上に多くの方と関わったことが良かった」といった言葉が多く、会員相互や地域の方々との交流に意味があったことを実感することができた。

課題や今後の取り組み

- ・PTA会員全体で活動できる体制を継続するため、「参加しやすい活動」の企画を今後も検討していきたい。
- ・感染症拡大により、行事の多くが中止や縮小となっても、地域とのつながりを絶やさない活動を続けていく必要がある。

その他の取り組み紹介

【音楽鑑賞会】令和2年度は、行事の大半が中止となった中で、主に県内で活動する鯖江市の3兄妹バンド「一途」を招き、感染症対策を講じた上で音楽鑑賞会を実施し、親子で楽しむことができた。



〈間隔を広くとった座席〉



〈シールド付きマイク〉

基礎情報

所在地

福井県小浜市

全校生徒数

71名

地域の特徴

福井県小浜市北東部、稲作が盛んな国富地区に位置している。近隣には重要文化財「木造十一面観音菩薩立像」を本尊に置く羽賀寺があり、高速道路へのアクセスが良いことから、毎年多くの観光客が拝観に訪れている。

学校の特徴

知的障害、病弱、肢体不自由な対象とした学校で、幼稚部、小学部、中学部、高等部があり、一貫教育を行っている。地域の特別支援教育の中心的な役割を果たしており、小中学校や高等学校との交流及び共同学習にも積極的に取り組んでいる。

組織構成

【PTA役員】

- 総務委員会
- PTA会長、PTA副会長
- 研修委員長、文化委員長、広報委員長
- 事務担当教員
- 研修委員会
- 文化委員会
- 広報委員会

【会員】保護者・教員

担当課：福井県教育委員会
高校教育課

親子でつなぐ誇りのタスキ

キーワード 防災 / 消防団 / PTA本部役員

取組概要

P T A 本部役員により、親子登下校・授業参観の日を利用して、防災意識の向上を図るために、親子参加型のイベント「スマイルフェスタ（平成30年度 防災訓練）」を企画し運営した。

取り組みの詳細

遊びながら学べる新しいカタチの防災訓練
「イザ！カエルキャラバン！」

①「持ち出し品なあに？クイズ」について

非常時にお家から持ち出せるように備えて欲しい防災グッズを学ぶ。（可児市女性消防団の参加）

○13品目を表示し、1分間で暗記し、紙に書きだし答え合わせをする。

○女性消防団の方が防災グッズの実物を見せ、必要数量や役割を詳しく説明する。

②紙芝居「おおあめとぼくのゆめ」

水害を想定して、水害に関する正しい知識と身を守る方法を子どもたちに伝え、自ら考えるきっかけを作る。（東明小読み聞かせボランティアの皆様と校長先生、P T A 本部役員による読み聞かせ）

○水害紙芝居「おおあめとぼくのゆめ」を通して、町で洪水が起きる原因や水害が起きたときにはどのようなことが起こるのかを理解する。

○可児市女性消防団による詳しい解説も実施する。



成果

・「防災意識の向上」についてのアンケートを実施し、「防災について考えることができた」と回答した方が97%であった。

・子どもたちは元気に手を挙げて回答してくれた。

課題や今後の取り組み

・「努力すること」が、子どもたちに良い影響を与えていると考え、どのような取り組みが効果的であるかを考えていきたい。

その他の取り組み紹介

- ・P T A 本部役員と母親委員会による「一家庭一実践」と「お弁当の日」の実施。
- ・学級委員会による親子参加型のイベントで、フリー参観日を利用して各学年で開催する「親子会」の実施。

所在地

岐阜県可児市

全校生徒数

231名

地域の特徴

子どもたちの成長を見守り支えるという趣旨から多くの組織を超えて、「東明小学校地域支援隊」にP T Aからも相当数加入している。通学の見守りや農業体験、昔の遊び体験など、それぞれの得意を活かし協力して、子どもたちの教育活動を支えている。

学校の特徴

東明小学校は可児市の東部、明智光秀出生地の明智長山城跡の麓に位置し、「可児町立久々利小学校」と「可児町立平牧小学校」の校区の一部を統合し開校した。校名は「可児の東にあって朝日が昇るとく、明るい学校となれ」に由来している。平成30年度に開校50年を迎えた。

組織構成

現状、本年度は176世帯全家庭と全職員が会員として加入している。本P T Aは、任意加入であることを周知している。校区を大きく5地区に分け、輪番で本部役員5名（会長・副会長2名・書記・会計）を選出している。4つの専門委員会（環境整備部・厚生部・健康安全部・広報部）と学級委員会、地区委員会を構成し、それぞれ、本部役員会、代議員会、常任委員会、母親委員会、家庭教育学級など各部会で協議して、組織的に合議をもって進めている。

担当課：岐阜県教育委員会
学校支援課

地域連携教育推進委員会と協働した取り組み

キーワード 地域連携 / 学校の支援

取組概要

平成28年度より市教育委員会より、地域連携教育推進事業の委嘱を受け、P T Aもその一員となっている。本事業は、①望ましい子どもの成長、②三世代交流、③地域の連携の強化の3つを目的に、地域の様々な団体が話し合い、学校の応援団として支援している。

取り組みの詳細

P T Aが地域と協働する様々な活動があるが、主なものとして、①地域連携教育推進委員会主催の体験講座と②除草作業がある。

① 体験講座

「親子で米作り & 田んぼ探検」、「チャレンジマリンバ」、「生け花あそび」等11講座が実践された。本事業の目的の1つに「三世代交流」がある。講座の半数以上で地域のお年寄りが講師を務め、親子で参加できるものである。そして、その中には、P T Aも運営をお手伝いするものもある。この取組では、それぞれの世代が楽しみながら交流することができた。

② 除草作業

毎年、運動会前に連合自治会とともに学校敷地内の環境整備を行っている。自治会の方に草刈り機で草を刈っていただき、草の山を作る。別日に子どもたちとP T Aで草を袋に詰めるといった流れで作業を行っている。

この活動は、P T Aの会員の中でもできる人が参加している。会員それぞれの都合を考えて、できることをできる人数で行う活動の1つである。

例年、40名近くの自治会の方々に一斉に草刈りをしていただいている。子どもたちとP T A会員は登校日に行事として一緒に草集めを行い、親子で学校環境を整えていく良い時間となった。



成果

- ・ P T A（親）として参加しやすく、子どもだけでなく親も地域に親しみを感じることができた。

課題や今後の取り組み

- ・ 新型コロナウイルス感染症により、活動が制限されることがあるが、地域と連携して、子どもたちを支援していく活動を工夫して行っていく。

その他の取り組み紹介

- ・ 「ふるさと子ども会議」を開き、地域の方々と子どもたちが地域のことを考えて話し合い、SDGsを意識した活動を行っている。
- ・ 「読み聞かせボランティア」と「図書室整備ボランティア」を行い、本を通して子どもたちの支援を行っている。

基礎情報

所在地

愛知県尾張旭市

全校生徒数

590名

地域の特徴

古くからの世帯と新しく入居された世帯が混在しているが、地域のつながりは強い。地域連携教育推進委員会を中心に、子どもたちは、家庭だけでなく地域からも大切に思われ、様々な地域団体が子どもの育ちを支えている。

学校の特徴

尾張旭市立旭丘小学校は、市内で8番目にできた小学校であり、今年で創立42年目を迎えた。南に水田が広がり、北には蜀地と森林公園があり、豊かな自然に恵まれ、子どもたちも自然に触れながらの生活を送っている。

組織構成

役員と委員、一般会員によって構成される。また、委員は、学級委員と地区委員で構成され、学級委員は、各学年の会員から6名を互選（合計36名）。地区委員は、学区内の各地区ごとに定められた人数を互選、教職員は2名を選出。役員、委員は4つの部局（文化厚生部・生活部・広報部・環境部）のいずれかに所属し、活動している。

尾張旭市立旭丘小学校
P T A役員一覧



担当課：愛知県教育委員会
生涯学習課

《みんなで育てる南っ子！～地域と連携・協働したPTA活動～》

キーワード 地域との連携・協働 / 見守り活動 / 学校支援

取組概要

子どもたちの健全育成を目指して、親子で楽しめるイベント「うえみなフェスタ」の開催や、子どもの安全を見守る「南っ子見守り隊」による取組等、地域と連携したPTA活動を展開している。

取組みの詳細

＜うえみなフェスタ＞

学区女性会や商店街、大学をはじめ、多くの地域団体と連携して行われる。特に女性会のお茶会や商店街の餅つき、PTAのうえみな本屋さん、学童主催の屋台は子どもたちに大人気である。親子のコミュニケーションを深める機会にもなっており、子どもの健全育成に貢献している。



＜南っ子見守り隊＞

PTAと学区が連携して、「南っ子見守り隊」を結成し、子どもたちの安全な登下校を見守っている。PTAが中心になって作成している『南っ子見守り隊地図』は、学区の危険箇所が網羅されており、『こども110番の家』の地図とともに、安全な登下校につながっている。



成果

PTA活動を通じて、学校・地域・保護者が一致団結して行事に取り組むことにより、それぞれのつながりを深めることができた。

課題や今後の取組み

昨年度は、コロナ禍ということもあり、例年通りの活動ができなかった。今後は、制限がある中でも子どもたちが楽しめる催しを考えていきたい。

その他の取組み紹介

ホテルこいこいプロジェクト、学区運動会、敬老会、防災訓練、地域の盆踊り、お祭り、バザー、パトロールなど、学区の催しにもPTAが積極的に参画している。

今年度は、行事が開催できないため「フェスタキット」と題して、PTAが双六や工作などのキットを作成し、全校児童に配布する予定である。

基礎情報

所在地

愛知県名古屋市

全校児童数

488名

地域の特徴

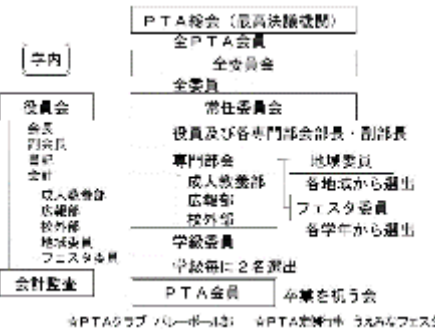
学区は、名古屋市東部の天白区にあり、古墳跡をはじめ歴史ある神社仏閣が残存しており、天白川沿いの緑豊かな自然にも恵まれている。

地域や商店街が主体となって行うお祭りや催し物が多いことも学区の特色である。

学校の特徴

本校は、植田山を開拓して昭和63年4月に植田小学校から分離して開校した。校訓「豊かでたくましく」を基に、「よく考えて実行できる子」「仲良く思いやりがある子」「たくましくやりとおす子」の育成を目指している。

組織構成



担当課：愛知県教育委員会
生涯学習課

任意ボランティアによる学校トイレ消毒作業

キーワード 学校ボランティア / 地域学校協働活動 / 教師の負担軽減

取組概要

新型コロナウイルス感染症対策として、学校のトイレ清掃消毒作業を任意によるボランティアを募り実施。

取り組みの詳細

- ・校舎内トイレの清掃（消毒）
- ・週2回、放課後約30分
- ・自由参加（事前登録、動員等なし）
- ・校務支援アシスタント配置までの期間（約3ヶ月）

新型コロナウイルス感染予防の一つであるトイレ等の消毒作業が放課後教職員の負担増であった、「PTA関係なく学校が困っている事を保護者で補う」の認識で、PTA通信やHPを活用し参加強制や動員でなく保護者の中で無理なく参加できる完全なボランティアで実施。



今、子ども達にとって一番必要なことを学校、地域、PTAと情報共有し取り組みを進めた。

成果

- ・教職員の個別指導、対応時間の確保。
- ・教職員の教務時間の確保。
- ・生徒の安心・安全の一助。

課題や今後の取り組み

- ・校務支援アシスタント配置により終了。

その他の取り組み紹介

- ・PTAの組織改革

所在地

滋賀県栗東市

全校生徒数

738名

地域の特徴

滋賀県の南部に位置し古くは東海道・中山道が交差し現在でも国道1・8号線が交差する交通の要所として栄え、市南部には金勝（こんぜ）アルプスが聳え、都市部と自然が融合した街であり、また、全国に2ヶ所しかない競走馬の調教場「栗東トレーニングセンター」を有する。

学校の特徴

創立74年目を迎える。校区は広く西側は国道や駅に近く利便性が高い一方、東側には田園や山林が広がり自然豊である。現在でも生徒数は微増であり、令和元年から現在まで、文部科学省国立教育政策研究所の指定を受け「学校での話会活動」の研究を進めている。

組織構成

栗東中学校PTA本部役員

(保護者)

会長 1名

副会長 2名

幹事 1名

監査員 2名

その他会長が必要と認めた委員

(学校)

校長

教頭

教務主任

担当課：滋賀県教育委員会
生涯学習課

大阪府

堺市立御池台小学校PTA

「子どもとコラボ」「地域とコラボ」地域協働のPTA活動～子どもは地域の宝です～

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティスクール / コラボ / ICT活用

取組概要

子どもとのコラボ企画、地域とのコラボ企画をICT活用しながら取り組んできた実践記録です。

取り組みの詳細



PTAの食と環境委員会と小学校の栽培委員会がコラボし、正面玄関の花壇に自動灌水機を設置。さまざまな地域のイベントが中止・延期となる中、小学校の児童と保護者、教師が一体となる活動ができるように模索し、児童の委員会活動とPTAの専門委員が共同して行う活動を立ち上げた。

小学校の栽培委員の活動に、PTAの食と環境委員や保護者ボランティアが参加して、まずは学校正面玄関の花壇の整備計画を話し合い、計画に基づいて自動灌水機や防草シートの設置を行い、児童と保護者の共同作業による除草や敷石の敷設、花植え活動を行った。また、その経過を公式LINEなどを通して、会員に広く発信し、好評を得た。

成果

- ・ コロナ対策でICTを活用しながら取り組んだ。
- ・ PTA本部の活動の合理化・効率化が進んだ。

課題や今後の取り組み

- ・ これまで以上に多くの方にPTA活動に参加していただけるよう、ホームページなどを活用した、PTA活動の見える化を進める。
- ・ withコロナ時代での新しい持続可能なPTA活動の取り組みを構築する。

その他の取り組み紹介

- ・ PTA公式ラインアカウントの活用
- ・ 青パトポイント制導入
- ・ ICTを活用したPTA活動の見える化
- ・ 安全を最優先としたコロナ禍での取り組み

基礎情報

所在地

大阪府堺市

全校生徒数

489人

地域の特徴

堺市最南端に位置する本校区の自治会は、伝統的に自治会活動が活発で熱心であり、新しい街づくりの取り組みにも次々と挑戦している。また、学校の教育活動にも協力的で、見守り隊活動をはじめ多くの支援をしている。

学校の特徴

1979年創立。自然豊かで緑に囲まれている。広大な運動場を有し、休み時間になると多くの子どもたちが運動場ののびのびと走り回る。自治会や見守り隊・PTAの協力も手厚く、学習だけでなく係委員会活動にも意欲的で前向きな子どもが多い。

組織構成

共働き世帯の増加に加え、今年度のコロナウイルス感染拡大防止の観点から、LINEを使っでの情報交換やWebクラウドを使っでの文書の作成・管理等を行い、PTA本部の活動の合理化・効率化に努めた。青パト乗車シフトをWeb登録とし、また、公式LINEやメール、学校ホームページを使い、保護者に様々な活動への参加を広く呼びかけ、PTA活動の多くを委員・役員だけではなく、ボランティアにより行った。

担当課：大阪府教育庁地域教育振興課

コロナ禍における学校・家庭・地域の連携

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール / コロナ禍の活動

取組概要

- ・コロナ禍の児童の心のケアを図る「ひたみちプロジェクト」の実施
- ・コロナ禍の新たな生活様式「ひたみちスタイル」作成
- ・コミュニティ・スクールの立ち上げ

取り組みの詳細

○ ひたみちプロジェクト

令和2年度当初、長期臨時休業による児童の心のケアを行うため、役員が中心となり学校再開前日に「おかえり ひたみちっ子、がんばれ ひたみちっこ」とグラウンドに大きなサプライズメッセージを作成した。



○ ひたみちスタイル

コロナ禍の中での効果的な教育活動のあり方について熟議を重ね、『ひたみちスタイル（レベル1）』（浜坂南小版新たな生活様式）を作成した。 ※学校HPに掲載

○ コミュニティ・スクールの立ち上げについて

令和3年度コミュニティ・スクール制度の導入に向け、学校運営協議会（準備委員会）の一員として、学校の運営方針、PTA活動の成果と課題、地域の現状等、様々な事案について研修・熟議を重ねた。また、令和3年度は地域と共に「マラソン大会」「グラウンドゴルフ大会」等を実施した。



成果

- ・コロナ禍でも学校生活に希望を持ち、安心、安全でストレスなく教育活動を再開することができた。
- ・学校に対する地域の関心が高まり、学校の様々な課題を地域ぐるみで解決していこうという雰囲気が醸成された。

課題や今後の取り組み

- ・家庭環境の多様化により、PTA活動に対する意識も変化してきた。その意義や取組等について一層啓発していく必要がある。
- ・少子化により従前の行事や財源の確保が困難になってきた。更なる工夫や精選を行っていく必要がある。

その他の取り組み紹介

- ・家庭学習強化週間や読書月間、あいつ運動等、様々な教育活動に対する協力体制を整えている。

基礎情報

所在地

兵庫県美方郡新温泉町

全校生徒数

71名

地域の特徴

校区北部は官公署、医療機関、工場、商店、住宅等で栄えている。東部には民宿や旅館があり温泉観光地となっている。国道、県道、町道等が縦横に走り、交通の要所となっている。自然環境にも恵まれており、特に校地横を流れている田君川には、貴重な「梅花藻」が繁殖している。また、毎年児童が行っているサケの稚魚の放流により、岸田川にはサケの遡上が見られるなど、地域一帯が素晴らしい学習環境となっている。学校から日本海に向かう真っ直ぐな道を「直路（ひたみち）」と呼び、夢や希望に向かっていく象徴であり、地域や学校の合言葉となっている。

学校の特徴

「ふるさとを愛し、こころ豊かにたくましく生きる大庭ひたみちっ子の育成 ～ 元気 やる気 思いやり ～」の学校教育目標のもと、学校・家庭・地域がしっかりとつながって児童の学びや成長を支えている。豊富な教育資源、地域教材を活用しながら、児童の力をさらに伸ばしていくための「のりしろ作り」を推進している。

組織構成

- 三役（会長1名・副会長2名・会計1名）
- 監事2名
- 子連協部3名
- 体育事業部（地区委員会）11名
- 生活広報部（学年委員会）12名

担当課：兵庫県教育委員会事務局
社会教育課
(新温泉町教育委員会 生涯教育課)

地域とCROSS えがおが織りなすCLOTH

キーワード 地域学校協働活動／地場産業／家庭教育支援活動

取組概要

- ・地域の企業や団体と連携し、地場産業の魅力を伝える活動の実施。
- ・親子が、「地域とつながること」を主体的に考え、実践する「ソーシャルボンド・キッズプラン」の実施。

取り組みの詳細

○ 子どもの絵を織り込んだ播州織の作成

「この地域を支えてきた、地場産業の播州織の魅力を感じて欲しい。」「モノづくりの楽しさを未来を担う子ども達に伝えたい。」と思い、地域の会社と連携し子どもの絵を織り込んだ播州織を作成した。自分たちの絵が織りあがっていく様子を映したのもも準備した。



カーテン、カバンなどを各自で作成



播州織の生地になった自分達の絵を探しながら、布の感触を楽しんでいる様子

○ ソーシャルボンド・キッズプラン

幼くても社会の一員であることを自覚し、地域のために自分の力を使えるようになるために、夏と冬の休業中に地域とつながること（地区の掃除、回覧板をまわす、積極的に挨拶をするなど）を親子で考え実践している。



どんなことをしたかを皆に紹介

成果

- ・地場産業の「播州織」を身近に感じ、その技術に興味をもてた。
- ・地域のために、自分達にもできることがあることを実感できた。

課題や今後の取り組み

- ・様々な場面で「播州織」を使い子ども達に関心をもてるようにする。
- ・ソーシャルボンドで実践したことを継続していけるように支援する。

その他の取り組み紹介

- ・PTA秋まつりを企画、実施。親子でたくさん話しながら楽しい一時を過ごせるように考えている。
- ・一斉に行う美化作業に加え、降園後、親子で落ち葉かきなどの美化作業を行っている。
- ・PTA役員が率先して登降園時に挨拶し声を掛け合っている。

基礎情報

所在地

兵庫県西脇市

全校生徒数

81名

地域の特徴

JR西脇市駅が近くに立地しており、駅の西側には農地や新しい住宅、商業施設が点在している。地区の東西及び南側山並に囲まれ、加古川や野間川の清流など自然豊かな環境に包まれている。また、地区内には小中学校・高校の4校が立地する文教地区でもある。

学校の特徴

平成29年度に3歳児からの複数年保育を行う本園が設置された。西脇市内の公立幼稚園は本園のみとなるので、市内全域から入園してくる。

「一人一人がきらきら輝く幼稚園～豊かな自然との出会いから～」の教育方針のもと、地域の方々の協力を得ながら、豊かな自然をいかした教育を推進している。

組織構成

顧問（前年度PTA会長）

会長

副会長2名（保護者・園長）

会計2名（保護者・主任教諭）

会計監査2名（保護者）

庶務（主任教諭）

文化研修部長 安全対策部長 環境整備部長

部員 部員 部員
（部員は保護者、職員合わせて各3名）

※会長は総務

※3役、会計監査、庶務も各部員に入る。

担当課：兵庫県教育委員会事務局
社会教育課
（西脇市教育委員会幼保連携課）

『中学校から高校へ、そして地域と連携したPTA』

キーワード

地域学校協働活動 / 企業連携

取組概要

ナショナルトラスト運動を支援し、豊かな自然の保護活動や、生徒の環境教育に取り組んでいる。また、地域の担い手の人材育成を支援している。

取り組みの詳細

・自然保護活動と環境教育

学校が所在する田辺市の天神崎は、ナショナルトラスト運動の発祥の地である。そこで、環境教育の一環として「公益財団法人天神崎の自然を大切にしよう会」にPTAが入会し、自然の保護と適正な活用に協力している。また、生徒が地元在住の講師から、豊かな自然を教材として自然科学の学習を深めるとともに、ふるさとの自然保護について理解を深める貴重な機会となっている。

・地域で活躍する人材の育成

本校を卒業し、現在地域で活躍している社会人を多数招き、高校卒業後の進路選択と現在従事している仕事の内容を生徒たちに向けて「社会人講話」という事業に学校と共催で実施している。卒業生が在学中にどのようなことを考え、どのような道をたどって現在の職業に就いたのか、また社会人・職業人としての厳しさとやり甲斐、地域社会の担い手としての将来のヴィジョンなど、実際の経験に基づいた話を伺うことで各自が自らの進路を考えさせ、職業観を育成している。

天神崎での環境教育



社会人講話



成果

・本校PTAは生徒の側面から支える事が多く、代表的なものとして、学校の教育目標達成に向けての進路関係の事業を実施し、生徒の進路実現を支援している。

・PTAの活動が保護者に浸透し、学校との協働意識が向上した。

課題や今後の取り組み

・コロナ禍で、様々な事業が中止や規模縮小となった。次の役員への引継や、コロナ後の新たな事業の構築が必要である。

その他の取り組み紹介

・学校と保護者のつなぐため、年2～3回PTA会報誌「自由の学園」を発行している。

・PTA推進の情報リテラシー講座はリモートで開催した。

・啓発用安全ベストを作成し、生徒の登校観察を行うとともに、地域に活動を発信した。

・コロナ対策のため、消毒液など当時入手困難な物品をPTAで援助した。

基礎情報

所在地

和歌山県田辺市

全校生徒数

1,111名

地域の特徴

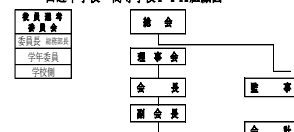
田辺市は和歌山県西南部に位置し、人口、経済の面で和歌山県第二の都市である。[紀伊半島の霊場と参詣道]は2004年に世界遺産に登録され、田辺市にある熊野本宮大社や熊野古道、隠岐神出はその一部である。田辺湾の北側にある天神崎は、日本で最初のナショナルトラスト運動の地の一つで、日本のウユニ塩湖と言われ人気のスポットである。また、和歌山県が生んだ動物学の巨星、南方熊楠も保護すべき景勝地として挙げたとされている。

学校の特徴

明治29年に創立された「和歌山県立第二尋常中学校（後に田邊中学校と改名）を母胎とし、120年以上の歴史を持つ学校であり、卒業生には第46代内閣総理大臣山内氏がいる。
平成18年に田辺高校自然学科に接続する田辺中学校が併設、中高一貫教育の学校である。平成7年アメリカ合衆国・サクラメント市のミラ・ロマ高校と姉妹校提携を結ぶ。

組織構成

田辺中学校・高等学校PTA組織図



中学校 担当役員	高校1学年 担当役員	高校2学年 担当役員	高校3学年 担当役員	総合部 担当役員	総合体育部 担当役員	教養部 担当役員	国際理解部 担当役員
副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長
副会長	委員長	委員長	委員長	部長	部長	部長	部長
副会長	副委員長	副委員長	副委員長	副部長	副部長	副部長	副部長
役員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員

担当課：和歌山県教育庁生涯学習課

学校と地域

キーワード

コミュニティ・スクール / 公民館 / 新庄漁協 / 祭り / 地域人材

取組概要

育友会、新庄地域学社融合推進協議会と学校との連携

取り組みの詳細

新庄地域では「共育コミュニティ」の研究指定を機に、学校と育友会、公民館が連携して学社融合を深化させてきた。そして、平成30年度からは幼稚園・小中学校が育友会、公民館と連携しながら地域全体で「学社融合推進協議会」を設置し、育友会（保護者）や地域の皆さんの意見を取り入れた学校運営を進めている。

■1年生

○祇園祭りの灯籠を作って出品した。

○地域学習

「杜氏唄班」「地質班」「漁業班」「熊野古道班」の4班に分かれ、フィールドワークを実施し、学んだことを文化祭で発表。

■2年生

○職場体験学習

1学期に職場体験学習を通して、保護者、地域との関わりを深め、地震学での地域との関わりへとつなげていく。

○防災の演劇

地域から学び、地域に伝えることを実践していくため、保護者、地域の方に見に来ていただける文化祭で、防災劇を演じ、地震学へとつなげていく。

■3年生

○「新庄地震学」

1・2年生の学習の集大成として、新庄地震学に取り組む。地域から学んだことを、地域の共通の課題として、文化祭で保護者、地域に伝えていく。



成果

・保護者、地域の方に、新庄地域のこと、伝統などを教わることで、生徒たちの地域に関わる意識が高まった。

・教員も、保護者、地域の方との交流を通して、他業種の方から学ぶことが多く、自身の成長に繋げることができた。

課題や今後の取り組み

・令和2、3年度はコロナ禍で、育友会の行事がほとんどできていない。

・学校行事への保護者、地域の方々の参加が制限されてきた。

・令和4年度に向けて、行事、取組の再検討が必要である。

その他の取り組み紹介

- ・レクリエーション大会
- ・環境整備作業
- ・体育大会での売店運営
- ・フラワーアレンジメント教室

基礎情報

所在地

和歌山県田辺市

全校生徒数

115名

地域の特徴

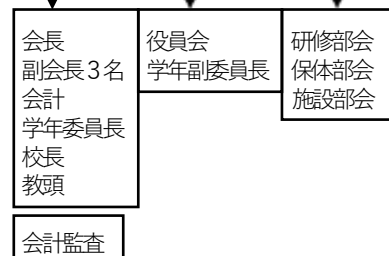
梅を中心とした農業・文里湾の漁業・材木産業等を中心に発展してきた。現在、地域の開発に伴い公共施設が多数設置されるとともに公営住宅や個人住宅も増えてきた。また、歴史を語るうえで、昭和21年の南海地震津波、昭和35年のチリ津波の影響を忘れることはできない。

学校の特徴

令和元年度より3カ年の指定研究を受けている。「深い学び」の探究をテーマに、研究を行ってきた。この研究が、生徒の学力向上、学びの楽しさにつながることを第一に取り組み、学習集団の成長に繋がってきた。本年11月2日に研究発表会で成果を報告した。

組織構成

役員会——運営委員会——学年委員会



担当課：和歌山県教育庁生涯学習課



『地域に愛され・信頼され・頼りにされる学校』を目指しP・T・C・Aを大切に

地域連携活動『はるかひまわり絆プロジェクト』・公民館でのPTAボランティア活動・小中学校へ広報活動

キーワード

取り組みの詳細



取組概要

令和元年度より、中学校区全体で継続している「はるかひまわり絆プロジェクト」に参加。生徒・評議員は事前に学習会を経て活動に取り組む。準備から種まき・育成・収穫まで生徒・保護者・教職員が協力して行っている。学校のひまわり育成はもとより、公民館の種まきから収穫作業もPTAと地域の皆様が協力して行っている。また、収穫した種を鳥取県西部の高校や様々な地域コミュニティにも「繋ぐ」活動を展開している。コロナ禍においては「コロナからの再生！ひまわりプロジェクトin米子」と協賛し、地域住民や米子市民の疲弊した心を元気づけ笑顔になってもらう取り組みに生徒・保護者・教職員が連携し協働することで成果や感動を共有できる活動となっている。

成果

- ・プロジェクトに参加することで、生徒・保護者・教職員が震災の教訓や命の尊さ、人と人との繋がり大切さ、また、防災について学びを得た。
- ・コロナ禍でも、保護者が生徒と協働・共感を得ることができ保護者のPTA離れも抑止できた。また、専門部の枠に捉われず評議員の7割が参加している。

課題や今後の取り組み

- ・学校全体で大切に取り組んでいる活動だからこそ、生徒の一層の主体性向上と、保護者への定着化を目指す。

その他の取り組み紹介

- ・教職員の負担軽減を重視し事業を運営している。活動は、公民館を利用し夜間の学校利用を最小限にしている。
- ・執行部で「米工News Letter」を発行し地域の回覧板や配布で本校の魅力をPRしている。

基礎情報

所在地

鳥取県米子市博労町4丁目220番地

全校生徒数

537名

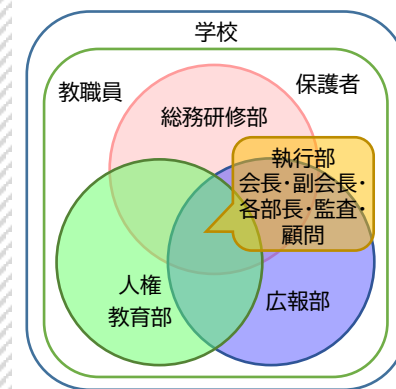
地域の特徴

米子市の中心地に近く、高齢者の方が多い街ではあるが「子育て」に協力的で保・幼・小・中・高校の分け隔てなく声掛けや見守り等、地域をあげて精力的に活動している明るく優しい街。

学校の特徴

令和4年度に創立100周年を迎える県内で最初に設立された工業高校。現在は機械科、電気科、情報電子科、環境エネルギー科、建設科(土木コース、建築コース)を有し、地域社会・産業界に貢献する人材を育成・輩出する拠点校である。生徒は自律・創造・協働を校训に、ものづくりや資格取得、部活動に励んでいる。

組織構成



近隣地域コミュニティ

担当課：鳥取県教育委員会
社会教育課

鳥取県

三朝町立三朝中学校PTA



「か」会員と地域で「じ」持続可能な「か」活動づくり！

キーワード 地域学校協働活動 / 情報公開・広報活動

取組概要

・会員が主体となり企画運営する各種研修会等を利用しながら、共通認識・共通歩調でPTA活動を推進している。OB・OGとも協力しながら、地域とのつながりを深めている。PTA活動を中心とした紙面づくりにより、全国コンクールでは直近5年間の内、4回受賞している。

取り組みの詳細

総務部「親子奉仕作業」

地域協議会・学校ボランティアと協力しながら親子で学校敷地内の除草作業を中心に取り組んでいる。校舎内の環境整備の場合は、家族に修繕方法や清掃方法を直接学びながら取り組んでいる。(年間3回実施)



広報部「かじか」発行

広報紙は、年間を通じたテーマでの特集記事や各専門部活動、学校行事等での取材をもとに、紙面づくりをしている。(年間3回発行)

※昨年度は、コロナをテーマに学校の変化などを特集した。



成果

・コロナ禍でもできることを積極的に立案し、PTA活動を止めない工夫をしている。(オンラインの活用)

課題や今後の取り組み

- ・家庭数の減少にともない予算や組織などの再編。
- ・オンラインのさらなる活用方法。

その他の取り組み紹介

- ・育成部「おうちでクッキング」
料理レシピ集を全家庭に配布。実際に調理されたものをレポートで提出。
- ・人権・同和教育部「輪読」
人権絵本を学級単位で各家庭に回覧。感想などを部からのたよりとして共有。

基礎情報

所在地

鳥取県三朝町

全校生徒数

167名

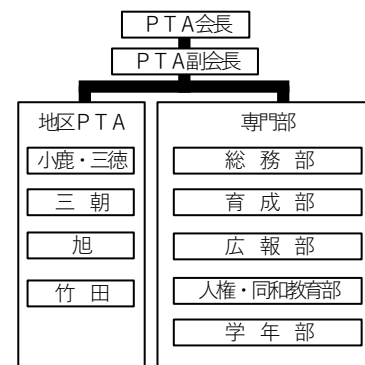
地域の特徴

県中部の山間地に位置し、人口は約7000人。日本一危険な国宝と言われる『投入堂』と世界屈指の湧泉名湯『三朝温泉』を有し、主な産業は観光と農業。

学校の特徴

国際理解教育では、フランス・台湾との相互交流を毎年継続して行っている。人権教育では、『はじめ撲滅宣言』や人権委員会の活動が活発である。ICT端末も積極的に活用しており、特に動画づくりを学校全体で取り組んでいる。

組織構成



担当課：鳥取県教育委員会
社会教育課

基礎情報

所在地

広島県東広島市

全校生徒数

59名

地域の特徴

広島県南部で瀬戸内海に面した安芸津町の東部に位置し、校区のほとんどが、山地となだらかな丘陵地で、谷間や平地が海に沿って開け、集落が散在し耕地が広がる。通称「赤じゃが」と呼ばれる馬鈴薯が有名な産地で、牡蠣の養殖も行われている。

学校の特徴

東広島市小規模特認校の指定を受け、学校教育目標に「『今日も学校に来てよかった』と思える学校づくり」を掲げ、学校・家庭・地域が協働し、共育する、夢と感動にあふれる学校づくりを推進している。

組織構成

○執行部は、会長1名、副会長2名、専門部長3名、母親代表1名、校長、教頭で構成

○各部会（保健部、教養部、厚生部）は、地域ごとに選出された地域委員8名を3つの部会に配置する。

○各学級より2名の学級委員を選出する。

○保護者教職員の加入率100%会費納入率100%PTA総会参加率96%

担当課：広島県教育委員会
生涯学習課

地域・学校と緊密に連携し、魅力発信を中心とした学校支援活動

キーワード 学校支援活動 / 地域連携 / 小規模特認校 / 魅力発信

取組概要

小規模特認校制度を広く東広島市民に認知してもらい、木谷小学校に通う児童を募る目的で木谷小学校PTAが核となり、地域の組織とともに小規模特認校制度活性化委員会を立ち上げ、PTA独自HPの開設、オープンスクールの開催等、木谷小学校の魅力を発信する活動を実施。

取組みの詳細

小規模特認校制度

～活きた教育を子どもたちへ 大自然が教室～



① オープンスクール

木谷小学校オープンスクールを開催し、小規模特認校制度周知のためのポスターを市内各所に掲示してもらい取組を進めた。

どんな制度？ 小規模特認校制度は自然に積極的にふれあい、地域との交流を大切にしたい教育活動を行っている小規模校において、豊かな人間性を養う、特色ある教育を受けたいと希望する方に、一定の条件を付して、東広島市内全域から特別に入学・転入学を認めるものです。



② PTA独自HP

小規模特認校・木谷小学校を、子ども達の笑顔でいっぱいになりたい、より多くの方に知っていただきたいと願うPTAが運営している。



③ 活性化委員会

木谷小学校に通う児童を募る目的でPTAが核となり、木谷住民自治協議会、木谷小学校後援会等の地域の組織とともに委員会を立ち上げた。

成果

- ・木谷小学校の魅力を市内全域に発信できた。
- ・活性化委員会を木谷小学校PTAの組織の中に組み込み、持続可能な取組とした。
- ・木谷地域の方々の学校への関心がさらに高まった。

課題や今後の取組み

- ・より多くの東広島市民に来校していただける取組の模索。
- ・HP上で動画等の生の声や映像を発信して木谷小の良さをリアルに伝える工夫。
- ・地域との連携のさらなる強化。
(空家を活用して地域への定住促進)

その他の取組み紹介

- ・資源回収（地域全体を巡回回収）
- ・全会員による月1回の挨拶運動
- ・学校行事支援（入学式・卒業式、運動会、学習発表会での協力、校内持久走大会での安全管理）
- ・PTA会員相互の親睦（歓迎会、運動会・球技大会後の懇親会、送別会）

取組内容

①

②

③

校内・地域企業と連携し、コロナ禍における工夫を凝らした学校支援活動

キーワード 学校支援活動 / 校内企業連携 / 地域企業連携 / コロナ禍における工夫

取組概要

コロナ禍での呉商フェスタの規模・人数縮小開催に際し、安心安全な開催となるようPTA主催の連携企画を立ち上げ、地元企業を巻き込んで「感染防止効果を高めるため、ドアtoドア」で保護者が参加できる仕組みを構築。

取組みの詳細

GoTo呉商フェスタ

～GoToトラベル事業を利用してドアtoドアで呉商に～



経緯 呉商業高等学校では、生徒と教職員が株主兼社員として模擬会社を経営しており、このメイン活動として、生徒が仕入れから販売まで行う「呉商フェスタ」をコロナ禍で規模縮小・人数制限をして開催と学校から聞いて、「フェスタ売り上げ貢献と地域経済の活性化に貢献」できないかと発案。商業高校として時代の変化に応じた教育を実践し、「ビジネス界に貢献でき、地域社会で活躍できる人材を育成する」という使命を果たすべく、PTAが主催となりこの企画を実行。



取組内容

- ・呉商フェスタへの売り上げ貢献（フェスタ内で4,000円分の商品引換券使用で売り上げ確保）
- ・呉市内事業者救済（フェスタ参加企業・タクシー会社・旅行会社等）
- ・地域クーポンは地元の参加登録企業で利用可能

成果

・コロナ禍においてもPTAとして学校行事に積極的に関わり、「GoTo呉商フェスタ」を企画、実施できたことで「呉商フェスタ」における集客等の協力やコロナ禍の影響を受けていた地元企業との連携で地域とのつながりを強化することができた。

課題や今後の取組み

・PTA役員の一斉とコロナ禍が続く中で新たな取組みが困難になっているが、PTAとして学校行事等における生徒の活動を支援できる企画及び活動を行う。

その他の取組み紹介

- ・図書室リニューアル
- ・体育祭における給水活動
- ・朝のあいさつ運動の実施
- ・年2回PTA新聞「安永」発行
- ・卒業DVDの制作と配付

所在地

広島県呉市

全校生徒数

469名

地域の特徴

西に黒瀬川（広大川）、東に白岳山・吉松山、北に市名勝「白糸の滝」、県名勝天然記念物「二級峡」などを有し、都市化の一方、田園の残る広々とした町である。昔から、「教育第一」を掲げた教育活動の盛んな地域である。

学校の特徴

昭和32年、穏やかな瀬戸内海を抱く呉に開校し、翌年に現在地に移転し、創立65年目を迎えた。「誠実」「勤労」「叡智」の校訓のもと、商業高校として時代の変化に応じた教育を実践し、これまで1万3千人を超える人材を輩出してきた。

組織構成

○組織は、会長、顧問（元後援会長・後援会長・同窓会長・校長・前会長）、副会長、学級理事、庶務（教員）、会計、監査、総務委員、調査広報委員、生活委員で構成。
○年に総会1回、役員会4回、理事会4回、総務委員会4回実施
○総会欠席者には、生徒を通じて総会議決事項等を連絡している。

担当課：広島県教育委員会
生涯学習課

つながり学び合うPTA ～子供たちの笑顔のために～

キーワード 保護者・地域との連携 / 豊かな体験活動

取組概要

保護者及び地域と連携し、互いのつながりを深めつつ、豊かな体験活動を通して郷土愛を育むとともに、“学び合う”ことのできる子供の育成を目指している。

取り組みの詳細

★地域住民

- ・藍染め農家の協力の下、保護者とともに、運動会の演技で着用するTシャツを染めた。
- ・地域住民に見守られながら、徒歩で釈迦堂まで移動し、地域住民から由来や歴史について教わった。

連携による豊かな体験活動

★地域団体

- ・浦庄子どもを守る会の見守り活動や青少年健全育成浦庄支部の巡回パトロールにより、園児の交通安全を確保している。
- ・社会福祉協議会とともに、育児用品のリサイクル等に取り組み、資源の有効活用を図った。

★小・中学校

- ・隣接する小学校の学童指導員等による絵本の読み聞かせを通して、園児の豊かな感情を育てている。
- ・中学生の幼稚園での職業体験学習を通して、中学生と園児との交流を深めている。

【保護者と一緒にTシャツの藍染め】



【釈迦堂への園外保育】



学び合う子供の育成

成果

- ・地域住民との交流事業を通して、園児たちの郷土愛を育てている。
- ・コロナ禍でもできる活動についての議論を通して、PTA役員を中心に、会員同士の親睦が深まった。
- ・地域住民や近隣学校と連携した活動を通して、地域全体で子供の成長を支える体制ができ、大人も子供もともに笑顔があふれる地域づくりにつながった。

課題や今後の取り組み

園児数が減少傾向にある中、アンケート等を実施することにより、組織や活動内容の見直し、保護者会員の意見を反映した、“無理のないことに持続的に取り組む活動”を目指す。

その他の取り組み紹介

- ・約半数の園児が小学生と集団登園をしており、保護者会員が定期的に交差点などで立哨指導をすることにより、園児及び児童の交通安全の確保に努めている。
- ・町内5園の職員からなる啓発部会が作成した感染症対策文書を保護者に配布し、保護者とともに感染症拡大防止対策に取り組んでいる。
- ・園児が交代でウサギの世話に取り組んでおり、保護者が育てた野菜を餌にしたり、修了記念制作としてウサギ小屋の修繕を行ったりするなど、園児だけでなく保護者に対しても命の尊さについて学ぶ機会を設けている。

基礎情報

所在地

徳島県名西郡石井町

全園児数

33名

地域の特徴

四国山地と吉野川との間に開けた石井町の南西部に位置する。南側には季節感豊かな山並みや水田が広がるなど、豊かな自然環境に恵まれている。地域団体・保護者・学校園が連携し、地域全体で子供を育てている。

園の特徴

昭和24年開園。「一人一人の幼児が心身ともに健康で明るく豊かな心情をもつ調和のとれた人間形成の基礎を培う」を教育目標とし、家庭や地域、小中学校等との連携を生かした“学び合う”ことのできる子供の育成を目指して取り組んでいる。

組織構成

全保護者・全教職員がPTA会員で、役員が活動推進の助言等を行い、各部会が計画的に活動を進めている。

【役員】

会長	1名	副会長	1名
家庭教育役員	2名	監事	2名
クラス役員	6名	アルバム委員	2名
交通安全母の会役員	4名		

【部会】

環境部	研修部	広報部
体育部	交通安全部	

担当課：徳島県教育委員会生涯学習課

地域とともに歩むPTA活動

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール

取組概要

学校、PTA、公民館を中心とした地域が、共に協力し、子どもたちの健やかな成長と笑顔を守る活動を行う。

取り組みの詳細

(1) 新小夜市（にいしょうよいち）

PTAが中心となり、保護者の勤務先を含めた近隣企業の協力を得ながら、夏休みに夜市を開催している。福引や花火の打ち上げが行われ、公民館、地域の自治体、近隣企業の強いサポートの下に毎年盛況に開催され、23年間継続している自慢のイベントである。



〈出店の様子〉



〈福引の様子〉



〈花火の様子〉

(2) 地域防災訓練、防災キャンプ

公民館と連携し、PTA、地域住民、小・中学生が消防署や自衛隊の協力を得て、起震車体験、煙体験、土嚢づくり、炊き出しなど、参加体験型の防災訓練を行っている。

また、PTAと公民館が連携し、災害時を想定した児童対象の避難宿泊体験として、簡易ベッドづくり、空き缶での炊き出しなどを行った。



〈段ボールベッドづくりの様子〉



〈地域防災訓練の様子〉

成果

- ・地域学校協働活動の充実により、多種多様な活動を行うことができた。
- ・子どもたちのふるさとを愛する心が育ち、地域で育った高校生が企画したイベントも行われた。
- ・様々な団体や企業と協力することができ、PTA会員の負担が軽減された。

課題や今後の取り組み

- ・児童数の減少によりPTA役員の負担が増えている。
- ・コロナ禍のため、地域と共に行う活動が制限される。

その他の取り組み紹介

- ・はまっこ教室（公民館が主となって地域の方々のマンパワーを活用し、学校・地域で子どもたちを育てる。）

基礎情報

所在地

愛媛県新居浜市

全校生徒数

170名

地域の特徴

公民館が学校のすぐ近くにあり、PTA行事全般に渡り連携が取りやすい環境である。そのため、地域自治会や老人会、青年団など、各種団体の講師の派遣等、各行事において公民館を中心として尽力をいただいている。

学校の特徴

本校は新居浜市の中心地に位置する児童数170名の小規模校である。「自ら学び、豊かでたくましく生きる児童の育成」の教育目標の下、全職員が協働し、家庭・地域と連携しながら自ら学ぶ力を身に付けた児童の育成を目指している。

組織構成

PTA組織図

顧問	1名
役員	10名
役員補佐	1名
委員	1名

学年・学級PTA

本部PTA

学年	学級	PTA役員	本部役員
1年	1学級	1名	1名
2年	1学級	1名	1名
3年	1学級	1名	1名
4年	1学級	1名	1名
5年	1学級	1名	1名
6年	1学級	1名	1名

担当課：愛媛県教育委員会
社会教育課

高知県

越知町立越知中学校PTA

町ぐるみで子どもを育てるPTA組織

～地域協働の活性化をめざして～

キーワード

越知中学校PTA役員会・PTA-OB会・開かれた学校推進委員会合同会 越知町PTA連合会

取組概要

越知中学校では「PTA役員会」「PTA-OB会」「開かれた学校づくり推進委員会」といった3つの組織の連携協力により、学校を支える体制が構築されている。三者が協力して学校行事等に取り組むことで地域とともにある学校としての役割を果たしている。

取り組みの詳細

地域と学校をつなげる組織運営

越知中学校PTA役員会・PTA-OB会・
開かれた学校づくり推進委員会合同会

「PTA-OB会」と「開かれた学校づくり推進委員会」との合同開催。子どもたちの地域での様子、また、地域からの要望や情報提供、学校との連携など校外について広く話し合いができる場となっている。

越知町PTA連合会

保幼小中すべてのPTA会長がそろっての協議会。県や他市町村PTAの取組も紹介されるなど、見識を広める情報交換の場となっている。

「越知中学校PTA役員会」・「PTA-OB会」・「開かれた学校づくり推進委員会合同会」の3つの組織が中学校を支え、地域の課題に応える仕組みづくりができています。また「越知町PTA連合会常任委員会」によって、それぞれのPTA活動の活性化へとつながっている。このように町ぐるみでのPTAの連携が中学校における保護者の協力体制へとつながっている。地域の方による文化祭への協力、生徒も参加した夏祭り売店活動、地区民運動会、秋祭り商店街パレードなどが活発に行われている。



成果

- 組織や取組内容の見直し、精選を進めることで、コンパクトな編成となり、効率の良い運営ができ協力体制も築くことができた。
- コロナ禍で縮小された体育祭と文化祭であったが、審査や表彰、朝早くからの作業や準備、片付け等に保護者総出で行うことができた。

課題や今後の取り組み

- 少子化が進んでいく中で、地域に貢献し町全体を活性化させるような活動を仕組んでいくこと。

その他の取り組み紹介

- 越知町P連新聞
- PTA家庭教育研修会
- 開かれた学校づくり委員会へ生徒会が参加して協議
- 越知中版ネット・スマホの四か条

基礎情報

所在地

高知県高岡郡越知町越知甲1915

全校生徒数

90名

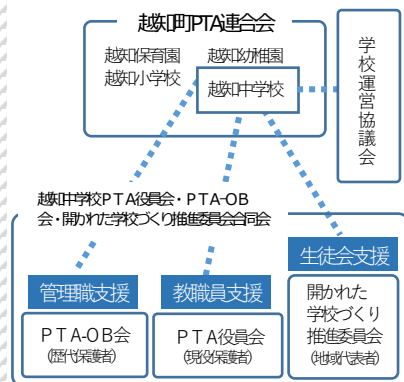
地域の特徴

越知中学校は、高知県のほぼ中央を北西から南東に流れる仁淀川の中流域に位置し、石鎚山系の支脈にかこまれた海拔65mの盆地を中心とした市街地にある。校舎の北側には、清流仁淀川が流れ、北西には横倉山がそそり立ち、自然いっぱいの環境にある。横倉山は、コノドントよばれる日本で最も古い化石が発見されたことで知られている。また、高知県が生んだ世界的な植物分類学者、牧野富太郎博士が本格的に植物学の研究を始めた場所として知られている。

学校の特徴

「主体的に生きる能力を育て豊かな人格の生徒を育成する」を学校教育目標に掲げている。令和3年度にパナソニック教育財団から研究助成を受けることとなり、教員のICT活用指導力と生徒の情報活用能力を向上させ、各教科において日常的にタブレット端末を活用し、効果的な授業展開や指導方法の研究を行っている。

組織構成



担当課：高知県教育委員会事務局生涯学習課

佐賀県

吉野ヶ里町立東脊振幼稚園 P T A

地域に愛される子ども達・幼稚園に！

キーワード 保護者、地元農家・地元企業との連携で子ども達に様々な体験活動を！

取組概要

- 地元企業から提供を受けた木材を使用した親子木工ワークショップや積み木製作
- 地元農家の協力による田植えや稲刈り体験
- 徒歩降園による挨拶や交通マナーの定着

取り組みの詳細

《木工ワークショップ・積み木製作》

地元の木工所等に提供してもらった木材を利用し、木工ワークショップを開催。コロナ禍においても開催できるよう、複数回実施したり、広い場所を提供したりするなどの工夫を行いながら実施した。釘や金槌、のこぎりなど普段使うことのない道具を使うことや素材である木材の豊富な種類によって、豊かな体験につながった。



《田植え・稲刈り体験》

地元農家の水田を借りて、毎年5歳児が田植えと稲刈りを体験している。田植えでは、泥んこの感触を楽しんだり、小さな苗が本当に米になるのかを話し合ったりする姿が見られた。稲刈りは、鎌を使って丁寧に収穫する。例年は、5歳児が育てたもち米を使って、老人クラブや地域の方の協力のもとで、餅つき会を開催している。しかし、令和2年度はコロナ禍において開催できなかったため、鏡餅を作ってお正月を迎える準備を体験した。



《徒歩降園と挨拶・交通マナーの定着》

4歳児以上は、降園方法の一つとして、歩いて帰ることが選択できる。職員が引率して、4つのコースに分かれ、保護者の待つ所定の場所まで約1キロを歩いて降園する。地域の方への挨拶はもちろん、交通マナーを身につける機会となり、挨拶や交通マナーが定着している。

成果

- ・全家庭が一人一役として園行事に参加することで、園に対する保護者の関心が高まった。
- ・役員会の他、行事終了後に行うアンケートによって、保護者の意見がタイムリーにPTA活動に反映できた。
- ・地域の方の協力によって、園だけではできない様々な体験ができた。

課題や今後の取り組み

- ・保護者や地元の協力が得られる環境を生かし、子ども達の様々な体験を継続していきたい。
- ・役員の担い手が増えるよう、更に負担感を減らし、園との協力体制を整えたい。

その他の取り組み紹介

- ・地域団体や老人クラブと連携した餅つき会や調理体験の実施
- ・保護者・地域住民・卒園児保護者等のペットボトルキャップ収集による、発展途上国へのポリオワクチン寄贈等の活動
- ・保護者による入園前の保護者を対象としたワークショップ開催や卒園児保護者による行事時の臨時託児所の開設 など

基礎情報

所在地

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津799

全校生徒数

70名

地域の特徴

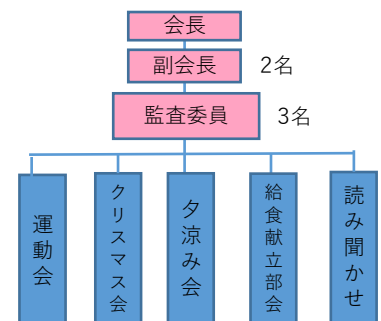
佐賀県東部に位置し、背振山と佐賀平野からなる地域である。日本最大級の環豪集客遺跡『吉野ヶ里歴史公園』や『アドベンチャーバレーSAGA』等の観光施設があり、豊かな自然に恵まれ、近県からの来町者も多い。

学校の特徴

昭和32年4月、私立幼稚園として設立され、昭和37年4月に公立幼稚園となる。3年保育を実施していたが、令和2年5月より満3歳児の受け入れを開始した。地域ご根付いた幼稚園で、多くの町民が親子数代にわたって通園している。

組織構成

運営体制・・・全園児の保護者が会員となり、一人一役としていずれかの部会に所属している。



と各部の部長・副部長を本部役員とする。

担当課：佐賀県教育庁学校教育課

「家庭・地域・学校をつなぐPTA」～広報活動を通じた活動の周知とつながりを目指して～

キーワード **地域学校協働活動／PTA活動の活性化（広報紙の改革）**

取組概要

- ・PTA主催イベント「**楽校へ行こう**」等による地域学校協働活動
- ・PTA広報紙「**あけぼの**」等による地域学校協働活動の周知

取り組みの詳細

○PTA主催の体験活動「**楽校へ行こう**」

地域の方や保護者が講師を務め、地域に伝わる伝統文化や普段学校では体験できない活動を親子一緒に行う喜々津小PTAの一大行事となっている。多くの参加者があり、家庭、地域、学校が連携した有意義な活動となり、恒例行事として定着している。

○地域伝統行事「**ペーロン大会**」

本校では、ふるさと教育の一環として約350年にわたり継承されている「ペーロン」を、保存会の方々が講師を務め学習している。地域でもこの伝統文化を継承すべく「ペーロン大会」が開催され、その大会に保護者と教職員合同のPTAチームで出場し、保護者・地域・学校の協働体制と信頼関係の構築につなげている。

○PTA広報紙「**あけぼの**」、役員会報告「**PTAだより**」

多くの保護者にPTA専門部の活動を周知することを目的に、学校行事やPTAと地域が協働したボランティア活動、家庭教育に係る特集、役員会の報告等を記事にして、定期的に発行している。

現在もより充実した広報紙の作成に向けて、広報部経験者の保護者を顧問に迎え、研修や協議、改善を重ねている。他の専門部においても同様の改革を進め、活性化を図っている。

成果

- ・地域との協働によって、子供も保護者もふるさとの良さに気付くことができた。
- ・改革を経て、作成・発行した広報誌が学校内外から賞賛を受け、部員の作成意欲に繋がっている。

課題や今後の取り組み

- ・地域への広報紙の配布
- ・専門部の円滑な引継に向けたマニュアル作成。
- ・広報紙以外の媒体を活用した広報活動

その他の取り組み紹介

○合同地区別懇談会

- ・中学校区の保護者、自治会長、民生委員、教職員の意見交換の場

○キャリア講演会

- ・保護者が講師となり、高学年を対象に過去の経験や職業について話す。

基礎情報

所在地

長崎県諫早市

全校児童数

509名

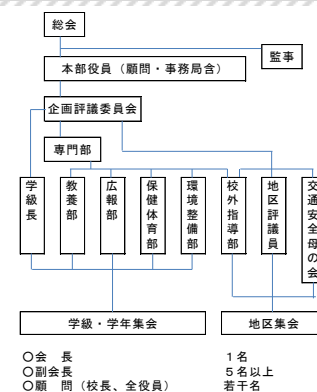
地域の特徴

本校がある諫早市多良見町は諫早市の西部に位置し、長崎市につながる国道34号線や高速道路、JRが通り、昔から交通の要所である。また、大村湾に面しており漁業やみかんの栽培が盛んで自然豊かな地域である。

学校の特徴

本校は明治6年に開校し、校舎の移転や児童数の増加による学校の分離、市町村合併等を経て創立147周年を迎えた歴史と伝統ある学校である。地域に伝わるペーロンや浮立、長崎街道の調査等、ふるさと教育にも力を入れている。

組織構成



担当課：長崎県教育委員会
生涯学習課

学校×家庭×PTA×地域の絆で一丸となった災害復興への取組

キーワード

地域学校協働活動 / 家庭教育 / PTA広報誌 / 令和2年7月豪雨災害

取組概要

令和2年7月豪雨では、地域全域が被災し、渡小学校も全壊となった。子供たちの家庭の約7割が自宅を失い、今も不安な生活が続いている。こうした中、これまで培ってきた「学校×家庭×PTA×地域の絆」により、一丸となって災害復興に取り組んでいる。

取組の詳細

PTA主体による災害清掃

令和2年7月豪雨により、渡小学校が被災したため、村内外のボランティア団体と協働で、流木等により荒れた運動場の整備や学校備品の移動、洗浄等、清掃活動や復旧作業が実施された。清掃後の学校花壇には、地域住民の方々により花も植えられており、現在も継続されている。



復興グラウンドゴルフ

地域学校協働本部と老人会の共催により、復旧作業が行われた渡小学校運動場にて球磨村復興グラウンドゴルフ大会が開催された。PTAからの呼びかけもあり、多くの児童や保護者、教職員、地域住民が参加し交流を深めることができた。被災した学校に久しぶりに笑顔があふれた。



成果

地域住民の心のより所である渡小学校を、被災したままの状態から、少しでも以前の状態を取り戻すことで、保護者、教職員、地域の心の癒えに繋がった。

課題や今後の取組

発災から1年が経過した。今後ますます地域に笑顔が戻るような活動を行う。

その他の取組紹介

PTA全体行事で「絆アルバム」を作成



会員のみならず学校支援活動に参加された地域住民の方々や、その他地域の方々の写真も撮影し、パネルに張りつけ、家庭・教職員・地域住民の「絆」が深まる1枚の大きなアルバムを作成した。渡小の復興行事等で掲示。

「学び」に繋がるPTA広報誌



R1.3月
広報誌
学校×家庭×地域が考える「私達の役割」とは

「学び」に繋がるよう、学期ごとにテーマを設定し、情報を発信。「全国PTA広報誌コンクール」において企画賞、日本PTA協議会会長賞を二年連続受賞。

所在地

熊本県球磨郡球磨村

全校生徒数

78名

地域の特徴

令和2年7月豪雨により、周辺の地域や施設、田畑も壊滅的な被害を受けたため、解体工事が進み、空き地や耕作放棄地が増えている状況ではあるが、復興に向けて懇談会や地区別協議会が頻りに行われており、周辺地域の整備も少しずつ始まっている。住民有志により、校区内の田畑や学校の花壇に花を植える取り組みも行われている。

学校の特徴

令和2年7月豪雨により、学校施設も壊滅的な被害を受けたため、現在はコンテナ仮設校舎にて学校生活を送っている。

また、災害に伴う人口減少により、今年度から複式学級が編制されたが、各学年の枠を超え、限られた空間で活発な学校生活を送っている。

組織構成

渡小学校に在籍している児童の全家庭及び教職員が会員として加入し組織を構成している。

役員については、会員の中から選出することになっており、執行部（本部役員）として、会長1名、副会長2名、書記及び会計各1名、監事2名、各委員会（学年委員、母親委員、広報委員、地区委員）の委員長4名で構成されている。

なお、執行部役員の選出は、年度末に合同役員会にて行い、年間の事業は委員会ごとに企画し、会計は年度末に監査を受けている。

また、役員事業会計については、総会にて全会員の承認を得ることとなっている。

担当課：熊本県教育委員会社会教育課



令和2年7月豪雨災害被災状況

「PTAや地域の協力がある三ヶ所小学校」

キーワード 地域学校協働活動 / 地域団体との連携 / 保護者と学校の協力 / 広報活動

取組概要

保護者・地域住民の参画による奉仕作業や学習支援活動など、「我が子のため・我が母校のため・我が地域のため」という思いで、保護者・地域・学校が一体となって、主体的に様々な学校行事・PTA行事の運営を行っている。

取り組みの詳細

保護者・地域の方が参加しての奉仕作業

広い校内の草刈り作業には、ほぼ全家庭の保護者が参加する。自ら草払機等を持参して、子どもと一緒に作業に取り組む。

また、地域の方々も「我が地域の学校」という思いで、自主的に学校に来られて草刈り等をしてくださるなど、保護者・地域が協働的に学校支援を行っている。



保護者・地域の学習支援



各学年で様々な特産物（梅・柿・ヤマメなど）についての学習を行っている。保護者、地域住民、企業や事務所等が積極的に協力している。

5年生の米作りの学習では、田植え・稲刈り・脱穀・餅つきなどの工程を体験的に学ぶことができるよう、学習支援を行っている。

成果

- 保護者・地域住民が学習支援に関わることで、専門的な話や充実した体験活動を児童に提供でき、児童の学習意欲の向上へとつながることができた。
- 地域の子どもを地域で育てる意識の維持・向上を図ることができた。

課題や今後の取り組み

- ◇ 児童数の減少に伴い保護者数も年々減っている。現在の様々なPTA活動の在り方を検討し、これからの活動継続に向けた改善も必要である。

その他の取り組み紹介

- ◎ 本町の特産品に茶がある。本校にも茶畑があり、茶摘みも多くの地域の方から協力をいただいている。
- ◎ 学校保健会やPTAが協力して、三ヶ所地区出身の料理研究家である寺本りえ子氏の保護者向けオンライン研修を実施した。これにより、本町が推進する「早寝・早起き・朝大豆運動」への関心を高められた。

所在地

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町

全校生徒数

60名

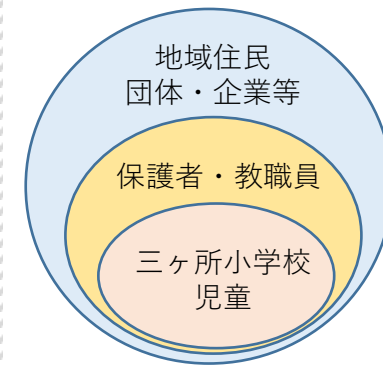
地域の特徴

九州山地の中央に位置する五ヶ瀬町は人口約3600人、日本最南端の五ヶ瀬ハイランドスキー場を設置している自然豊かな町である。山間部ならではの文化が発達し、地域の温かな繋がりが強く残る地域である。

学校の特徴

本校は町の中心部の三ヶ所地区にあり、140年の歴史と伝統を有する。PTAに保護者、教職員だけでなく、地域の方々も入っているため、児童60人に対して、総会員数が498名となっている。学校教育全般において、保護者や地域からの全面的な協力体制が構築されている。

組織構成



担当課：宮崎県教育委員会
生涯学習課

地域と連携・協力した特色あるPTA活動の実践

キーワード

青少年健全育成活動 / 伝統文化の理解・継承 / キャリア教育 / 地域学校協働活動

取組概要

地域・家庭・学校が連携・協力し、体験活動等を通じたキャリア発達の育成と青少年健全育成の取り組み

取り組みの詳細

○地域との連携・協力として安里青年会の指導のもと旗頭の取り組みを行っている。地域の伝統文化の理解と継承に努め、持続可能な地域発展の一役を担っている。真嘉比旗頭保存会も立ち上がり活動に広がりもみえる。



○地域の老人ホームを訪問し、小物づくりを通じたお年寄りとの交流（もふもふの会）清掃活動等の体験活動を行っている。



○東日本大震災復興・首里城復興募金の実施。
○地域、企業と連携した職場体験学習の実施。

○「や～なれ～運動」「GO家（ゴーヤ）運動」を通して、基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上等を地域と連携・協力して推進している。第3金曜日には地域（警察・民生委員・自治会・老人会等）との合同防犯パトロールを実施し、問題行動の未然防止等、青少年の健全育成に取り組んでいる。また、各団体との情報意見交換を行い、必要に応じて保護者に注意喚起等の支援活動も行い成果をあげている。



○年3回発行するPTA広報誌で学校行事や生徒の地域の活動等を紹介している。

成果

- 地域の人材を活用し生徒が伝統文化や地域理解を深めることができた。
- 地域や各種団体と連携・協力し青少年の健全育成に成果をあげた。
- 地域企業と連携した体験活動等を通し生徒のキャリア発達を育むことができた。

課題や今後の取り組み

- 地域学校協働活動の充実を図るため、地域学校協働活動推進員等の位置づけや役割に課題がある。
- コロナ禍においても継続的に活動を行う工夫が必要である。
- 今後はSDGsの視点を取り入れた活動の充実を図っていきたい。

その他の取り組み紹介

- 学生サポーターを活用した学習支援
- 校内施設の修繕や美化作業の協力
- 毎朝の通学路の交通安全指導
- 60周年記念事業への参加・協力

基礎情報

所在地

沖縄県那覇市

全校生徒数

633名

地域の特徴

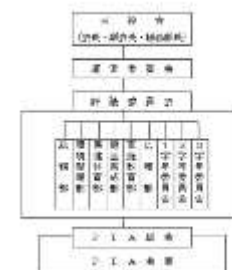
本地域は首里に向かう丘の中腹に位置し、首里城を後ろに、那覇の町、東シナ海を見渡せる地域である。自然豊かな末吉公園には多くの生物・植物が生息し、閑静な住宅街と日々変化・発展の著しい新都心を抱え、古き良き伝統と新しさが混在する地域である。

学校の特徴

本校は1962年（昭和37年）に唯一の琉球政府立として創設され、1972年（昭和47年）に那覇市立松島中学校となり、令和3年で創立60周年を迎える。本校の教育目標「自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒」のもと「自主・自立」「奉仕・自律」「健康・鍛錬」の精神を育み、個性的かつ創造性あふれ、社会の変化に対応し得る生徒の育成に取り組んでいる。

組織構成

松島中学校PTA組織



沖縄県

名護市立瀬喜田小学校PTA

地域で学び、地域とともにある瀬喜田小PTA

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 企業連携

取組概要

喜瀬，幸喜，許田の3行政区と名護市。またビーチ前に立地する2つの観光ホテルが本校PTAが核となって連携し，海浜清掃活動を行う。

取り組みの詳細



瀬喜田小学校の学区である喜瀬区，幸喜区，許田区の3行政区に分かれ，同日同時刻に活動します。漂着ゴミやポイ捨てゴミなど，名護市のきまりに従って拾い，分別を行います。親子で参加するPTAの他，企業や多くの地域ボランティアとも連携しています。（左は喜瀬区）

岩場の隙間にはさまったゴミや，国道沿いに落ちているゴミも拾います。また，海岸に降りる通り道は，参加している子どもたちに危険がないよう，PTA環境整備部で事前の草刈り作業で安全に整備されています。（右は幸喜区）



子どもたちは，身近な環境問題に関心を持つESDの機会となります。行政（名護市）は管理下の海浜の清掃に。観光ホテルはビーチの清掃に。地域行政区は居住地の美化に。Win-winの関係です。PTAが核になる海浜清掃は瀬喜田小学校の伝統の一つです。（左は許田区）

成果

- ・PTAが核となり，地域，企業が連携する活動が定着してきている。
- ・学校運営協議会で取組みを評価され，継続実施が支援された。

課題や今後の取り組み

- ・会員数の減少が続き，ひとりひとりの負担が大きくなりつつある。
- ・負担が偏らないよう行事の精選や部の併合等組織のスリム化を推進。

その他の取り組み紹介

- ・親子で学ぶネットモラル講演会
- ・親子レクリエーション大会
 - * 研修部担当
- ・中校区（3校）連携ソフト大会
- ・ワラビンピックと駅伝大会へ派遣
 - * 保健体育部担当

基礎情報

所在地

沖縄県名護市

全校生徒数

63名

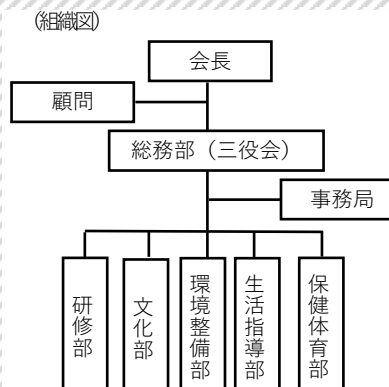
地域の特徴

沖縄本島北部の名護市街地から南へ約9km離れ，東シナ海に面した許田，幸喜，喜瀬の3字を校区としている。名護湾を一望できる景観と，自然ビーチでは西海岸随一の美しさを誇る名護市民ビーチを擁している。地域は3字を「三共（さんきょう）」と呼び合い，結束力が強い。

学校の特徴

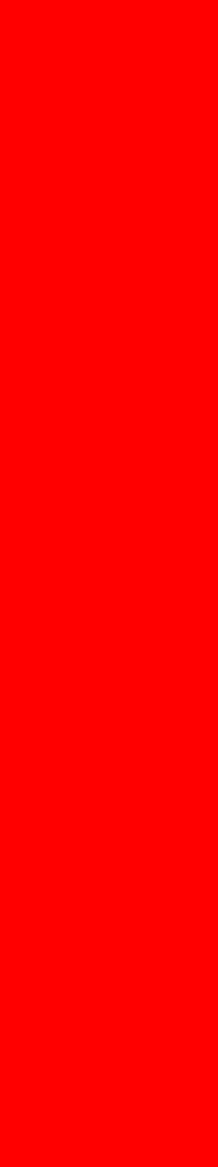
創立132年の歴史と伝統ある学校で，校庭には全校児童を包み込むようにせんだんの大木がそびえ立っている。6年生をリーダーにした，縦割り班での早朝美化作業は，本校の特色のひとつ。その取組みは20年以上続いている。

組織構成



*会員は皆，いずれかの専門部に属する。

担当課：沖縄県教育庁生涯学習振興課



テーマカテゴリー

組織・運営の工夫

コロナ禍を逆手に取り、一度限りの記憶に残る活動を

キーワード コロナ禍での活動 / 感染対策

取組概要

コロナ禍でも、“できることを、できる人が、できる方法で”行ったことにより、効率的な組織運営や活動を見つめ直すきっかけになった。

取り組みの詳細



コロナ禍により、子どもたちも保護者も楽しみにしている「ふれあい広場（お祭り）」ができない！何とかやれないものか？



★担当委員が事前に集まることもできず、準備ができないので、保管してあったお祭り用具や、学校にある用具類を使って、**分かりやすい遊戯内容で、準備も簡単にできる内容**を検討。

★感染予防を考え、「換気の良いグラウンドで」「手指や用具の**消毒を徹底して**」「お互いの**距離の確保**」「チケット類などの**やり取りを廃止**」などの工夫。



コロナ禍を逆手に取り、**できることを工夫しながら行い**、子どもたちもボランティアの方々にとっても、**思い出に残るお祭り**を行うことができた。



成果

- ・ボランティアを募ったところ、積極的に協力してくれる人が多かった。
- ・感染対策を意識した取組を考えるきっかけになった。

課題や今後の取り組み

- ・成果があったことを継続しつつ、例年の活動へと戻すタイミングやバランスを検討していく。

その他の取り組み紹介

- ・特別会計から、換気用ファン、学習発表会用のマウスシールドやフェイスシールドなどを寄贈した。
- ・参観日や懇談会が行えないことから、教職員紹介冊子を作成し、配付した。
- ・臨時休校があったため、PTA会費を減額した。

所在地

北海道札幌市

全校生徒数

477名

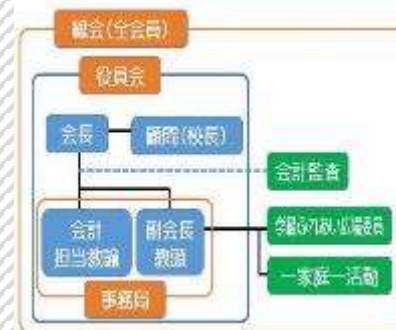
地域の特徴

ここ数年で、近くにあった牧草場が住宅地や商業施設になるなどして、校区に住む人数も増えてきた。また、区内にある大学が中心になって行う提灯を灯すお祭りに、全校児童が出展するなど、地域と学校のつながりが強い地域である。

学校の特徴

平成元年に開校した学校で、令和5年には開校35周年を迎える。学校教育重点目標である「しなやかさ・活力・心のつながり」の具体化を目指し、教職員全員が「チームしんぱつ」を合言葉に、日々の教育活動に取り組んでいる。

組織構成



担当課：北海道教育庁
生涯学習推進局
社会教育課

所在地

埼玉県北葛飾郡杉戸町清地

全校生徒数

855名（令和3年度）

地域の特徴

都心から1時間、東武動物公園駅から徒歩8分、かつての日光街道の宿場町の名残を残す町の中に杉戸高校はあります。杉戸町は、歴史や多様な地域資源がある一方で「つながり」の希薄さが課題とされています。そんな杉戸町の課題を「総合的な探究の時間」で探究しています。



学校の特徴

昭和52年4月、男女共学の全日制普通科高等学校。「一人ひとりの能力を確実に伸ばし、夢の実現を支援する学校」を目指し、「主体性」「協調性」「発信力」「共感力」「継続力」といった5つの力を持った生徒を育てています。週5日55分授業で33単位を学んでいます。



組織構成

- 会長1名 副会長18名 監事6名
 専門部・・・教養文化部、広報部、生徒指導部、進路対策部、保健体育部
- ・文化祭の際、近くのスーパーマーケットに駐車させないための駐車場警備と学校周辺も含めた清掃活動を実施。保護者が来校する機会を有効活用して、地域貢献も図っています。
 - ・年2回、広報誌発行しています。
 - ・春・秋の交通安全週間の立哨指導と文化祭の警備をしています。
 - ・進路講演会と併せて実施する学年懇談会をGoogle Meetを活用して講演会や学年の動画上映を行っています。



担当課：埼玉県教育局市町村支援部
生涯学習推進課

埼玉県

埼玉県立杉戸高等学校PTA

コロナ禍でも オンラインで ～共に目指そう 夢の実現～

キーワード 教師の負担軽減 / 保護者の負担軽減 / ICT活用 / オンライン化

取組概要

- ① R2 5.2～5.9の休校中に保護者アンケートを実施
- ② PTA主催の学年懇談会をGoogle Meetで実施
- ③ 教育活動、PTA活動においてオンライン化が加速

取り組みの詳細

①R2 5.2～5.9の休校中に保護者アンケートを実施

休校中、保護者対象のアンケートをHP上で発信し、ネットコモンズを利用して回答を集計。75.3%の保護者が回答。「学習の遅れが心配」との回答が9割。励ましの声と共にオンライン授業への要望もあり。この休校中にはオンライン授業は未実施。

②PTA主催の学年懇談会をGoogle Meetで実施

例年夏期休業中に進路講演会と併せて実施する学年懇談会は多くの参加者で「密」であった（写真参照）。中止という声もあったが、会場を増やしオンラインで実施し「密」を回避。学年の教員紹介は、動画を作成し、家庭でも見られるように。生徒・保護者から好評を博す。



前



後

③教育活動、PTA活動においてオンライン化が加速

R2 9月以降オンライン授業の実施。保護者の満足度87%。

成果

生徒も保護者も不安に耐えた昨年の休校時にアンケートを取ることで、保護者から率直な意見を聞くことができた。この時期にオンライン授業は実現できなかったのだが、その後、ICT化が一気に加速し、R3の分散登校時のオンライン授業はスムーズに行えた。R3のPTA活動においても、進路指導主事の講話をYou tubeで配信したり、学年懇談会も引き続きGoogle Meetで実施したりするなどオンラインを活用したPTA活動を行っている。

課題や今後の取り組み

現在、「オンライン授業をどうするか」という課題からオンライン授業は当たり前でどう充実させるかということの課題が移っている。保護者アンケートでもわかるように、家庭で受けるオンライン授業は、保護者の目がより反映されるものである。今後も、保護者の声を学校の教育活動の充実のために活かしていくことが大切である。

杉高で共に（生徒・教職員・保護者と共に）目指そう 夢の実現！！！！

PTAは子どもたちの応援団～Pぱっと Tたのしく Aあつまろう～

キーワード 運営の効率化 / 保護者と学校との協力体制・地域との連携

取組概要

統合による新設校。会員に丁寧にPTAの趣旨を伝え、協力を得ながら組織を築いてきた。今では一体となって学校・地域と協力し子どもたちをサポートしている。

取り組みの詳細

◆会員の声を反映した民主的な運営、運営の効率化

- だれでも役員になれる組織づくりを目指し運営を効率化している。共働きや未就学児がいても、会議に参加し易く時間を変更、子連れ参加も可とした。



◆ICT活用による情報発信の工夫

- 現在PTA加入率は約95%。独自に作成したパワーポイントで、PTAの趣旨や活動内容、予算の使いみちを丁寧に説明しPRしている。
- 加入届も、紙で提出以外にWEBでの登録方法も可能にした。
- 各種研修事業の参加募集やお知らせもQRコードを活用し、役員以外でも多くの会員が閲覧・利用し易く工夫した。

◆健全育成のため、学校と保護者・地域の連携強化

- PTAの会議（総務会や運営委員会）には管理職のほか各学年主任等も参加し教職員との情報交換を密に行い、相互に協力体制を築いている。
- 年4回の地域パトロールには、PTA（保護者と教職員）と育成委員会など地域の方々と協力して参加。祭りなど地域行事には、生徒もボランティアで参加している。



◆子どもと大人の学びをサポート

- 例年、PTAが子どもと大人が共に学べる場を提供。講師を招聘して講演会やコンサートを開催し、地域にも広く参加を呼びかけ開放している。

成果

- PTA組織のある学校となかった学校との統合。一から組織を創り始めて7年を経た。現在では、多くの会員の協力を得て主体的に活動し、子どもたちをサポートするために、学校（先生方）や地域と良好な関係を築くことができています。

課題や今後の取り組み

- 役員の負担感を減らす取り組みを今以上に工夫していく必要がある。
- 協力や支援を得るため、地域や会員への情報発信を充実させたい。

その他の取り組み紹介

コロナの緊急事態宣言で突然の休校！「私たちPTAに何ができるか？」学校と相談し、すぐに動こう！と決定。臨時予算執行。

- ◆学校再開に合わせ全ての手洗い場にディスペンサーとハンドソープを寄贈



即行動！

- ◆未使用布マスクの回収と寄贈も実行

基礎情報

所在地

千葉県千葉市

全校生徒数

368名

地域の特徴

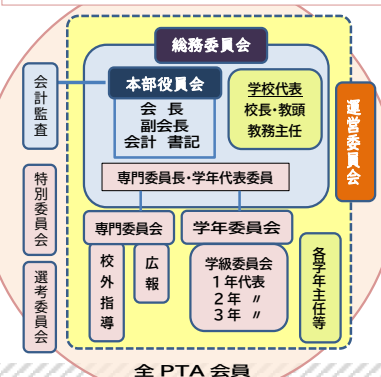
花見川区は千葉市の北西部に位置。区域を縦断する「花見川」にはサイクリングコースが整備され、緑豊かでのどかな環境に恵まれている。また、内陸部は工業団地、JRや京成線沿いには商業施設が広がり、都市と自然が調和している。

学校の特徴

2校が統合し平成27年に新設校として開校した。学区が広く自転車通学が許可されている。建学の理念は「自主」「協力」「創造」。学校教育目標は「自主性に富み、特性と知性を備え、心身ともに健康な生徒の育成」である。

組織構成

花見川中学校PTA組織図



担当課：千葉県教育庁 生涯学習課
(千葉市教育委員会 生涯学習振興課)



こんな時こそ！ 児童・保護者・教職員・地域 みんなでつなぐPTA

キーワード

委員会の活動内容の見直し／PTA組織改編／役員・委員・教職員の負担軽減／ICT活用／保護者の利便性向上／経費削減

取組概要

委員会活動の内容を見直し、どのような状況や時代でも活動に参加できる人が関わりやすいPTA組織への改編を提案し、それに伴う規約改正とプリント配信アプリの導入・活用ができるように総会で承認を得た。

取組みの詳細

<1>活動の見直しと組織改編

○委員を選出する際の役員・教職員の負担軽減や状況に合わせた活動を推進するため、委員会構成を見直した。

<改編前>

学年委員会
成人委員会
会員委員会
広報委員会
校外委員会
選考委員会
行事協力サポーター

<改編後>

広報委員会
校外委員会
選考委員会
行事協力サポーター
バザー係(新設)

多くの会員がPTA活動に参加しやすくなるように、年間を通じての活動を減らし、前もって予定が立てやすいポイントでの参加協力ができるような体制に改編した。また、ICTも活用することによって負担を減らしながらも、迅速に情報を届けるようにした。



- 委員の選出学年や人数を規約で明記せず、その年度の児童数や社会状況に合わせて柔軟に対応できるようにした。
- 常置の委員会・係以外の活動を希望により実施できるよう運営委員会で議決可能な細則を設け、現状に合わせた活動内容へと柔軟に見直しができるようにした。

<2>プリント配信アプリの導入

- 組織改編後のPTAのしおり(規約集)を新たに作成し、プリント配信アプリおよび学校HPに掲載し、いつでも見られるようにした。
- 電磁的方法を使った総会も可能となるよう規約を改正した。



成果

- ★負担軽減と充実した活動のための組織改編が理解され、PTA活動に前向きに参加してくれる保護者が増えた。
- ★プリント配信アプリの導入により、作業時間や来校回数が減り、役員・委員の負担が軽減した。
- ★プリント配信アプリの利用により、保護者へ迅速かつ確実に配付物の提供ができ、保護者の利便性も向上した。またカラーによりわかりやすい情報共有が可能になった。
- ★ペーパーレスにより経費が削減し、環境にも優しい活動となった。

課題や今後の取組み

- ★今後、会員数の減少が見込まれるため、より効率的なPTA活動を目指していく。
- ★アプリ登録者は現在95%、未登録者には個別に対応しているが、100%の登録を目指している。
- ★学校からの配付物も少しずつではあるが配信されるようになってきた。今後はより多くの配付物がアプリを使って配信されるよう利用を働きかけている。

その他の取組み紹介

- ◆Tシャツを作成販売し、日常や運動会で着るなど、教職員と保護者や子どもたち、地域の方々と一緒にした。
- ◆歴代PTAの農家の方々に学校農園の指導を協力依頼することで、コロナ禍でも子どもたちの農業体験を継続した。またボランティアによる読み語りや図書館整備など、学校教育を支援する取組みも行った。
- ◆保護者による児童下校時の見守りパトロールは、今までと変わらず毎日実施した。



基礎情報

所在地

神奈川県川崎市

全校児童数

772名

地域の特徴

多摩丘陵の北端に位置し、自然が多く農業が盛んに行われている。四季を問わず地域行事も多く、老若男女が協力し合える地域であり、人との繋がり・絆がある。野菜直売所も至る所であり、採れたての野菜を日々食することができる。PTAふれあいバザーへの野菜寄贈をはじめ、地元野菜を給食で提供するなど、地域全体で行事や学校教育に協力し、盛り上げている。

学校の特徴

今でも多くの畑や森などが残り、さらに四季折々の景色を楽しむことができる自然豊かな丘の上にある。屋上からは360度の大パノラマが広がる景色を見ることができる。協力的な保護者、あなただけの地域の方々を守られており、地域農家の協力により学校農園も豊かで、畑や田んぼなど学年ごとの農業体験を全学年で行うことができる。

組織構成

川崎市立久末小学校父母と先生の会組織図



担当課：神奈川県教育委員会教育局
生涯学習部生涯学習課

基礎情報

所在地

奈良県大和高田市

全校児童数

314名

地域の特徴

- ・校区には田畑が広がり、そこで地場野菜が栽培されている。学校でのさつまいもなどの野菜栽培や米作り体験に地域の方の協力をいただいている。
- ・保護者は学校行事やPTA活動への参加に熱心で協力的である。

学校の特徴

- ・広く緑豊かな教育環境で、児童は元気いっぱい運動したり様々な栽培活動を行ったりするなど、自然で親しむ経験が豊富である。
- ・施設を開放し、地域住民のスポーツ・文化活動など生涯学習の場として活用している。

組織構成

- 本部役員12名
会長 1名
副会長 4名(内1名は教頭)
会計 1名
書記 3名(内1名は学校)
会計監査 2名
(内1名は学校、1名は副会長兼務)
顧問 2名
- 各事業部長6名
生活保健部、人権教育部、文化推進部、広報部、母の会、補導部(副会長兼務)
- 各事業部員(4年生保護者全員)

担当課：奈良県教育委員会事務局
人権・地域教育課

PTAへの疑問や不安をオリジナルハンドブックで解消！

キーワード 相互理解 / 広報活動 / 理解深化 / 活動充実

取組概要

教職員と保護者、保護者同士のPTAに関する相互理解を深めるため、PTAの成り立ちや目的、役割、活動内容をイラストを多用しながら紹介するオリジナルハンドブックを作成し、教職員及び各家庭へ配布

取り組みの詳細

【背景】

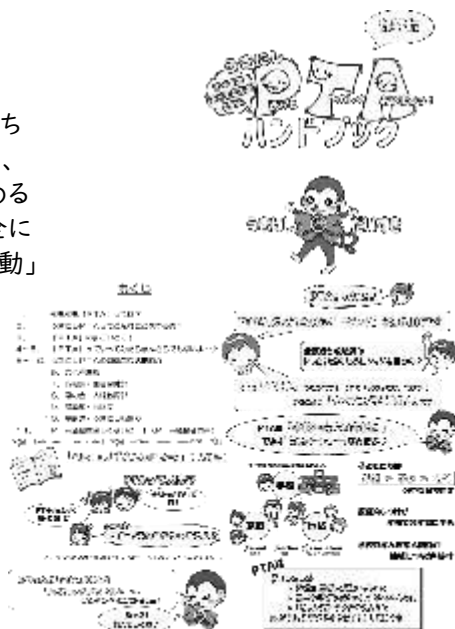
昨今、PTAに対しネガティブなイメージをもっている方は少なくない。その要因の一つとして、PTAの活動内容が十分に理解されていないからではないかと考え、PTAに対する理解を深めるために、「うきにしPTAハンドブック(オリジナルハンドブック)を作成することとした。

【目的】

「PTAってまんざらでもない!子どもたちのためになって結構ステキだ」をテーマに、ハンドブックを活用して相互理解を深めることにより、「すべての子どもたちが安全に安心して健やかに成長できるための活動」の充実を図る。

【取組内容】

- PTAの成り立ち・目的・役割
- ・活動内容を紹介
- 親しみやすいようにイラストを多用
- 手に取りやすいようなサイズ感で作成(B5・全12頁)
- 教職員及び各家庭へ配布



成果

- ・PTA活動に消極的な保護者への説明に活用。
- ・PTA活動の理解が深まり、PTAに対する疑問や不安が軽減。
- ・教職員にもPTA活動への理解が浸透。

課題や今後の取り組み

- ・保護者にハンドブックを配布し、活動の活性化と持続性を図る。
- ・ハンドブックの配布だけでなく、実際の活動の中でも相互理解を深めていきたい。

その他の取り組み紹介

- ・子ども見守り活動(登下校の安全確保、正門での挨拶運動など)
- ・リモートじゃんけん大会(コロナ禍でも可能な活動として各教室と放送室を繋いで実施)
- ・通学路安全マップ作成(通学路点検を実施し、危険箇所を集約)

運営の充実と協力体制により、生徒の学校生活を支える

キーワード 会員の協力体制の構築／学校行事運営の支援

取組概要

- ・「葦岡祭（よしおかさい）」（文化祭・体育祭）では食べ物販売やフリーマーケットを役員、評議員で企画・運営し、盛り上げの一助となるようにしている。
- ・列車内補導や交通指導などの活動により、生徒の健全育成に取り組んでいる。

取り組みの詳細

○会員の協力体制の構築

- ・県内外の人権研修会やPTA研修会への、会員の参加を促進し、研鑽を積むとともに参加者同士の友好を図り、協力体制を築いている。

○生徒の学校生活を支える活動

- ・「葦岡祭」では食べ物販売やフリーマーケットを役員、評議員で企画・運営し、盛り上げの一助となるようにしている。また、バザーの収益で卒業生のコサージュを手作りしている。



〈葦岡祭のバザー〉



〈卒業生のコサージュ作り〉

- ・教職員と協力し下校時間の列車内補導や朝の交通指導を行っている。朝の交通指導では交通委員会の生徒と一緒にあいさつ運動に取り組んでいる。

○PTA活動についての情報発信

- ・年間約5回、「PTAだより」を発行し、活動の様子とともにホームページに掲載し、積極的に情報発信を行っている。
- ・葦岡祭の案内を学校周辺の町内会に配付し、バザーへの来場を呼びかけている。

成果

- ・葦岡祭には地域の方を招き、生徒の活動を知ってもらう良い機会となっている。また、バザーは地域の方からも好評で、PTA活動への支援につながっている。

課題や今後の取り組み

- ・保護者や地域の方が参加できる行事の拡充による開かれた学校づくり。
- ・コロナ禍で中止となった行事の再構築。

その他の取り組み紹介

- ・PTA総会、入学予定者招集日に講師を招き、講演会を実施。
- ・姉妹縁組校であるニュージーランドのカシミア高校生徒のホームステイの受け入れ。 など

基礎情報

所在地

岡山県倉敷市

全校生徒数

950名

地域の特徴

岡山県南部に位置する中核市である。生徒の資質・能力の向上や進路実現に向けた取組に対して大きな期待を寄せている。進路・キャリア教育では、地域の財産（美術館・研究所などの施設）と地域の人材（卒業生・保護者等を含む）を活用している。

学校の特徴

個性（知性×感性）を育む「学びの場」として、充実した学習環境の中で、社会に開かれた進学重視型単位制カリキュラムによる学びを進める。それぞれの学びを「探究」でつなげ、知り、深く考え、未来を創るために行動する志と力、「未来創造力」を育む。

組織構成

- ・在籍生徒保護者と教職員により構成。
- ・主な運営は、各学年より選出された会長・副会長・監事の執行部と評議員にて行われる。
- ・人数は執行部12名、評議員約70名。
- ・評議員会には、生活委員会と広報委員会を設け、生徒の交通指導や健全育成のための広報活動を実施。

担当課：岡山県教育庁生涯学習課

全ての児童を同じように思う保護者の集団（協働チーム青葉小PTA）

キーワード 一人一役 / 全保護者 / 地域との連携 / 読書指導 / 青葉の笛 / おやじの会

取組概要

10の専門部に全PTAを「一人一役」と位置付け、毎月、総務会を開催し、綿密な計画のもと様々な取組を行っている。

取り組みの詳細

- PTAを中心に活動する全行事（各専門部の仕事、愛校作業、リサイクル活動、あいさつ運動、旗当番、プール監視等）は、全保護者が協力し合って行うものと運営方針を掲げ、活動に取り組んでいる。
- 「青葉小PTA実践6か条」として①親子でふれあう、語りあう時間の設定をしよう、②家族みんなで気持ちのよいあいさつをしよう、③「早寝・早起き・朝ごはん」を実行しよう、④進んで家庭学習をしよう、⑤「1日20分間読書」「家読」をしよう、⑥歩いて登下校「歩育」をしよう、を設定して取り組んでいる。
- 舞鶴大学との交流会（高齢者クラブと児童の世代間交流）や米作り、「青葉の笛」、夏祭りなどもPTAと地域が連携しながら活動を進めている。
- PTA図書部を専門部として組織し、学校が継続して取り組んでいる読書指導にも「読み聞かせ」や「家読（うちどく）」等を実践し、学校と保護者が連携を密にしている。また、親子読書会「おはなしの森」は、読み聞かせや、パネルシアター制作、緑陰読書等を定期的に行っている。
- 開校以来、おやじの会の活動も盛んで、「運動会の緑門作り」や「門松作り」「学校キャンプ」等、PTA活動を盛り上げている。

成果

- ・コロナ禍の中、工夫してPTA活動を実施でき、繋がりを維持できた。
- ・学校、PTA、地域が連携し、「青葉の笛」等、特色ある活動の推進が図られている。

課題や今後の取り組み

- ・会員の行事へのより積極的な参加
- ・役員の人材確保や会員同士がさらに知り合う機会の工夫
- ・案内文書やアンケート等、ICT活用による負担軽減

その他の取り組み紹介

- ・生活指導部のスクールガード活動
- ・学級運営部によるあいさつ運動
- ・研修部によるPTA教育講演会
- ・厚生部によるベルマーク収集
- ・事業部のバザー、リサイクル活動
- ・保体部の体育的行事への協力
- ・広報部のPTA新聞発行
- ・年8回程度の家庭教育学級の実施

所在地

鹿児島県霧島市

全校生徒数

301名

地域の特徴

校区は、霧島市国分の北部に位置し、自然・歴史・交通に恵まれている。校区に伝わる郷土芸能「重久太鼓踊り」「青葉の笛」「神舞」を子供たちに伝える活動も盛んに行われるなど、学校の教育活動に対し協力的な地域である。

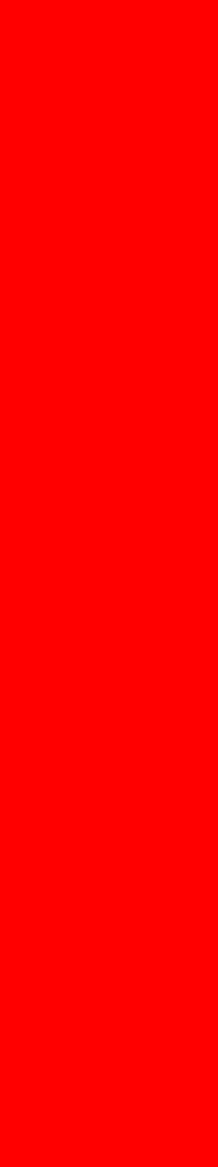
学校の特徴

平成9年に開校し今年度、創立25周年。「青葉」の名の由来は、源平の戦いで命を落とした笛の名手「平敦盛」が愛用していた「青葉の笛」による。年間を通して読書活動の充実を図っている。

組織構成



PTA会長1名、副会長6名、書記1名、会計1名を総務部とし、他9つの専門部から構成されている。全保護者がどこかの専門部に所属し、それぞれの専門部の中で役割を分担しながら、PTA活動へ参加している。おやじの会は、有志により組織され年間を通して、学校へ協力活動を実施している。



テーマカテゴリー

学びに関する活動

教育活動の活発化を援けて、生徒の資質・能力の向上を図るPTA活動

キーワード 学校教育支援／伝統行事支援

取組概要

100年続く伝統行事「うさぎ狩り」をはじめ、主要な生徒会行事をPTAの母親委員会が中心となり、健康面や安全面を側面から支えている。

取り組みの詳細

生徒会行事への支援事業

< 体育祭 >

- 母親委員会が豚汁を提供し、生徒の体力維持を支援。委員も生徒に混じり競技に参加。



< 伝統行事うさぎ狩り > 隔年実施

- 父親有志と母親委員で狩り場となる山野の刈り払い、爆竹等での熊等害獣の忌避対策。
- 行事後の全校生徒によるバケツ・ジンギスカン会食に母親委員会が芋の子汁を提供。



< 鍋城祭 >

- 母親委員会の喫茶コーナーでケーキセットを販売し、文化祭を盛り上げるとともに、利益を生徒会へ還元している。
- 親父有志が屋上から「もち撒き」を盛大に行い、文化祭を盛り上げている。



< マナーアップ運動 >

- 生活厚生委員会が生徒会委員と校門に立ち、さわやかな挨拶とともにマナーアップの向上に努めている。

成果

- 生徒会行事への支援は恒例の事業として定着しており、生徒は保護者の参加場面と位置付けている。
- 野外を活動場所とする行事においては、安全面を支援する重要な取り組みとなっている。

課題や今後の取り組み

- 保護者の行事参加は、役員や所属委員によるもので、一般の保護者でも参加できる工夫を検討して行きたい。
- 保護者の学校生活への関心度は高いと思われる。様々な媒体を通じて生徒の様子を広報し、学校と保護者の連携を図りたい。

その他の取り組み紹介

- 県地域産業高度化支援センターの協力で、保護者及び教師による企業見学を実施し、地元をはじめ県内のものづくり企業に対する理解を深めることで、地元・県内企業への生徒の就職を支援する一助としている。
- 地域の課題解決に取り組む探求活動「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」において、地元企業や大学、自治体等と協働し、学習活動を支援している。

所在地

岩手県遠野市六日町3-17

全校生徒数

317名

地域の特徴

霊峰遠野三山、清流早瀬川などで代表される自然豊かな遠野盆地。古い歴史と高い文化の香りを感じさせる街並み等、恵まれた環境の中で古くから学問の栄えた地である。この地における学問の府としての期待が高く、自治体をはじめ地域の方々から物心両面で支援を受けている。

学校の特徴

明治34年(1901年)創立。今年度120周年を迎える伝統校で、卒業生は2万3千余名を数える。「修徳尚武」を校訓とし、徳を修め、武を尊ぶ心身豊かな人材の育成を目指す。これまでスポーツや文化活動に輝かしい成果を上げており、近年では、サッカー部が平成30年度まで選手権県大会6連覇を果たすなど全国に名を馳せている。また、探求活動「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」では、地元企業や大学、自治体等と協働し、地域の課題解決に取り組んでいる。

組織構成

- 1 会長1名、副会長4名(各学年1名、副校長)
- 2 理事11名(各学年3名、事務長、総務課主任)
- 3 専門委員(各地区代表1名)
生活厚生委員、広報委員、母親委員
- 4 地区役員(遠野、松崎地区各クラス2名)
- 5 監事3名(各学年1名)
- 6 顧問若干名(教育振興会長、校長他)

担当課：岩手県教育委員会
生涯学習文化財課

地域・保護者・学校の思いや願いが一体となった学校教育支援活動

キーワード

学校教育支援 / 社会教育支援

取組概要

明和地区に古くから継承されている伝統文化や地域産業に関わる活動を通して、地域の歴史や文化を学ぶとともに、地域や保護者の方々の思いや願いに触れ、郷土愛を育む教育活動の展開。

取り組みの詳細

◇ 伝統芸能発表会に向けた全面サポート

本校では、1～4年生の児童が明和地区に伝わる「梁取神楽」や「小林早乙女踊り」「大倉八木節」の伝統芸能を地域住民や保護者による「伝統芸能保存会」の方々の指導を受け、その歴史や演目の一部を学び、演じる「伝統芸能発表会」を行い、児童の郷土愛を育てている。



◇ 田植え・稲刈りへの支援

雪解け水が豊富であり、米作りやトマト栽培が盛んな地域の特性を生かし、児童は地域や保護者の協力を得ながら米作りに取り組んでいる。同時に、学校教育でのESD・海洋教育と関連させ、環境問題や保全活動、食品ロスなどについて体験活動を通して児童に考えさせたり、教えたりする活動を行っている。



◇ 教育課題の解消に向けた協力体制

特色ある教育活動の一つとして、アルペンスキーやクロスカントリースキーを体育科の学習に位置付けている。冬期間の体力づくりという教育課題を保護者と学校が共有し、クロスカントリーのコースを校庭に作ったり、町内のスキー場で行う練習での技術指導も保護者が行っている。また、校内スキー大会の運営や補助等も全家庭が協力して実施している。



成果

- ・地域住民や保護者の地域への思いや願いを直接学ぶことができ、地域の「ひと・もの・こと」に対して誇りや憧れをもつ児童が増えている。

課題や今後の取り組み

- ・後継者不足や児童数の減少による持続可能な取り組みへの手立て。
- ・会員の過度な負担を減らし、活動に意味を持たせる組織づくり。

その他の取り組み紹介

- ・学校運営協議員の提案による地域企業および外国人就労者との国際交流学習の実施。
- ・コロナ禍により様々な行事が中止となる中で地域住民や保護者と児童が行った地域を盛り上げる「明和っ子雪まつり」の開催。

所在地

福島県南会津郡只見町

全校児童数

47名

地域の特徴

豪雪地帯である只見町はブナの原生林が多く、只見川は全国有数の包水量を誇り「水の郷」や「自然首都」とも呼ばれる。現在、「只見ユネスコエコパーク」に認定され、豊かな自然環境が世界的にも認められている。

学校の特徴

2017年にユネスコスクールに認定され、ESD・海洋教育に取り組み、環境教育や愛町心を育む地域学習に力を入れて教育活動を行っている。地域住民や保護者の「学校を応援しよう」という意識が非常に高い学校である。

組織構成

総会・常任委員会・専門委員会と組織が機能的に構成されている。PTA会長・副会長をはじめ、専門委員会としては、文化教養委員会・厚生委員会・安全委員会の3つの委員会の他、地域と学校を結ぶ地区委員会、学級委員会が設置され、PTA活動に対する会員の意見を尊重しながら充実した活動が展開されている。小規模校であるため、父母の両方で委員を兼ねている家庭が多い。総会や学級懇談会、家庭教育学級の参加率は95%（令和2年度）と会員の意識が高い水準にあり、父母で出席する割合も高い。



家庭教育学級 — 子どもの幸せを願う保護者のための相互学習の場

キーワード

子どもの幸せを願う保護者の思い / 家庭の教育力の向上 / 互いに学び合う場 / 双方向の話し合い

取組概要

- オンライン・土曜授業日の開催、後日の動画配信で、参加しやすさを工夫
- 紙面告知と一斉メールを組み合わせ、周知方法を工夫
- ウェブアンケートの利用により、回答率が上昇、集計を省力化



取り組みの詳細

文化厚生委員会が世田谷区より委託を受け、企画・運営しています。スローガンに沿ったタイムリーなテーマで家庭教育学級を開催しています。

- **令和2年度スローガン：笑顔で未来を生き抜こう**
「1人1台タブレット配付、これからの学校はどう変わるの？」



世田谷区でも昨年度から小中学校でタブレットが配付されました。豊福晋平氏（国際大学GLOCOM）をお招きしてこれからの学びの在り方を一緒に考えました。

当日参加者：94名 アンケート回答数：68名 回答率：72%
動画視聴回数（後日配信）：332回（会員の46%に相当）

初のZoom開催のため、委員同士学びつつ学校の協力を得つつ実施しました。紙の告知を配布し、以降の通知はメール、参加登録や開催後にウェブアンケートを利用しました。タブレットが児童に配付される直前であったため、参加者の関心が非常に高く、アンケートに積極的に回答いただけました。「とても参考になった」「参考になった」が合計100%と評価も高く、また、「有意義な講演」「タイムリーな話題」など好意的な意見が寄せられました。後日の動画配信は教員・保護者に告知し、約半数の会員に視聴されました。



豊福晋平氏による講演（令和2年度）

PTAの活動が都小PのHPIに紹介されました。



成果

- オンライン・土曜授業日開催で参加者が増加
- 動画配信で、教員や約半数の保護者が視聴
- 事前事後のウェブアンケート、当日チャットの活用で、双方向の話し合いを実現



課題や今後の取り組み

- 令和3年度は、「**守ろう子どもの環境 育てよう豊かな心**」をスローガンに、清水展人氏（日本LGBT協会）をお招きし、多様性と子育てについて考えます。

PTAの取り組み紹介

PTA活動は、感染防止のため全体的に縮小しましたが、業務の見直しやオンラインの活用を積極的に行いました。

- 学校との連携強化と学校活動のサポート
- あいさつ運動と地域との連携
- PTA活動の周知・・・活動内容をわかりやすく説明したフライヤーの作成・配布
- 共働き家庭も参加しやすいよう業務を改善
- 紙とメール、携帯アプリの目的に応じた使い分けとウェブアンケートの活用
- 会議開催の一部オンライン化

基礎情報

所在地

東京都世田谷区

全校生徒数

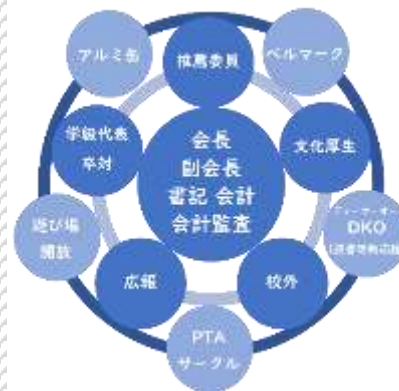
839名（2021年10月現在）

地域の特徴

学区内に公園や桜並木の遊歩道もあり、自然に恵まれた地域です。周辺に学校が多く、他校との交流も行われています。地域では、あいさつ運動や見守り、季節ごとのイベントが開催され、学校行事やPTA活動に理解と協力を得ています。

学校の特徴

昭和24年10月創立。「みしまの森学舎」として、近隣の3校・1園が連携して「地域と共に子どもを育てる教育」を「世田谷11+教育」の施策に沿って進めています。知徳体のバランスのとれた子どもたちの育成をめざしています。

組織構成


担当課：東京都教育庁
 地域教育支援部生涯学習課

オンライン配信による進路講演会で参加者数アップ

キーワード 家庭教育支援 / キャリアアップ / 子育て支援 / YouTube配信

取組概要

新型コロナウイルス感染症の影響で学校での活動が制限される中、オンライン配信をチャンスと捉えて参加者数のアップを狙った

取り組みの詳細

コロナ禍で対面活動に制限があったため、オンライン配信による進路講演会を3回実施した。ろう学校の卒業生を講師に迎え、自身の生い立ちやろう学校時代の生活や学び、進学、就職から現在までを講演いただいた。オンライン配信することにより、本校と三つの分教室のPTA会員が参集することなく、自宅で視聴することができ、例年の講演会より参加者も増えた。



成果

視聴期間のある配信のため●家庭の事情、生活リズムに合わせて視聴することができた●移動負担が無く参加しやすい●繰り返しや一時停止して視聴できるのは手話も見やすく内容の理解の助けとなった

⇒結果、参加者が増えた

課題や今後の取り組み

YouTubeでの配信は一方向のため、令和3年度はZoomなどを使った双方向での開催もする。質疑応答、特に手話を使ったやり取りに工夫が必要。学校のネット環境が課題。

その他の取り組み紹介

- 聴覚障害教育に欠かせない口元を見せるマスクの配布
- 聴覚障害の保護者を講師に迎えた手話教室の開催

所在地

東京都豊島区

全校幼児・児童数

191名

地域の特徴

おばあちゃん原宿として全国的にも有名な巣鴨地藏通りに近接して本校があります。山手線の駅から徒歩で通学する幼児・児童は、都会と下町の雰囲気が見守られながら通学・生活しています。

学校の特徴

創立95年を迎える大塚ろう学校は、東京都で最も歴史ある都立ろう学校です。豊島区の本校と、江東区・大田区・杉並区に分教室があり、4キャンパスそれぞれが特色を活かした学校運営、PTA活動を行っています。

組織構成



担当課：東京都教育庁
地域教育支援部生涯学習課

人と人、希望をつなぐPTA活動～物心両面から教育活動をサポート～

キーワード

学校教育支援（教育環境整備・外部講師招聘支援・学校行事支援・部活動遠征費補助等）

取組概要

コロナ禍において、集合形式でのPTA活動が困難な中、真の文武両道を目指す生徒の勉学や部活動・学校行事等の教育活動を支援。（外部の方との対面が難しい状況下、ICT環境の整備により、人と人をつなぎ、教育活動を充実。伝統行事である東山大遠足での給水活動においては、従来のやり方を変え、感染防止対策を施しての活動・支援。）

取り組みの詳細

教育活動充実のための環境整備等の支援



県外企業とのオンライン交流



海外の高校生とのオンライン交流

生徒の勉学や部活動等を支援し、教育環境を一層充実・発展させるための様々な支援

- ・電子黒板やWi-Fi設備、エアコン等整備
- ・メールシステムの変更
- ・伝統行事「東山大遠足」での給水、塩分補給等支援
- ・家政科の授業や社会人講座における外部講師招聘のための支援、部活動の遠征費補助等



東山大遠足



給水、塩分補給等支援

コロナ禍におけるPTA活動の工夫

PTA総会（ホームページの活用・密の回避）

保護者対象進路説明会（分散・リモート）



成果

- ・電子黒板やWi-Fi等のICT環境の整備により、コロナ禍においても、生徒は県外の企業や海外の高校生とオンラインでつながることができ、有用であった。
- ・メールシステムを変更し、学校と保護者だけでなく、生徒ともつながることができ、スムーズな連絡体制が構築された。
- ・33kmのコースで実施する伝統行事、東山大遠足の給水支援や、部活動の遠征費補助等を行うことで、保護者と教員の相互理解につながり、協力体制が強固なものとなった。

課題や今後の取り組み

- ・ウィズコロナ時代のPTA行事の工夫や活性化、参加率向上、オンラインを活用した行事の構築等により、取り組みを発展。
- ・地域との連携の強化
- ・積極的な情報発信（学校HPの充実）や情報共有

その他の取り組み紹介

- ・広報委員による学校行事の写真撮影、年2回のPTA新聞の発行

所在地

新潟県長岡市

全校生徒数

793名

地域の特徴

日本三大花火の1つ、長岡花火で知られる県内第2の都市。新潟県の中南に位置し、信濃川が南北に縦断する。山、川、海と豊かな自然に恵まれた地域

学校の特徴

明治36年に開校、今年度119年目を迎え卒業生は3万8千余名。普通科17、家政科3学級の編成で、校訓は「済美(せいび)一美を済す」

組織構成

会長1名、副会長3名以上(内1名は校長)、常任委員(各学年の学級数に2を乗じた人数以上(最大18名)、幹事2名で構成。常任委員は、学校行事(主に本校の伝統行事である東山大遠足の給水活動)を行う企画委員とPTA新聞の発行を担当する広報委員に分かれる。)



4部会のPTA活動による学校教育支援

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援

取組概要

「図書部」、「園芸部」、「美化部」、「技術部」の4部会のいずれかに保護者全員が参加し、子供たちの安全や保育活動の補助、園内外の環境整備等を行った。教師もPTAの一員として各部を担当し活動している。

取り組みの詳細

図書部

- 絵本の日貸し出し
- お話読み聞かせ
- 新刊受け入れ・廃棄作業
- 古本市の準備・販売



園芸部

- 花壇プランターへの水やり・手入れ
- お花の植え替え
- 長期休暇前のプランター移動
- 卒園式前の植え替え



美化部

- 園周辺の清掃
- プール清掃
- 運動会前の園庭整備
- 公開園内研修前の整備



技術部

- 遊具のペンキ塗り
- 遊戯室のドアのペンキ塗り
- 障子の張り替え



成果

PTA活動が、教員の働き方改革につながるとともに、幼児教育について保護者に知ってもらう場になった。また、保護者同士のかかわりが増えた。

課題や今後の取り組み

- ・園児数減少に伴う保護者数の減少で、部活動の質・量の維持が難しい。
- ・仕事内容によっては、ボランティアとして参加し、所属部以外の他部の仕事にも参加し協力して活動したい。

その他の取り組み紹介

【ボランティア活動】秋祭り、クリスマス会、餅つき、豆まき等の行事にお手伝いをしたり、「おやじの会」でピオトップ造りや環境整備を行ったりし、子供たちが楽しめる場づくりをしている。

【子育て講座】静岡大学教育学部の附属幼稚園として、大学と連携し大学教授による保護者や地域の方対象の子育て講座を年2回設けている。

所在地

静岡県静岡市

全校生徒数

106名

地域の特徴

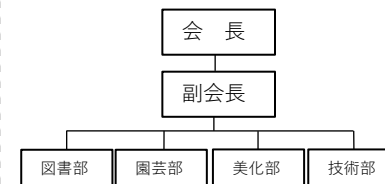
本園は、駿河国総社・静岡の総氏神さまとして知られる静岡浅間神社の奥に続く賤機山（しずはたやま）の麓、緑多い城北公園の北隣にあり、自然に囲まれた環境の中に位置している。また、近くには、臨濟寺や市立図書館が所在するなど文化的環境にある。

学校の特徴

静岡大学教育学部の附属園として、学生に幼児教育の実習を指導し、併せて教育学部と連携を図り、研究にあっている。
園内も環境が違う三つの園庭の中、豊かな自然に恵まれて、季節の移り変わりを鮮やかに映し出している。また、園庭に植えられたびわ、さくらんぼ、栗、クルミ、キンカンなどの果実が豊かに育つように、子ども達を感性豊かにすくすくと育ててくれている。

組織構成

【PTA組織】



【その他】

- ・学級お世話係
- ・かるがも委員（広報活動）
- ・保健委員（安全点検）

保護者や地域の大人と語り合う全校人権集会

キーワード 学校教育支援 / 家庭教育支援 / 社会教育支援

取組概要

人権サークルの生徒とPTA研修部の保護者が中心となってファシリテーターを務め、全校生徒が14の縦割りグループに分かれ、保護者や地域の大人も交えて人権をテーマに話し合う。

取り組みの詳細

地区委員20人、学級委員12人の計32人が研修部、福祉部、厚生部、広報部のいずれかの専門部に所属して活動している。その中の研修部では、地区懇談会や学級懇談会の企画のほか、命の育み教室への参加をはじめ、人権・同和教育研修会の企画や全校人権集会へも積極的に参画している。

全校人権集会で話し合うテーマは、人権サークルの生徒が中心となって全校生徒にとってアンケートをもとに決めている。

事前に人権サークル・PTA研修部合同会議を開催し、ファシリテーターとしての進め方を確認している。また、直前には参加していただく保護者や地域の大人の方々を対象に参加者事前学習会を開催し、話し合うテーマや全校人権集会の意義を確かめ合っている。

当日は全校生徒が14の縦割りグループに分かれ、そこへ研修部員や保護者、地域の大人の方々も分かれて参加してもらって話し合いを進めている。事後に、話し合った内容をいくつかのグループで紹介してもらい、大人の人権グループであるヒューマンライツ阿山の藺浦さんに総括してもらう予定。

成果

- ・全校生徒の人権意識の高揚。
- ・家庭における人権意識の高揚。
- ・地域における人権意識の高揚。

課題や今後の取り組み

- ・参加していただく保護者の確保。
- ・参加していただく地域の方の確保。
- ・ヒューマンライツ阿山ジュニアの開催。

その他の取り組み紹介

- ・リサイクル活動（アルミ缶回収）
- ・「あやま事故ゼロ宣言」の取組
- ・環境整備作業
- ・学校支援地域本部事業への参画と協力

基礎情報

所在地

三重県伊賀市

全校生徒数

140名

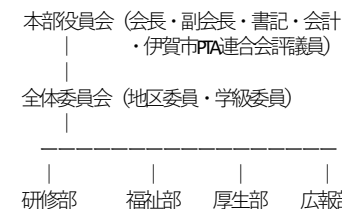
地域の特徴

三重県の西部にある伊賀市の北端に位置する農山村地域。滋賀県と隣接し、京都府にも近いことから関西の文化圏に属している。新名神高速道路の甲南インターチェンジにも近いことで、近年、南北に走る縦貫道の交通量が激増した。

学校の特徴

全校生徒が上り下りの激しい通学路を自転車で登下校している。近年、少子化が進んだことで小学校の統廃合が相次ぎ、2021年度から1小1中となった。コロナ禍でも生徒たちは様々な工夫を重ね、意欲的に学校生活を送っている。

組織構成



基礎情報

所在地

京都府宮津市

全校生徒数

467名

地域の特徴

在校生は主に、日本三景「天橋立」で有名な宮津市、「丹後ちりめん」の産地として知られる与謝野町、伊根湾に沿って建ち並ぶ「舟屋」で有名な伊根町、古より受け継がれる歴史と伝統の京丹後市から通学している。少子高齢化が深刻な問題であり、若者への期待が高まっている。

学校の特徴

宮津天橋高校宮津学舎は、宮津高校の歴史と伝統を受け継ぎながら、その名のごとく丹後地域のかけ橋、世界（社会）とのかけ橋、そして生徒の未来へのかけ橋となる学校を目指している。

組織構成

保護者、教師の100%が加入し、会費納入状況も良好である。また、本部役員その他、専門部（文化部、生徒部）、地区委員が設置され、年間計画に基づき組織的に活動をすすめている。本部役員は会長1名、副会長2名、会計2名、監事2名で構成されており、専門部のいずれかに所属し活動にあたっている。地区委員は地区ごとに若干名選出し専門部活動にあたっている。

担当課：京都府教育庁
社会教育課

会員の文化教養を高める取組

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援 / 社会教育支援

取組概要

子育ての参考にするために、大学教員に講演を依頼し実施

取り組みの詳細

年に一度、会員の文化教養を高めるため大学の教授等を招き講演を実施している。

令和2年度は「人間関係の心理学～より良い社会的関係をつくるために～」をテーマに、社会心理学の様々な研究から人間同士が適切なコミュニケーションを取り合ってお互いを理解し、相互の良好な人間関係を形成するための視点や方法について説明していただき、子育てのヒントとしている。



成果

- 保護者にも好評で、年々参加者が増加している。

課題や今後の取り組み

- 講演内容については、保護者の要望が多岐にわたるため、保護者が参加したい講演会となるよう、講師の選任・講演内容の検討を今後も行いたい。

その他の取り組み紹介

- 7月下旬から8月上旬にかけて（夏休み）PTA担任面談を企画し、学年部を中心に実施している。殆どの保護者が参加され、生徒の学校での様子を知ったり、進路決定に役立っている。
- PTA文化部の活動として、年間3回（7・12・2月）学校の様子、PTA会員の声等を掲載した「PTAだより」を発行し会員に配布している。

京都府

京丹後市立峰山小学校PTA

基礎情報

所在地

京都府京丹後市

全校生徒数

119名

地域の特徴

京都府北部に位置する田園都市である。平成16年に大宮町、峰山町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町の6町が合併し、峰山町はその中心部に位置している。田園が広がるのどかな地域であると共に「丹後ちりめん」などの伝統産業も有名である。

学校の特徴

峰山町の中心地に立地する伝統校である。郊外の田園地域とは違い、昔ながらの事業所や商店も多い。民生児童委員や中学校区の保幼小中も連携しており、一斉の交通安全立ち番などにも取り組んでいる。

組織構成

在籍する児童の保護者と勤務する教職員が会員となっている。

会長1名、副会長2名、庶務3名、庶務会計1名、会計1名の役員、その他、代議員、評議員（文化厚生部）及び学級委員、家庭教育委員などの組織が構成されている。

施設分離型小中一貫校「峰山学園」として、峰山小学校単位PTAだけでなく、保幼小中一貫の取組として、峰山小学校を含む、中学校区4小学校と、1中学校での峰山学園PTAとしての活動も行っている。

担当課：京都府教育庁
社会教育課

児童の知的好奇心をくすぐる取組 「お父さん・お母さん授業」

キーワード

学校教育支援 / キャリア教育 / 社会教育支援（親の学びの場）

取組概要

多種多様な分野で活躍する保護者を「先生」としてむかえ、その専門性を活かして、実習等体験活動を交えながら子どもたちと一緒に学習

取り組みの詳細

平成元年から32回の長きにわたり継続実施をしている歴史と伝統のある事業である。

事業所や商店を営んでいる保護者が会員に多く、こうした多種多様な分野で活躍される保護者に「先生」になってもらい、授業では実習等を交えながら子どもたちと学習を行っている。授業当日は参観日を兼ねて実施している。

令和2年度 「お父さん・お母さん授業」のテーマ

- | | |
|--------------|--------------|
| 1年 インドアキャンプ | 2年 プログラミング体験 |
| 3年 障害ってなんだろう | 4年 都道府県クイズ |
| 5年 手話 | 6年 ふとんの話 |



当日の運営は、PTAで事前事後の会議を持ち、授業者となる保護者と学校、PTAがねらいや内容、運営について情報を共有して実施している。

成果

- ・子どもたちが地域を知ると共に、普段と違った授業の雰囲気が知的好奇心を高める機会となっている。
- ・授業参観の場が会員同士の学びの場になっている。

課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍において感染対策をとりながら、今後も継続して実施できるような体制づくり。

その他の取り組み紹介

- ・お父さんお母さんによる本読み
朝読書の時間帯を利用して実施。子どもたちの表情やリアクションを直接感じ取ってもらうことができる良い機会となっている。令和2年は2学期に2回実施。
- ・あいさつ運動
保幼小中一貫の取組として峰山町の4小学校と1中学校のPTA合同で実施。

学校食堂リニューアルプロジェクト

キーワード 楽食プロジェクト / デザイン思考 / 学校教育支援 / 企業連携

取組概要

育友会が運営する学校食堂の課題を、有志生徒が「デザイン思考」を用いて解決する学校食堂リニューアルプロジェクトの支援。

取り組みの詳細

「楽食プロジェクト」

5年間のSGH（スーパーグローバルハイスクール）指定で育まれてきた主体的な学びや課題解決力、そのさらなる発展をめざし、学校食堂のリニューアルという身近な課題について「デザイン思考」をプロから学び、検証と分析を繰り返して提案を作り上げる「楽食プロジェクト」の支援を実施した。生徒が立案したリニューアルプランに沿った活動を、フルカラー印刷の育友会広報紙で会員に紹介した。



成果

- ・新しい学びのスタイルについて、保護者が知り、学校とタイアップして主体的・能動的な学びの支援をすることができた。

課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍で食事のスタイルに変化が見られる中で、今後のプロジェクトの内容検討。

その他の取り組み紹介

- ・近畿地区高等学校PTA連合会広報紙コンクールで最優秀賞受賞。
- ・教員とともに行う交通安全指導及び通学路周辺の安全確認。
- ・制服リサイクル活動。

基礎情報

所在地

奈良県橿原市

全校生徒数

1,119名

地域の特徴

本校は、橿原市のターミナル駅、近鉄八木駅の近くでありながら、特別史跡・歴史的風土特別保存地区に指定されている藤原宮跡を有する歴史情緒あふれる地域に位置している。

学校の特徴

明治29年創立。卒業生のほとんどが大学へ進学するとともに、部活動もさかんで、生徒は文武両道の高校生活を送っている。平成26年度以降、文部科学省のSGH（スーパーグローバルハイスクール）や、地域との協働による高校教育改革推進事業（グローバル型）に指定される。

組織構成

本部役員

実行委員

人権教育推進委員会		学年委員会		定時制委員会	
広報部	特別支援教育部	家庭教育部	人権教育部	保健体育部	文化部
	進路指導部				

担当課：奈良県教育委員会事務局
人権・地域教育課

育友会と家庭教育支援チームが連携して「大人の学び」を保障！

キーワード 家庭教育支援 / 大人の学び / デートDV / アンガーマネジメント / 食育 / SSW / ミニ研修

取組概要

コロナ禍であっても、さまざまなミニ研修を開催し、地域の保護者が子育てや家庭教育に関する相談ができるように学校を拠点とした親同士のつながりをつくる場を提供する。

取り組みの詳細

「学校運営協議会」、「あったかネット（地域協育ネット）」、「チームほっとちゃん（家庭教育支援チーム）」の3本柱の組織と育友会が連携し、学校・地域・家庭への支援を行っている。中でも、「チームほっとちゃん」と育友会が連携した取組により、家庭教育への支援を充実させ、これからの地域を担っていく子どもたちの育成に力を入れている。

これからの地域を担っていく子どもたちの育成

- ・デートDV防止講座
- ・COVID-19に係る人権研修会
- ・食育研修会
- ・ほっとサロン（保護者交流）
- ・SSWと連携した家庭教育支援
- ・アンガーマネジメント研修
- ・子育てサロン

学校を拠点とした親同士のつながりの場の提供



食育研修会



ほっとサロン

成果

- ・親同士のつながりの場を提供することができた。
- ・保護者が子育てや家庭教育に関する相談ができた。
- ・中学校入学前の保護者の不安感を払拭できた。

課題や今後の取り組み

「チームほっとちゃん」の取組を持続可能なものとし、育友会と学校運営協議会、あったかネット、チームほっとちゃんの3本柱との連携を継続すること。

その他の取り組み紹介

- ・立志を祝う会
- ・学校図書館「書架整理」
- ・親子ふれあい作業
- ・地域あいさつ運動、防犯パトロール
- ・夏休み校外指導

所在地

山口県岩国市

全校生徒数

470名

地域の特徴

県東部、清流錦川に架かる錦帯橋で有名な岩国市南部に位置しており、錦川によって形成された三角州、沖積平野及び干拓地からなっている。三角州は米軍岩国基地が広大な面積を占めており、国際色豊かな地域である。

学校の特徴

学校運営協議会、あったかネット（地域協育ネット）、チームほっとちゃん（家庭教育支援チーム）の3本柱と育友会が連携し、「生徒が育つ」「保護者が育つ」「教職員が育つ」「地域が育つ」学校をめざしている。

組織構成

- <川下中学校教育友会>
 ○執行部
 ・会長（1名）、副会長（5名、うち文化体育会長1名、女性代表1名）、監査（2名）
 ○学年委員会
 ・各学年：委員長1名、副委員長1名、学年主任
 ○各委員会（総務委員会、文化・保健委員会、広報委員会、生徒指導委員会）委員長1名、副委員長1名、顧問（担当教員）
 ○上記に所属していない保護者は協力委員として育友会の活動に参加

担当課：山口県教育委員会
地域連携教育推進室

コロナ禍において子どもの豊かな園生活を支えるPTA活動

キーワード

学校教育支援

取組概要

コロナ禍において様々な活動が制約される中で、できることを模索し創意工夫して活動を行った。

取り組みの詳細

○交通安全日・スマイルあいさつ運動
駐車場と園の間にある横断歩道で係の保護者の立哨のもと、交通安全指導を行っており、安全な道路の歩き方や狭い道からの飛び出し防止等互いに意識を高め合っている。また、月1回のスマイルあいさつ運動には役員を中心に有志の会員が代わり合って参加している。



○縁日まつり代替行事
新型コロナの感染拡大により中止となった行事の代替行事を企画し、感染防止の措置を取りながらも楽しめる行事を開催した。



○野菜や花の栽培活動
各クラス、グループごとに親子で夏野菜や花の栽培を、また地域の方とも栽培活動を行い、親子や地域の方と植物の生長を見守った。



○お別れ会でのDVD作成
お別れ会では三密を避け、役員が修了児の1年間の楽しい園生活を振り返った映像を作成した。修了児だけでなく、他学年の園児や保護者にも分散上映した。

成果

・様々な活動が制約される中で、可能な活動を探し、実行したことで、子どもたちの園生活に潤いをもたらした。

課題や今後の取り組み

- ・園児が減少するなか、活動のスリム化を図っていく。
- ・保護者や地域の力を合わせながら園生活を支えていく。
- ・保護者同士のつながりを作っていく。

その他の取り組み紹介

- ・絵本の読み聞かせ（毎月）
- ・環境整備活動（年4回）
- ・地域との交通安全運動
- ・放課後の体操教室・書き方教室

所在地

香川県高松市

全校生徒数

58名

地域の特徴

高松市の北東部 五剣山のふもとに位置し、豊かな自然だけでなく、柴野栗山の記念館や原平合戦の史跡等があり、歴史や文化にも恵まれている。また、地域の方が園の教育に協力的で、子どもの体験活動等を支えてくれている。

学校の特徴

「豊かな心もち たくましく生きることも育てる」を教育目標に、地域や保護者と連携しながら、地域に根ざした教育を行い、人とかかわる力や地域への愛着心をもつ子どもたちを育てる教育活動を展開している。

組織構成



担当課：香川県教育委員会事務局
生涯学習・文化財課

会員相互の学びに関する活動

キーワード 保護者同士で / 子どもたちと一緒に / 興味を見つけて

取組概要

保護者が興味を持っていろいろな活動に取り組む。

取り組みの詳細

(1) 家庭教育学級

PTA役員が主体となり、自分たちが学びたいと思ったことやしてみたいことを企画・運営している。多肉植物を植えたり、ヨガをしたりして保護者のリフレッシュにつながる活動や、家庭でも活用できる知識を得られるような活動になっている。リラックスして参加できる活動となっているため、保護者間の交流も生まれ、つながりの場となっている。



〈多肉植物を植えている様子〉



〈活動の説明を聞いている様子〉

(2) 交通安全教室

交通安全協会や地域の交通指導員、市の担当者を招き、親子で交通安全に関する話を聞いたり、実際に模擬道路を歩いたりして交通ルールを学んでいる。道路のどこを歩いたらいいのか、横断する時はどうしたらいいのか等をクイズ形式や腹話術を通して具体的に学ぶことで、親子で考える機会にもなっている。



〈模擬道路を歩く様子〉



〈交通安全の話聞く様子〉

成果

- ・主体的な役員の運営により、保護者の活動意欲が高まった。
- ・保護者同士の交流の機会が増え、園全体の親睦にもつながった。
- ・家庭内での話題につながる充実した活動となった。

課題や今後の取り組み

- ・仕事のある保護者の参加が難しい。
- ・PTA役員の負担が大きい。
- ・参加しやすい活動の検討が必要である。

その他の取り組み紹介

- ・地域の見守り活動（保護者一人一人が登降園時や休日において、自宅のある地域の安全確認等を行い、気になったことを園に報告する。）

基礎情報

所在地

愛媛県東温市

全校生徒数

71名

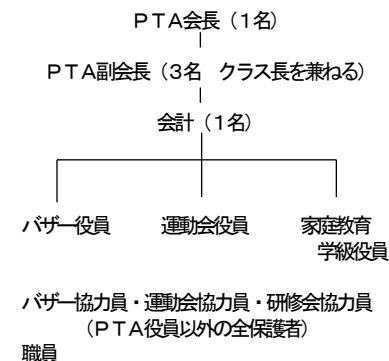
地域の特徴

県都伊予市の隣にある東温市（人口3万人）の東側に位置しており、近くに伊予自動車道のインターチェンジがある。近年、住宅地が増えてきているが、周辺には田畑が多くあり、自然と触れ合える環境である。

学校の特徴

川上小学校の敷地内にあり、園舎横の校庭で休み時間等、自然と触れ合える環境である。満3歳児保育を行っており、年間を通して預かり保育を実施し、子育ての支援や保護者のリフレッシュにつなげている。

組織構成



担当課：愛媛県教育委員会
社会教育課

地域から世界へ、グローバルなPTA活動

キーワード 学校教育支援 / 地域連携 / 挨拶運動

取組概要

生徒や地域の方々と地域の清掃活動や近隣の駅に花を植える活動をはじめ、生徒と一緒に海外からの留学生に日本文化を紹介する国際交流を進めるなど、地域から世界へと生徒の視野を広げる活動を行っています。

取り組みの詳細

地域・学校に係わる活動

○登下校の挨拶運動

学校から近隣の駅までの登下校指導を行いながら、心触れ合う挨拶運動を実施している。自転車の交通指導や電車に乗って車内のマナー指導も行っている。

○生徒・地域の方々と合同の地域清掃活動

生徒・保護者及び近隣の公民館・地域住民の方々と一緒になり、学校周辺の清掃活動を行っている。住民の方々ではできない草取りなど、生徒の活躍には地域から感謝されている。

○花いっぱい活動と地域の方々と文化交流

近隣の駅に花を植えたり、校内芸術鑑賞会時に近隣の住民の方々へ案内して一緒に観覧したりしている。



国際交流に係わる活動

○海外留学生の受入と日本文化交流

ホストファミリーとして海外からの留学生の受入から、生徒と一緒に留学生に対し日本文化の楽しさや素晴らしさを紹介する活動をしている。うちわや短冊に文字を書く書道、茶道、浴衣の着付け等、世界との架け橋となる活動を楽しんでいる。



成果

- ・地域との連携により、教育活動の幅が一層広がっている。
- ・留学生の受入等により保護者間の連携が深まるとともに、子供とのコミュニケーションの機会も増えた。

課題や今後の取り組み

- ・平日の朝や午後の活動が難しくなってきた。
- ・次の役員への日本文化活動の継承が課題である。

その他の取り組み紹介

- ・予餞会での受験応援グッズの配布
- ・オープンスクールでの保護者相談ブースの開設
- ・PTA研修会（バスツアー）の実施

基礎情報

所在地

福岡県福岡市

全校生徒数

1,187名

地域の特徴

福岡市東区に位置し、周辺には福岡女子大学をはじめ数多くの大学、高校、小・中学校がある。福岡市内は都市開発が続けられており、企業の誘致も盛んで、児童・生徒の人口も増加傾向にある。地域・保護者の教育に関する意識も高い。

学校の特徴

昭和60年開校。普通科、普通科数理コミュニケーションコース、英語科があり、学科コースや教科の枠を超えた特色ある教育活動を展開している。海外修学旅行など国際的な活動を積極的に推進し、国際感覚豊かで将来国家社会に貢献できる人材の育成をめざしている。

組織構成

会員は保護者及び教職員で構成されており、組織としては、会長・副会長・会計・書記をはじめ、国際交流・調査広報・福利厚生・健全育成の4つの委員会を中心に構成されている。

役員会（会長、副会長、会計、書記、学校代表）

各学年委員会（1年、2年、3年）

各種専門委員会

国際交流委員会 … 海外からの留学生へ
日本文化交流等を行う
調査広報委員会 … 広報誌の企画、発行
福利厚生委員会 … PTA研修の企画、運営
健全育成委員会 … 挨拶運動、登下校指導

保護者向け教養講座

キーワード

家庭教育支援 / 保護者の学びの機会の提供

取組概要

外部講師等による教養講座の開設

取り組みの詳細

- 育友会研修部が主催となり、講師の選定から、会員への案内、会場設営、当日の進行まで全て行っている。
- 年2回実施。
- 教養講座の時間帯を、保育が行われている時間にすることで、子どもの預け先等の心配がなく、参加しやすい。
- コロナ禍においては、会員限定でインターネットを使ったオンデマンド方式での配信をした。
(都合のいい時間に見ることができ、また、止めたり、見直したりできるという点で、たいへん好評だった。)

<これまでの講座テーマ>

「親子のためのアンガーマネジメント」

(日本アンガーマネジメント協会)

「大地の生きる力、いただきます」(大地といのちの会)

「この幼稚園にきたよろこび」(教職アドバイザー)

「20年後の若者に期待すること」(長崎大学学長)

「子育てを楽しもう」(園長)

「子育てって難しいよね」(園長)

「私が33年間で学んだ15のこと」(園長) など



成果

- 保護者のニーズに合った話を聴くことができ、学びや気付きにつながった。
- 園長の話をお聴きすることで、園長をより身近に感じ、相談もしやすくなった。

課題や今後の取り組み

- コロナの状況等に応じた方法を工夫して実施していきたい。
- 今後も保護者のニーズに合った講師を講座を開きたい。

その他の取り組み紹介

- 絵本の部屋(図書室)の運営を育友会が中心となって行っている。
- 夏休みと冬休みには、親子での過ごし方についての情報として「チャレンジ通信」を発行し、頑張りたいことを記入する「チャレンジシート」にも取り組んでいる。
- マナーアップ週間を設け、降園時の歩行の仕方や挨拶など声をかけたり、「登降園時のマナーについて」というルールブックを発行したりしている。

基礎情報

所在地

長崎県長崎市

全国児数

114名

地域の特徴

長崎市の北部に位置し、公共交通機関の利便がよい地域である。また、長崎大学、教育学部附属中学校、附属小学校、附属幼稚園、長崎市立中学校が隣接した文教地区であり、教育環境が整っている。

学校の特徴

明治19年創設の135年の歴史をもつ幼稚園3歳児16名の2学級、4歳児32名。改組移行中で今年度は5歳児2学級であるが、令和4年度から5歳児も32名1学級になる。大学の附属である強みを生かし、保育や研究について大学と連携している。

組織構成

<幼稚園の組織>

園長	2名	<育友会の組織>	会長
年長担任	2名	副会長	2名
年中担任	1名(教頭)	評議員	13名
年少担任	2名	研修部	
保育補助	4名	広報部	
事務主任	1名	厚生部	
事務補佐	1名	監事	2名
環境整備員	1名	顧問	1名

担当課：長崎県教育委員会
生涯学習課

「学び」でつなぐPTA活動

キーワード

保護者同士の連携 / 生徒・保護者・教職員との交流 / 情報発信 / 学び合い

取組概要

保護者同士がつながるPTA研修会や生徒とつながるPTAバザー、教職員とつながる懇談会など、保護者同士の親睦を深めるとともに、教職員や生徒と学びでつながる活動を展開している。

取り組みの詳細

PTA研修会

会員相互の親睦・交流を深め、スキルアップやメンタルヘルスの向上を目的に開催している。

研修会では、プリザーブドフラワー教室や食育にもつながる料理教室等を行っている。令和2年度のプリザーブドフラワー教室の講師は、元PTA会員に務めていただき、乾燥した花や草をオアシス（土台）に思い思いに活かしていく作業工程で参加者同士が教え合い、出来映えを批評し合ったりするなど、学びを通じて、親睦を深めることができた。

さらに、子育ての困りごと等の相談にもものっていただき、保護者の不安が解消される場ともなり、すべての参加者にとって笑顔あふれる有意義な時間となった。



成果

- PTA役員が主体となって研修会の企画をすることで、保護者のニーズに合った内容となり、毎年多くの参加者と交流を深め、PTA活動の活性化につなげることができた。

課題や今後の取り組み

- ◇ PTA行事への参加率の向上を図るため、会員の意見を取り入れながら、企画・運営に努めていくこと。
- ◇ コロナ禍で停滞した活動を止めないようしていきたい。

その他の取り組み紹介

- ◎ 学校祭に合わせてPTAバザーを行い、保護者と生徒の交流を図り、食育や公共マナーを学ぶ機会とした。
- ◎ 教職員と保護者との懇談会を行い、学習や生活習慣についての情報交換・共通理解を図っている。

基礎情報

所在地

宮崎県宮崎市

全校生徒数

194名

地域の特徴

宮崎市は、宮崎平野の南端に位置しておりプロ野球のキャンプ地として有名である。本校は宮崎市中心部に位置しており電車バス等交通の便もよい。気候だけでなく人柄も温かく穏やかな地域である。

学校の特徴

宮崎東高校は定時制課程と通信制課程があり定時制課程には昼間部と夜間部がある。県内唯一の定時制昼間部のため、県内各地から通学している。

組織構成

会長1名

副会長4名

幹事3名

書記2名

会計2名

顧問2名

会員計225名

担当課：宮崎県教育委員会
生涯学習課

③なえると こわさがへるね



親子で楽しく学ぶ「遊べる防災まつり」

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援

取組概要

災害に対して何をしたらよいのか？ 本校は川内原発UPZ（30km）圏内にもあることから、親子で遊びながら体験することで、具体的な備えに結び付く活動に取り組んでいる。

取り組みの詳細

<1年目の取組>

- ・ テントや寝袋、簡易トイレや段ボールベッドなどを使った、避難所生活の疑似体験
- ・ 各居住地域の防災マップや自治体対応、原子力防災対応マニュアル、また、熊本震災の写真や、被災された養護学校の保護者の避難生活での困りごとについてのパネル展示
- ・ 「遊べる防災まつり」特集号新聞発刊



<2年目の取組>

- ・ 原発防災DVDの視聴
- ・ 消防隊員と消火器放水、バケツリレー
- ・ 社会福祉協議会・食生活改善推進員の方々に教わるハイゼックス炊飯と試食
- ・ 防災キーワードを盛り込んだ「くしろう大判防災かるた」の作成とかるた遊び
- ・ 「遊べる防災まつり」特集号新聞発刊



<その他の取組>

- ・ 令和2・3年度は、コロナ禍によるPTA活動の中止に伴い、当初の予算を防災袋の材料費に充て、総務部を中心に、安心ポケット(防災袋)を製作した。児童生徒一人一人に配布し、個に応じた防災用品を詰めて、学校での災害時に備えている。



成果

- ・ 炊き出しや避難所生活など、具体的に体験し、学ぶことで、「できる」「できない」の確認ができ、より具体的な備えがみえてきた。
- ・ 実際に防災用品を準備することで、防災への意識が高まった。
- ・ 地域の団体と連携しながら、防災について取り組むことで、地域との距離感が近くなった。

課題や今後の取り組み

- ・ 継続した取組にしていく。
- ・ 防災袋の活用。
実際の避難時に実行できるよう、継続して訓練を行うことが必要である。

その他の取り組み紹介

愛校作業、給食試食会、制服リサイクル、ふれあい活動、研修視察、イメージキャラクターポロシャツ等の販売、PTAバザー、
親子集会(家庭教育学級)
PTA新聞年4回発行



基礎情報

所在地

鹿児島県いちき串木野市

全校生徒数

212名

地域の特徴

東シナ海に面した自然豊かな地域で、基礎産業であるマグロの遠洋漁業や、温暖な気候を利用した柑橘類の栽培などが盛んな地域である。また、薩摩スチューデント放立ちの地としても知られている。


学校の特徴

本校は、昭和48年に鹿児島県立第2養護学校として設置され、昭和50年には串木野養護学校と校名を改称し、来年度で創立50周年を迎える。自然豊かで広大な敷地には、田んぼや果樹園があり、米やサワーポメロを栽培している。このサワーポメロをモチーフにした、本校のイメージキャラクター「さわちゃん」「まめ郎」「ちび郎」は、PTAの自作である。また、寄宿舎を併設していることから、いちき串木野市を始め、近隣の6市町の児童生徒が在籍している。

組織構成

会長1名、副会長4名(各学部3、教頭1)、会計2名(副会長兼任1、事務長)、書記2名(副会長兼任)、監事2名、庶務若干名(職員を含む)、専ら部長、顧問(うち一人は校長)を役員とし、全保護者と全学校職員が会員として加入している。また、各学級及び学年に1名の理事を置き、小学部から高等部までである本校のPTA行事ごとに、縦や横の連携が取れるような組織となっている。保護者は全て専ら部の構成員となり、PTA活動に参加している。

担当課：鹿児島県教育委員会
社会教育課



テーマカテゴリー

生活指導活動

親子の対話を大切にしよう

キーワード 生活習慣の改善 / ふれあいトーク / 情報メディア研修

取組概要

ゲームやSNSに没頭し、夜遅くまで起きている、家庭学習が進まない、などの生活習慣の乱れが問題となっていることから、親子の対話を大切に生活習慣の改善を図る取り組みを実施した。

取り組みの詳細

①親子ふれあいトーク（P T A 研修委員会主催）

全校生徒と保護者が体育館に集合し、くじを引いて20の小グループに分かれた。各グループには質問が書かれたカードがあり、順番にめくったカードの質問について、グループ全員が話すという形式でトークを進めた。



②「ネット・スマホ依存にならない方法」研修会（講師：ベルコスモ・カウンセリング代表 鷲津秀樹 氏）

依存の原因は、ストレスやさびしさ、退屈さ等にあるため、できるだけ一人の時間を減らす生活の工夫があるのだという話から、家庭での家族の対話や一緒に過ごす時間がとても大切であるということを学んだ。



成果

- ・親子や家族、地域の方との対話を増やすよききっかけとなった。
- ・自分たちの生活習慣や、地域の安全について見直したり、新たな取り組みを考えたりすることができた。

課題や今後の取り組み

- ・今後も親の知識・意識を高めるような取り組みを継続し、子どもとの対話で有効な言葉かけ等を学んでいきたい。

その他の取り組み紹介

- ・「久々野の子どもを育てる会」とP T Aの連携、協働による活動

○ 地域防災学習

中学生が作成したリーフレットを、地区の高齢者宅や小さい子どものいる自宅などに配布し地域の防災について考える取り組みを実施した。

所在地

岐阜県高山市

全校生徒数

91名

地域の特徴

久々野中学校区は高山市の南部に位置する自然豊かな美しい地域である。春は桜や桃等の果樹の花と飛騨アルプスの美しさに目を奪われる。国道361号線沿いにある展望台は、多くの写真愛好家が訪れるスポットである。夏は飛騨川に多くの釣り客が訪れ、秋はりんご狩り、冬はスキーと一年中楽しめる地域である。また、「堂之上遺跡」や「有道しやくし・小屋名しょうけ」など古くから大切に受け継がれている文化の多い地域である。

学校の特徴

学校の教育目標「心豊かでたくましい生徒」のもと、「『人間的な喜び』を積み重ね『夢を培う』学校」を合い言葉に、「なりたい自分」を描き、仲間と共に協同学習、協働実践を行い、「人間的な喜び」（達成感や貢献感）を積み重ねられる取り組みを様々な教育活動を通して行っている。

組織構成

久々野中P T Aは、任意加入であることを役員会で確認し進めているが、全保護者の加入を得ている。久々野地区は地区内に1小学校、1中学校であり、小学校時から同じメンバーで活動を進めていることもあり、会長を中心に主体的、協力的な組織となっている。

小規模校を生かし、子どもとの関係、保護者同士の関係を大切にし、対話を重視した活動を進めている。

担当課：岐阜県教育委員会
学校支援課

静岡県

掛川市立和田岡小学校PTA

児童会活動と連動したPTA活動

キーワード

挨拶運動

取組概要

児童会の活動テーマ「気持ちの良いあいさつの習慣化」と連動したPTA活動を行った。

取り組みの詳細

あいさつを通じて子供たちの自己肯定感が高まるようにという学校の願いから「児童会活動と連携したPTA活動」をテーマとして、以下のような活動を行った。

①PTA朝のあいさつ運動

毎月15日の朝、児童会とともに登校してくる児童にあいさつをした。

②音読カードによる家庭のあいさつチェック

児童会のあいさつ運動が始まって1ヶ月後から、毎月配布している音読カードに家庭でのあいさつチェック欄を設けバージョンアップし、家庭との連携をしたあいさつチェックをした。

③あいさつ運動用法被作り

あいさつ運動を盛り上げるため、法被を作成することとした。色・デザインは児童が複数考案し、全校生徒の投票により最終デザインが決定した。

④PTA活動の周知

児童会活動及びPTA活動を紹介するお便りを発行し、PTA会員への活動の周知と協力を呼びかけた。



PTA朝のあいさつ運動



あいさつ運動用法被

成果

児童会とコラボレーションすることで学校とPTAが一体となって目標に向かって取り組んでいるという意識を持たせることができた。

課題や今後の取り組み

コロナ禍や働き方改革により活動の量が増やせないため、負担の少ない活動でどれだけ効果を高めるかが重要であり、現在の取組のテーマの先の活動を考えることが必要である。

その他の取り組み紹介

・情報モラルや携帯電話の使用について外部講師を招いて勉強会を行う。家庭教育支援員を招いて子育てについてお話をさせていただく勉強会を開催する。

・毎月一回「お茶の間ふれあいデー」という日を設定し、テーマに合わせた家庭での過ごし方について振り返る機会を設けている。



基礎情報

所在地

静岡県掛川市

全校生徒数

168名

地域の特徴

掛川市立和田岡小学校は掛川市西部にあり、エコパスタジアムが見える位置にある。豊かな自然にあふれ、見渡すと田畑や茶畑が広がっている。また、バラ園地と呼ばれるバラ栽培のためのビニールハウスが立ち並んでいるところもあり、お茶・米・バラ、苺、和牛など様々な農産物を生産している地域である。

「各和」「高田」「吉岡」という主たる地区が3つあり、その地区の最後の一字をとり、

「和田岡」と名付けられている。和田岡地区の中心を流れる原野谷川の西の高台には、「春林院古墳」をはじめ、5つの古墳が発見されており、和田岡古墳群として国の史跡に指定されている。

学校の特徴

明治4年に春林院という寺院に仮設された吉岡小学校に始まり、明治22年に和田岡尋常小学校と改称した。創立130年以上の古くから地域にある学校である。地域の方々も学校へ協力的で、地域の子供を大事に見守ってくれている。そのため、児童は素直で、目標を示せば一生懸命に取り組む姿がある。学校教育目標は、「大志・共生・挑戦」である。

組織構成

会長、副会長（3名）、監事2名（昨年度PTA役員）、書記会計3名、専門部（教養部、施設整備部、健康安全部、厚生部）の本部役員を中心に、各地区からの役員、教職員を含め28名からなる。

親子でともに学ぶ研修により、家庭学習習慣を改善

キーワード スマホ・ネット研修 / 家庭学習習慣の定着

取組概要

- ・ P T A 主催の参加型研修会 〈①家庭学習習慣確保（保護者）②スマホ・ネット利用・ルール（親子）〉を実施し、年3回の「メディアコントロール週間」の呼びかけを学校と協力して行い、生徒の家庭学習習慣の定着を目指して取り組んでいる。

取り組みの詳細

○活動目標の設定

- ・ P T A 年間活動目標「100%の子どもたちが平日1時間以上家庭学習に取り組める環境をつくろう～家庭学習習慣の定着を目指して～」を、平成30年度より設定して取り組んでいる。

○研修会の実施

- ・ P T A 主催の参加型研修会 〈①家庭学習時間確保（保護者）②スマホ・ネット利用・ルール（親子）〉を実施している。家庭学習時間、スマホ・ネット利用についての実態調査と研修会に合わせて調査したスマホ依存、生徒の思いについてまとめたものを事前に全家庭に知らせ、考えるきっかけになるようにした。また、研修会の資料としても活用し、終了後には、参加できなかった保護者に配慮し、概要等をまとめ全家庭に配付した。年3回の「メディアコントロール週間」の実施期間には、学校と協力して取組への呼びかけを行っている。



〈親子参加のスマホ・ネット研修会〉



〈研修会資料の内容より〉

成果

- ・ 取組により、生徒と保護者の意識が高まり、平日1時間以上家庭学習に取り組む生徒の割合が向上した。
- (R元年度1学期62.2%→3学期77.4%)

課題や今後の取り組み

- ・ コロナ禍で活動が停滞してきた。
- ・ 令和3年度末で母親部を廃止し、新たに家庭学習等に関する取組（家庭学習時間やスマホの家庭ルールづくり等）を進める部の新設を検討している。

その他の取り組み紹介

- ・ 「津山っ子を守り育てる市民の会津山西ブロック」で地域の方と情報を共有し、活動に生かしている。

基礎情報

所在地

岡山県津山市

全校生徒数

420名

地域の特徴


学区は、合併前の旧津山市西部に位置し、昭和50（1975）年の中国自動車道院庄IC供用開始を弾みに、工場誘致や商業施設開業が進み、宅地開発等も進んできた。津山まつりで有名な高野神社や、後醍醐天皇にまつわる作樂神社もある。

学校の特徴

昭和53（1978）年4月に、西中学校と南中学校を統合して開校した。少子化の影響も受け、最近の生徒数は400人前後で推移している。個に応じた指導を心がけ、美作地区唯一の中学校の通級指導教室が設置されている。

組織構成

- ・ 保護者の加入率は100%。
- ・ 全会員が、PTA本部役員、常任役員、各専門部のいずれかに所属。常任委員、補導部員は各地区から、その他の部（文化・体育・人権・母親・各学年）はそれぞれの学級から選出。
- ・ それぞれの部会等で出された意見は、年3回の運営委員会で集約。



テーマカテゴリー

その他

地域とともに歩む盲学校へ ～家庭・学校の連携と地域への発信～

キーワード

視覚障害の理解啓発 / 進路講演会 / 茶話会 / 情報共有 / 家庭・学校の連携

取組概要

点字ブロックや視覚障害の理解啓発活動として、保護者が中心となり、イラスト入りポケットティッシュを配布する活動を行っている。また、進路講演会や茶話会を実施し、幼児児童生徒の進路実現に向けた学習や、情報共有、保護者間の親睦を深める機会としている。

取り組みの詳細

点字ブロック理解啓発活動

点字ブロック理解啓発活動では、保護者、生徒、教員、視覚障害者福祉会が協力し、点字ブロックの上に自転車や物を置いたりしないことを呼びかける運動を毎年実施している。令和2年度は、青森市内を中心に駅前や各施設に点字ブロック理解啓発のイラスト入りポケットティッシュを設置する活動を行った。保護者が中心となりポケットティッシュを設置する箱の作成やポケットティッシュの準備、設置場所の開拓・交渉を行い、地域に向けて点字ブロックや視覚障害者について理解啓発する機会としている。



準備活動



ポケットティッシュ



ポスター



施設への設置

「進路講演会」の実施

近年の進路状況や幼児児童生徒の進路実現に向けた学校の取り組み、家庭との連携の在り方について学習するために、進路講演会を実施している。講演会終了後は希望者による懇談の時間を設定し、保護者同士で情報交換をしたり、教員が進路について個別に対応したりしている。



「茶話会」の実施

保護者間の情報共有や親睦、PTA活動への参加意識の向上を目的として茶話会を実施している。令和2年度は全体の約4割の保護者が参加し、PTA活動や幼児児童生徒の様子等について、情報共有を行った。和やかな雰囲気の中で、意見交換し、交流を深めている。



成果

- ・地域の方々にPTAの取り組みを認識していただき、児童生徒の登下校時の見守りや温かい声がけなどをしていただくことが多くなった。
- ・保護者が来校する機会が増え、以前よりも気軽に保護者同士、保護者と教員間で情報交換することができるようになった。

課題や今後の取り組み

- ・県内各地の幼児児童生徒が在籍しており、頻りに集まって活動することが難しい。また、学部によって登下校の時刻が異なるため、活動時間の設定に工夫が必要である。
- ・会員数の減少により、役員数や活動の精選について検討していく必要がある。
- ・5年後に市内他地区への移転が決まっており、現在の町会や移転先の地域との関わりについて検討が必要である。

その他の取り組み紹介

- ・生徒・PTA対象の消費生活講座の開催
- ・次年度に反映させるため、各活動後、参加者全員からの保護者アンケートを実施
- ・PTA総会の紙面開催と意見・要望の集約

所在地

青森県青森市

全校幼児児童生徒数

18名

地域の特徴

本校は青森市東部に位置し、周辺は閑静な住宅地で、2つの町会に囲まれている。地域住民は、行事や学校活動等に参加するなど、学校の教育活動に大変協力的である。周辺にある小学校、中学校とは、長年、学校間交流を行っている。

学校の特徴

昭和42年に統合・新設された視覚障害児・者を対象とした教育機関である。幼稚部、高等部及び専攻科を置く盲学校としては県内唯一である。寄宿舎を併設しており、県内各地の幼児児童生徒が在籍している。

組織構成

本会は、幼稚部、小学部、中学部、高等部専攻科在籍の幼児児童生徒の保護者及び成人の生徒により構成されている。各活動が円滑に行われるよう、校内PTA担当者が中心となり、職員、保護者、地域、関連機関と連携を図っている。各活動には、本校の在校生はもちろん、卒業生にも参加を募り、活動をしている。

年1回PTA総会、年2回PTA役員会を開催し、保護者と教員が協働でPTA活動を進めている。また、年2回発行の広報誌「四つ葉」や学校ホームページを通じてPTA活動の紹介を行うなど、情報発信している。

基礎情報

所在地

神奈川県横浜市

全校児童・生徒数

166名

地域の特徴

「横浜若葉台」は、1979年横浜市旭区の北部の丘陵地に誕生し、高層住宅を中心に病院・銀行・学校・ショッピングセンターなどが整備された街。現在約6,700世帯、約15,000人が暮らしている。

学校の特徴

横浜市では唯一の肢体不自由教育部門（A部門小学部・中学部・高等部）と知的障害教育部門（B部門高等部）併置の特別支援学校で、A・B部門の交流が特徴である。B部門は企業就労を目指している。

組織構成

全保護者、教職員が本部または委員会に所属し、会長または委員長に意見や要望を申し出られるよう、定例会等を行っている。

会長、各委員長の連絡先を開示しており、会員がいつでも連絡をとることができる。様々な事情で会合への出席が難しい会員ともメールや書面、オンラインでのやり取りをしながら、会員相互に協力し合って活動している。

教職員も役員や各委員会に配属されており、保護者との距離も近く、すぐに相談・報告ができる環境であり、早いレスポンスや対応をして P T A 活動を互いに支えている。

担当課：神奈川県教育委員会教育局
生涯学習部生涯学習課

地域で子ども達を育てる～知肢併置校の P T A 活動

キーワード

コンサート / 訪問ヘアカット / 進路学習会 / 施設・企業見学 / 若葉台バザー

取組概要

サタデーコンサートや訪問ヘアカットなど地域と一体となった P T A 活動により、学校の教育（交流やパン販売、職場実習等）とリンクし成果を挙げている。

取り組みの詳細

■ サタデーコンサート

例年、年3回土曜日に P T A 主催の「サタデーコンサート」を開催し、教職員も演奏やダンスで参加、子ども達や地域の方が余暇を楽しみながらの交流の場になっている。コロナ禍の令和2年度は、会場と自宅、学校を結んでオンライン生配信での演奏会を開催し、久しぶりの再会や交流を楽しんだ。

■ 訪問ヘアカット

P T A の地域企画で、毎年、地域の理容師さん達が学校へ出向き、児童生徒の出張カットを実施している。令和2年度は、児童生徒が各店舗に出向いて実施した。

■ 進路学習会、施設見学、企業見学

P T A 進路委員会が中心となり、肢体不自由教育部門は「卒業後の日中活動について」の学習会と施設見学会、知的障害教育部門は「障害者基礎年金について」の学習会と進路先の企業見学会を実施した。

成果

- ・ 地域での交流活動の活発化
- ・ 地域での職場実習が定着
- ・ パン販売、カフェの高い認知

課題や今後の取り組み

■ 地区センターまつりへの参加

例年、パン屋の出店や作品の展示発表をしている「地区センターまつり」は、今後も参加方法を工夫し、さらなる地域の協力者の開拓等を目指す。

その他の取り組み紹介

■ P T A 主催若葉台バザー

小学生のジュニアボランティアも参加し、一般来場者300人と地域に定着した行事になっている。学校の「パン工房」や常設の「わかばカフェ」も開店し、地域の方々に賑わっている。

基礎情報

所在地

富山県小矢部市

全校生徒数

48名

地域の特徴

洋風建築物をモデルにした公共建築がある「メルヘンの街」として有名なほか、源平合戦で知られる倶利伽羅古戦場や松柳町遺跡など多くの歴史遺産が市内にあり、四季折々の美を彩る散居村など豊かな自然と歴史や文化にあふれている。

学校の特徴

昭和26年に富山県立出町高等学校若林分校として開校。平成7年より昼間単立制園芸科に園芸科専攻科を併設した小矢部園芸高等学校となり、今年度創立70周年記念式典が行われた。園芸科の特色を生かし、地域交流活動に力を入れている。

組織構成

PTA役員は会員のおよそ3分の1にあたる14名で構成されており、3年間に全員が役員となることをPTA活動の基本としている。

農業を絆とした学校行事と連携するPTA活動を展開し、「自己理解を深めるための支援」「人間関係づくりへの支援」「可能性を伸ばし広げるための支援」の3つを活動の観点としている。保護者が3つの観点を持って学校行事に参加することで、学校の教育活動と子どもの教育に関心を持ち、家庭でのコミュニケーションが深まることを目指している。

担当課：富山県教育委員会
生涯学習・文化財室

農業を絆とした活動を通して生徒を育む

キーワード 地域学校協働活動 / あいさつ運動 / 学校教育支援

取組概要

学園祭や農産物即売会などの行事に参加協力し生徒と共に収穫を祝う活動を行ったり、農業に関する各種発表会の審査にPTAが加わり、独自にPTA特別賞を授与することで発表会の活性化を図ったりしている。

取り組みの詳細

1 学園祭・農産物即売会、春の苗販売

農業は親子で親しみやすく、生活に直結した学びが多く、「農業を絆とした活動」の基盤として、生徒が育てた生産物を家で食べたり、購入したりすることで、家庭で保護者と生徒がコミュニケーションを取る機会となっている。

特徴的な行事として、保護者や地域の人々への春の野菜や花の苗、庭木の販売実習、秋の農産物即売会がある。来校者の中には野菜の育て方などを生徒に尋ねたり、また自分なりの栽培方法を生徒に説明したりするなど、保護者が中心となって地域の人々とともに生徒を育てる機会となっている。



野菜販売

2 各種発表会でPTA特別賞を授与

校内意見発表会や課題研究発表会の審査にPTAが加わり、独自にPTA特別賞を授与することで、教員の負担軽減と発表会の活性化を図っている。



PTA審査員

成果

- ・作物の栽培管理への興味関心の向上。
- ・各行事への保護者の参加率が高い。
- ・生徒の発表会への参加意欲が向上。

課題や今後の取り組み

- ・PTA会員が、より一層PTA活動に参加しやすい体制作りの工夫。
- ・家庭と学校による「共育」を充実し、生徒の成長を育む。

その他の取り組み紹介

- ・PTA活性化プロジェクト
- ・小、中学校との三校合同交通安全指導
- ・PTA研修会
- ・PTA通信の発行

所在地

山梨県南都留郡富士河口湖町

全校児童数

17名

地域の特徴

本校は、日本の象徴である「富士山」の北麓に位置し、校舎からも富士山を望むことができる。富士五湖の一つ河口湖にも近く、恵まれた観光資源を有し、国内外からの観光客も多い。

学区の地域住民は古くから住んでいる方々が比較的多く、子どもや学校は「地域の宝」と惜しみない支援をしてください。本校の教育活動やPTA活動に積極的に協力する土台がある。

学校の特徴

本校は明治7年に創立し、150年近くの歴史を刻んでいる。毎朝、全校で音楽・体育・基礎基本の学習などの「業前活動」や「異年齢集団」での清掃活動・体外学習活動など、小規模校の利点を生かし「小さな学校の大きな充実教育」を展開している。

組織構成

家庭数が毎年十数軒のため、専門階に分かれての活動が持たないが、全家庭がPTA役員になっており、全家庭でPTA活動の企画・運営を行っている。

担当課：山梨県教育庁生涯学習課

「親子で新型コロナウイルスに負けない“ひまわり”を咲かせよう」プロジェクト

キーワード

新型コロナウイルス / 絆 / 学校・家庭・地域 / 持続可能な活動

取組概要

コロナ禍で、PTA 常時活動が中止や縮小を余儀なくされる中、ひまわりを通して「学校・家庭・地域」との絆を深める一助となった活動

取り組みの詳細



「はるかひまわりの種」を3密を避けながら、活動場所を学校や自宅と変える中でステップ4（種摘み）までを親子で取り組みました。「コロナ禍で家族で出かけることがなかなかできない状況だったが、この活動を通して親子での会話が増えた。家族の絆が深まった。」等の感想が寄せられました。

単年度の活動にとどめるのではなく、無理をしないで持続可能な範囲で活動を継続していこうと、新たにステップ5『さあ、これから』を設けることとしました。

令和3年度は、地域の回覧板に「2年度に採取した種、生長した苗をおすそ分けします。」と案内したところ区長さんをはじめとして、夏休み前に地域の方が受け取りに来てくれました。



成果

- ・家族での会話の時間が増えた。
- ・力強く咲くひまわりを見て「困難に負けない」家族の絆、学校との絆が深まった。

課題や今後の取り組み

<課題>

- ・児童数の減少に伴い、ひまわりの管理が難しくなっていくこと。

<今後の取り組み>

- ・キーワードにあるように、持続可能な取り組みにしていくために身の丈に合った活動をしていく予定。

その他の取り組み紹介

- ・学校をあげての地域のお祭りに参加（天神社祭典）
- ・地域と共に作る合同運動会
- ・PTA主催の充実した親子学級

山梨県

山梨県立かえで支援学校PTA

PTAと共に学校活動を盛り立てる「かえでサポーターズおやじの会」

キーワード 父親の参加／学校行事協力／卒業生保護者／保護者同士の親睦

取組概要

「父親同士の親睦を深め、学校・児童生徒のために父親としても何かしたい」という保護者の思いから、10年前に「おやじの会」が発足した。学園祭等の行事を積極的に支援していただいている。卒業後も会員として学校を支えてくれる方もおり、「かえでサポーターズおやじの会」と名称を改め、現在も活動を継続している。

取り組みの詳細



PTA役員・理事とおやじの会のメンバーが協力し、学園祭の駐車場誘導を行う。密を避けるため保護者の来校時間を細かく設定したが、すべての時間帯で協力していただいた。



学園祭では役員・理事はジュース販売、おやじの会はパン販売を実施。(R2年度は新型コロナウイルス感染予防のため実施せず)収益金で図書を寄贈していただいた。



学園祭は、保護者が来校する貴重な機会。フードドライブの活動も行う。



環境整備作業には、例年多くの会員が参加。児童生徒が活動しやすい環境を整えている。



「おやじの会」Tシャツ。活動日には着用し、士気を高める。

成果

- ・PTA会員だけでは手が届きにくいところを「おやじの会」がサポートし、双方の協力により、楽しく安全な学校行事が実施できている。
- ・「おやじの会」が学校行事に参加することで父親も参加しやすくなり、家族ぐるみでの活動に一役買っている。

課題や今後の取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症対策により、この2年間はPTA活動及び「かえでサポーターズおやじの会」の活動をほとんど実施できなかった。PTA全体の活動を見直して、今後も無理なく継続していけるPTA及び「かえでサポーターズおやじの会」の活動を計画していくことが今後の課題である。

その他の取り組み紹介

- ・「進路・子育て講話」「事業所等見学会」「環境整備作業及び事業所の販売会」等児童生徒の進路選択につながる取り組みを実施している。
- ・PTA活動において培ったつながりを活かし、同窓生の交流会、成人を祝う会を実施している。コロナ禍の昨年度は同窓会は中止したが、二十歳の節目である「成人を祝う会」は、内容を精選し、リモートを取り入れて実施した。

基礎情報

所在地

山梨県甲府市

全校生徒数

229名

地域の特徴

- ・甲府市の東部に位置し、住宅地とぶどう園、商店街が混在した地域。
- ・市中心部へのアクセスもよく、小・中・高・大学や、図書館、科学館などの県立施設がある。

学校の特徴

- ・平成13年4月開校。学校目標「子どもたちが、幸せな人生を送るために」必要な力を育むことができる教育活動を推進している。
- ・校歌『フレンズ』は、『Tomorrow』『BELIEVE』で有名な本竜一先生の実作。学校行事では手話を付けて歌唱。
- ・「開かれた学校」を目指し、学校間交流と地域交流に力を入れている。

組織構成

役員	役員	役員	役員	役員	役員
会長	副会長	書記	会計	総務	広報
PTA役員	PTA役員	PTA役員	PTA役員	PTA役員	PTA役員
PTA役員	PTA役員	PTA役員	PTA役員	PTA役員	PTA役員

担当課：山梨県教育庁生涯学習課

元気いっぱい！うつぼパワーで乗り越えよう！

キーワード 一人一係 / 地域交流 / 保護者の親睦

取組概要

《元気な子ども》《考える子ども》《感じる子ども》《仲良くする子ども》《優しい子ども》を目ざす子ども像として、園・保護者・地域が一体となって活動をすすめている。

取り組みの詳細

《広報紙UTSUBO》

PTA広報委員が年2回発行している広報紙『UTSUBO』は今年度で第72号まで発行されている。紙面には、子どもたちの生き生きとした写真とともに、PTA活動の様子や各委員や先生の紹介などが掲載している。



《てづくり体験》

PTA成人教育講習会として、毎年様々な企画をしている。マスクやポーチ、スクイズなど、すぐに使えるかわいい作品づくりを通して、保護者同士の親睦も図られている。コロナ禍により家庭でも体験できるようにしている。



素敵なマスクができました。さっそく幼稚園で着けてみよう！

《夏祭り》

保護者による企画・実施のもと行われている夏祭り。例年は、卒園児や地域の方々も招待し、様々な人と触れ合う機会となり楽しいひと時を過ごしている。コロナ禍で規模を縮小しながらも、ヨーヨー釣りやくじ引き、うちわづくりなど、わくわくするような遊びがたくさんあり、夏を楽しむひと時となった。



お店屋さん！
ありがとう

《わくわく絵本》



保育ボランティアによる絵本の読み聞かせを行っている。季節や行事に合わせた絵本や、子どもたちの大好きな絵本を読んだり、週末には絵本貸し出しをして、家庭でゆったりと絵本を読む機会ももったりしている。

今日はどんな絵本を読んでもらえるかな？

成果

- ・近隣園の機能移管によって、園児数と保護者数が2倍になった。移管前に子ども同士、保護者同士が声をかけあえるよう取り組んだことで、スムーズに移管ができた。
- ・PTA活動に参加することで、本園の教育への理解と協力につながっている。
- ・全保護者が委員になることで、保護者同士の交流が広がっている。

課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍で行事の縮小や変更が中で、状況に応じた活動内容を工夫する。
- ・家庭や仕事など様々な事情がある中で、負担に感じられないように配慮する。

その他の取り組み紹介

- ・地域連合との交流
- ・地域他校種との交流行事
- ・運動会の協力
- ・講演会や講習会の企画
- ・掲示物や文集の作成 など

基礎情報

所在地

大阪府大阪市

全校生徒数

園児132名

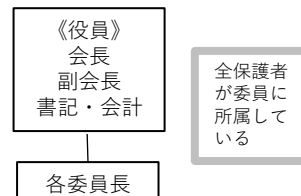
地域の特徴

大阪市の中西部の西区に位置し、マンションが建ち並ぶ街並みとともに、靱公園をはじめ多くの公園があり、四季折々の自然を身近に感じることができる街である。また、人口は若い世代の比率が高く、増加の一途をたどっている。

学校の特徴

明治19年に靱尋常小学校内に幼児保育科が設けられ、靱の幼児教育が始まり、現在創立136年である。平成31年に西船場幼稚園の機能移管を受け、クラス数も2倍になった。教育目標は「心身ともにたくましく、人間性豊かな子どもを育てる」である。

組織構成



- ・会計監査委員会・学級委員会
- ・企画広報委員会・体育委員会
- ・子育て支援委員会
- ・人権啓発委員会・地域委員会
- ・成人教育委員会・保健委員会

毎年、秋に、生徒・保護者・教職員による「教育懇話会」を実施！

キーワード

教育懇話会／生徒・保護者・教職員の意見を統合／熟議スタイル／自主的・主体的な学校生活

取組概要

教育懇話会では、生徒がいきいきと自主的・主体的に学校生活を送れるよう、生徒・保護者・教職員の意見を統合し、山口県立熊毛南高等学校の教育について検討・提言を行う。

取り組みの詳細

- 「教育懇話会」は、生徒・保護者・教職員が率直に様々なことを協議する本校独自のユニークな取組で、1969年から継続されている。
- 生徒会役員、PTA役員・PTA地区理事、分掌部長・年次主任が参加する。生徒、保護者や学校運営協議会委員等は必要に応じて参加している。
- 意見や要望は、生徒・保護者から募ることとしている。
- 過去3年間の議題

年度	議題
平成30年度	朝と放課後のエアコンの使用時間の延長、膝掛け（ストール）の使用について
令和元年度	頭髪、服装等の校則、行事の際のスマートフォンを使用した写真撮影について
令和2年度	制服等の校則、宿題の調整、学校運営協議会への生徒参加、自転車通学用ヘルメットの配付について



成果

- 女子のスラックス着用が認められた。
- 制服の衣替えが廃止され、生徒が自由に夏服・冬服を選択できるようになった。
- 朝と放課後のエアコンの使用時間延長が認められた。
- 膝掛けの使用が認められた。

課題や今後の取り組み

- 適切な実施時期の検討
- 参加人数の増加
- 議題の共有

その他の取り組み紹介

- PTA総会、理事会の実施
- 各専門委員会の実施
- 文化祭でPTAバザー実施
- PTA新聞の作成・発行（年間3回）
- 交通立哨の実施

所在地

山口県熊毛郡平生町

全校生徒数

普通科223名

地域の特徴

県東南部に位置し、豊かな自然に恵まれている。瀬戸内海に面した室津半島西側からの眺めは山口県屈指と言われる。地形、気候がイタリア半島に似ていることから、町おこしとして、「イタリアーノひらお」構想を進めている。

学校の特徴

創立123年目を迎えた、県内で有数の歴史を誇る伝統校である。平成14年度入学生から年次進行で単位制普通科に移行し、多様な教科・科目を開設して、これからの社会を担う知力と人間力を備えた人材の育成に努めている。

組織構成

<熊毛南高校PTA組織図>

- PTA役員
会長、副会長、監事、書記、会計、顧問
- PTA地区理事（17名）



- 専門委員会
保健厚生部、健全育成部、広報部

みんなでつながろう！プロジェクト

キーワード コロナ禍における活動／自主企画

取組概要

コロナ禍で様々な活動が制限される中、できる事を考え、子ども、保護者、教員、地域を巻き込んでPTA主体の事業展開を行った。

取り組みの詳細

毎年行っている音楽鑑賞会や講演会に代わるものとして、「山本小☆みんなでつながろう！プロジェクト」を企画した。第1弾では、「みんなの絆～」と題し、子どもたちが表現する場として、みんなで歌う校歌を企画した。全校生と教員がグループごとに校歌を歌う動画を撮影し、編集して一つの動画を完成させ、みんなで鑑賞した。

第2弾では音楽に触れて笑顔になってもらおうと「ふれあいコンサート」を企画した。保護者や県内外で活躍している音楽家の方々の協力を得て、音楽動画を製作し、ネット上で限定配信を行った。



【撮影の様子】
(グループごとに)

【撮影の様子】
(児童会によるオープニング)



【プログラム】

成果

- ・コロナ禍で失われつつあったつながりを取り戻すことができた。
- ・子どもたちに音楽の楽しさやすばらしさを体感する機会を与えられた。

課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍で保護者参加の行事が制限される中で、PTAの一員であるという意識を保つことができる活動を継続していく。
- ・大学の先生とオンラインでの「わくわく算数オンラインライブ」を開催

その他の取り組み紹介

- ・地域の団体や地元企業等と協力したリサイクル活動や防災訓練
- ・家庭全体で取り組む4週間生活習慣チェック
- ・朝の登校指導・あいさつ運動
- ・PTA新聞の発行

基礎情報

所在地

香川県三豊市山本町

全校生徒数

318名

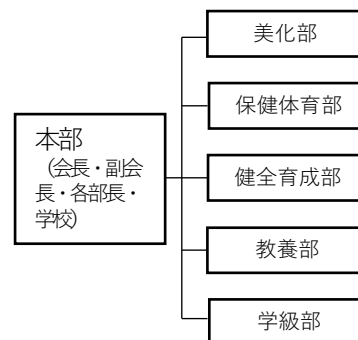
地域の特徴

校区である旧山本町は三豊市の南部、讃岐山脈のふもとに位置し、中央部に財田川が流れるなど、自然豊かな地域である。PTA活動だけでなく、様々な活動において地域の方が大変協力的である。

学校の特徴

平成28年に旧山本町4校が合併して開校した新しい学校で、「つながれ」「挑め」「役に立て」の教育実践を教育目標に掲げている。地域住民の学校教育に関する関心は高く、開校当初から自主的なPTA活動が推進されている。

組織構成



担当課：香川県教育委員会事務局
生涯学習・文化財課

PTA活動の運営の工夫(地域との関わり、協力・引継ぎ体制)

キーワード 地域との連携 / 幼小中からの継続したPTA活動 / 父親の活躍

取組概要

「子どもたちの育ちにとって大切なこと」を、保護者・教職員・地域が共有し、密接に関わりながら、園の環境整備、地域・園の行事などに取り組んでいる。

取り組みの詳細

幼小中PTA・地域との連携

地区で行う行事の実行委員会に幼小中PTA会員が属しており、会議や活動に積極的に参加し地域との交流が活発に行われている。また、園内の不要な木の伐採・剪定等、園の環境整備や体験活動を保護者だけでなく地域の協力も得て行っている。



お父さんの子育て講座

「母親だけでなく父親も学ぶ機会を」と女性PTAの要望を受け、3年前から「お父さんの子育て講座」実施。父親が参加しやすい日時を設定することで、子育てに関する知識を得るだけでなく、父親同士が交流し、つながりを持つ機会となっている。

基本的な生活習慣の確立

園独自の生活リズムチェックカードを作成し、学期に1回実施しており、項目についてもクラスに適した内容を盛り込み、全家庭で取組・振り返りを行うなど園と家庭の協力体制が整っている。



成果

●幼稚園PTAで培われた活動が小中学校PTAの協力体制につながっている。

課題や今後の取り組み

●家庭数が少ないため、PTA役員の役割が負担にならないよう創意工夫をこらした活動を計画する。

その他の取り組み紹介

- 幼小中PTA連絡協議会
- 全家庭が参加する防災活動
- PTAだよりを会長が中心となって作成し、配布

所在地

高知県高知市鏡今井198番地

全国児数

24名

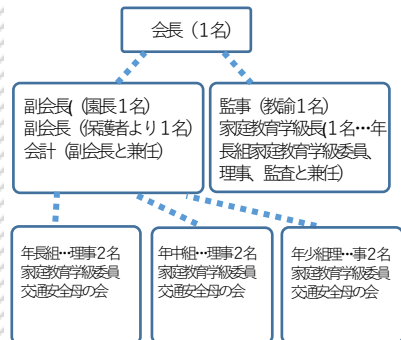
地域の特徴

高知市の北西の山間部に位置し、鏡ダムがすぐ近くにある自然に恵まれた地域である。高知市中心部より約11km程の距離であり山間部ながら比較的便利である。また、保幼小中が1園1校ずつあるため、連携がとりやすく、合同での行事もあり、地域との繋がりも強い。

学校の特徴

- ・高知市唯一の公立幼稚園であり、小規模園である。各年齢の発達を保障しながら、異年齢との関わりも大切に考え、保育を行っている。
- ・保幼小中との交流を大切に、連携をとりながら保育を進めている。
- ・地域や自然との触れ合いを大切にしている。
- ・保護者とともに行事を計画・運営している。

組織構成



「家庭、学校、地域で育む子どもの笑顔」～コロナ禍だからこそつながりを大切に～

キーワード 子ども達のために今できることを一緒に／地域学校協働活動／保護者・教師の負担軽減

取組概要

コロナ禍におけるPTA活動
(学習活動・学校行事のサポート、広報活動、地域団体との連携)

取り組みの詳細

☆地域・家庭・学校がつながる取組に！



親子交通安全教室

毎年4月、校区内の自動車学校協力のもと親子交通安全教室を実施。生活部役員が中心となって計画し、希望する親子が参加して交通ルールや自転車の乗り方、点検の仕方等を学ぶ。

地域ボランティアによる読み聞かせ

毎月2回程度、各学級における読み聞かせを実施。地域ボランティアには、学年や季節に応じた絵本を用意してもらっている。担任は子ども達の様子や感想を連絡ファイルに記入して、読み聞かせの様子を家庭に伝えている。



水泳見守りサポーター

コロナ禍の水泳指導では、安全確保のため、保護者に見守りサポーターを依頼。学習機会の保障につながった。自分の子ども以外のクラスの見守りにも協力があり、学校支援につながっている。



成果

- ・交通ルールを守る態度や地域で子どもを育てるという意識が高まった。
- ・親子レク等の従来の活動を見直し、学習活動の支援で保護者に関わってもらうことで、保護者が子どもの様子を知り、保護者と教師とのつながりが深まった。レクレーション企画運営の負担も軽減できた。

課題や今後の取り組み

- ・家庭の事情や役員選出が難しい場合もある。役員選出の方法や組織・活動内容を考え、負担感がない、だれもが参加しやすいPTA活動になるよう更に工夫していく必要がある。

その他の取り組み紹介

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者の授業参観を中止。広報部役員(6名参加)による参観・撮影で、学校の様子を掲載した広報紙を作成。数日後には配布した。
- ・ライン等のSNSを活用することで、役員が集まらず連絡を取り合って活動している。
- ・地域の防犯協会と連携し、登下校時の見守りを行っている。夜間巡回に職員や役員が参加協力し、情報共有している。

所在地

佐賀県唐津市養母田28番地2

全校生徒数

342名

地域の特徴

佐賀県北部、玄界灘に面した唐津市の南東部に位置する市街地。自然豊かで、1級河川の松浦川が流れ、田園地帯が広がっている。地域内に、小・中・高・特別支援学校と学校施設があり、唐津市中心部に勤務する家庭のベッドタウンとなっている。

学校の特徴

鬼塚小学校は、明治28年開校で127年の歴史をもつ。学校は高台に位置し、春には、国道から美しい桜に囲まれた校舎が見える。「唐津1位の『笑顔』の学校にしよう」を目標とした、1学年2クラスの中規模の小学校である。

組織構成

会員数272名(教職員18名)
会長1名
副会長2名(校長・常任委員)
監事(教頭・教務主任)
常任委員5名(各地区より)
学級部(各学級2名)
学習部(各学級2名)
母親部(各学級2名)
広報部(各学級2名)
保体部(各地区1名以上)
生活部(各地区1名以上)

担当課：佐賀県教育庁学校教育課

「MIKUMA PAS SYSTEM ～30歳のレポート～」

キーワード キャリア教育 / 生徒・教職員・保護者・卒業生の連携 / 企業との連携

取組概要

社会の変化に対応し、生涯にわたって学習する意欲を育て、将来の夢実現のために自主的に自己の進路を選択していく能力を養い、主体的に判断し行動できる人材の育成を目的に、「調べる力・まとめる力・発表する力・聞く力」の四つの力、プラス計画する力を身につけさせ、教科学習や特別活動をはじめ、独自のキャリア教育に取り組んでいる。

取り組みの詳細



「MIKUMA PAS SYSTEM」のファイナルステージでは、在校生と卒業生が共に発表を行う。

在校生は、自分の設定したテーマに沿って、調査・分析を行い自ら発表する場が設けられる。

そして卒業して12年後の卒業生は、社会の中で経験し学んだことを在校生に伝える「30歳のレポート」という発表を行う。

成果

本校を卒業し、社会人となった方々の話を聞き、社会への希望や夢を膨らませ刺激となる良い機会となっている。この取り組みを通して卒業生と在校生のつながりが保たれている。また、卒業後は日田市内に就職する子ども達も多く、地域を支えている人材を生み出している。

コロナ禍で日田市内の優良とされた企業が高校生の新卒採用を手控える中、学校からの依頼でPTAの常任役員が各企業に求人要請を行うなど、密接な連携により子どもの利益を図る活動も実施できた。

課題や今後の取り組み

新型コロナウイルスは子ども達の学校生活へ大きな影響を与えた。当たり前のように過ごしていた今日が制限され、日々マスクを着用し、子ども達の表情も読み取ることも困難である。

しかし学校行事には役員以外にたくさんの会員の参加があり、どの活動にも笑顔があり、心を繋ぐ活動が実施できている。

今子ども達へ私たちがができること、コロナ禍の今だからできることを考え、これからもPTAより多くの情報を発信し、三隈高校教職員と共に生徒に寄り添った笑顔ある活動を続けていきたい。

その他の取り組み紹介

「こころをつなぐ笑顔のとん汁」



クラスマッチ当日、女性部メンバーと保護者および教職員がとん汁づくりをする。母親だけでなくエプロン・三角巾をつけたお父さんの参加もある。子ども達から見

ると「〇〇さんのお父さんがエプロン・三角巾つけて・・・えーっ」とびっくりしながらも、笑顔になる一幕が……。子ども達が笑顔になることでポジティブな気持ちになり、笑顔が周りに伝染し、幸福度が上がる。そう考えると、生徒達のたくさんの笑顔が咲くこのとん汁づくりは、生徒・保護者・教職員との心をつなぐ活動になっていると確信する。

基礎情報

所在地

大分県日田市

全校生徒数

366名

地域の特徴

江戸時代に天領として栄え、盆地特有の気候と豊富な水と緑に恵まれた地域で、校舎は日田市街地から少し離れた丘の上にある静かな環境にある。通学時には700Mにわたる坂（通称「三年坂」）を登校し、健やかな身体づくりと粘り強い精神力の定着に繋がっている。

学校の特徴

1964年、商業科・家政科の2学科を持つ日田三隈商業高校として開校。1983年、普通科を増設し、校名を日田三隈高校と変更。その後1996年、県下初の総合学科高校として生まれ変わり今日に至る。

組織構成

会長・副会長で構成される常任役員会の下に、PTA委員会を設置。委員は7つの地域から継続的に選出され、地域委員をかねており、その中から会長・副会長を選出。これにより地域のつながり、会員と役員とのつながりが強まり、活動が継続しやすいシステムを構築できると同時に、意欲的な活動への参加やスムーズな専門委員の選出を可能にしている。

11月から選考を開始。12月中にPTA委員会が集合し、新年度PTA委員を選出、決定。

常任役員会（会長＋副会長）

P T A 委 員 会						
A地域	B地域	C地域	D地域	E地域	F地域	G地域
1年	1年	1年	1年	1年	1年	1年
2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年
3年	3年	3年	3年	3年	3年	3年

担当課：大分県教育庁
社会教育課